

第五十回 貴族院議事速記録第二十四號

大正十四年三月十六日(月曜日)

午前十時八分開議

議事日程 第二十四號 大正十四年三月十六日

午前十時開議

第一 請願委員長報告

第二 日本無線電信株式會社法案(政府提出)

第三 長州鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行

ニ關スル法律案(政府提出)

第四 染料製造獎勵ニ關スル法律案(政府提出)

第五 鐵板ノ輸入稅ニ關スル法律案(政府提出)

第六 教育改善及農村振興基金特別會計法案

(政府提出)

第七 朝鮮鐵道用品資金會計法案(政府提出)

第八 朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出)

第九 特別都市計畫區域内ニ於ケル寺院ノ國有境内

地讓與等ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十 外國人土地法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十一 船舶無線電信施設法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十二 會計士法案(衆議院提出) 第一讀會

第十三 議院法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(公爵徳川家達君) 一昨十四日正五位男爵伊江朝助君、正五位男爵稻

田昌植君、何レモ男爵議員補闕選舉ニ當選セラレマシタニ依ッテ、伊江男爵

ノ席次ハ安川男爵ノ次席ト確定シ、其部屬ヲ第八部ニ定メ、稻田男爵ノ席次

ハ高木男爵ノ次席ト確定シ、其部屬ヲ第八部ニ定メマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ書記官ヲシテ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

去ル十一日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可

決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

輸出組合法案

重要輸出品工業組合法案

同日請願委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願文書表第八回報告書

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セ

リ

遞信省所管事務政府委員 遞信省管船局長 宮崎 清 則君

去ル十二日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

治安維持法案特別委員會

委員長 公爵 二條 厚 基君 副委員長 男爵 田 健治郎君

貴族院令中改正案外二件特別委員會

委員長 公爵 近衛 文麿君 副委員長 岡野 敬次郎君

商業會議所法中改正法律案特別委員會

委員長 侯爵 德川 囿順君 副委員長 服部 一三君

議院法中改正法律案特別委員會

委員長 服部 一三君 副委員長 子爵 西尾 忠方君

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

朝鮮鐵道用品資金會計法案可決報告書

朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案可決報告書

特別都市計畫區域内ニ於ケル寺院ノ國有境内地讓與等ニ關スル法律案可決報告書

議院法中改正法律案可決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

日本無線電信株式會社法案

同日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

會計士法案

去ル十三日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

船舶無線電信施設法案特別委員會

委員長 侯爵 大隈 信常君 副委員長 淺田 德則君

齒科醫師法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵 中川 久任君 副委員長 三宅 秀君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

教育改善及農村振興基金特別會計法案修正報告書

外國人土地法案修正報告書

船舶無線電信施設法案可決報告書

請願委員會特別報告第三號

同日政府ヨリ左ノ報告書ヲ受領セリ

大正十一年四月一日ヨリ同十二年三月三十一日ニ至ル竝大正十二年四月一日ヨリ同十三年三月三十一日ニ至ル朝鮮總督府所屬臺灣總督府所屬及樺太廳所屬官有財産増減異動報告書

一昨十四日鐵道敷設法中改正法律案外一件特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 子爵 新庄 直知君 副委員長 倉知 鐵吉君

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

長州鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

染料製造獎勵ニ關スル法律案

鐵板ノ輸入税ニ關スル法律案

同日議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案（發議者公爵近衛文麿君外七名

贊成者侯爵佐佐木行忠君外八十七名）

本日第二部ニ於テ豫算委員伯爵柳澤保惠君ノ補闕選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果

西野元君當選セリ

○議長（公爵德川家達君）是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス

○伯爵林博太郎君 目下豫算委員ニ付議セラレテ居リマスル大正十四年度歲

入歳出總豫算、同特別會計豫算、同豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲ス
ヲ要スル件、右ノ審査期限ハ今十六日ト相成ッテ居リマスルガ、尙ホ慎重ナ
ル調査ヲ要シマスルタメ、更ニ四日間延長シ、來ル二十日マデト致スベシト
云フ動議ヲ提出イタシマス、ドウゾ諸君ノ御賛成ヲ請ヒマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 林伯爵ノ豫算審査期限延長ノ件ニ同意ノ諸君ノ起
立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認めマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第一、請願委員長報告、一條公爵

〔公爵一條實孝君演壇ニ登ル〕

○公爵一條實孝君 第二回請願委員長報告ヲ致シマス、去ル二月九日第一回
報告ヲ致シマシタル以來、委員會ハ二月二十七日、三月十三日ノ二回開會イ
タシマシタ、又分科會ハ第一分科ニアッテハ四回、其他ノ分科ニアッテハ何レ
モ五回ツツ開會イタシマシタ、請願文書表第四回ヲ二月十日ニ第五回ヲ二月
十八日ニ、第六回ヲ二月二十五日ニ、第七回ヲ三月四日ニ、第八回ヲ三月十
一日ニ合計五回提出イタシマシタ、請願委員會特別報告ハ二月二十七日、三
月十三日ノ二回提出イタシマシタ、三月十四日午後四時締切ニ於テ第一回報
告後受領イタシマシタル請願件數ハ二百五十四件、五百七十八通デ、其連署
人名數七萬七千九百八十七名デアリマス、之ニ第一回報告ノ際、文書表未掲
載二十七件、三十四通ヲ加ヘマスルト二百八十一件、六百十二通トナリマス
此中、請願文書表掲載件數ガ二百二十七件、四百三通デアリマシテ、之ニ第
一回報告ノ際、審査未了デアリマシタル七十九件、二百六十六通ヲ合セマスル
ト、合計三百六件、六百六十九通ニ達シマス、之ニ付キ審査イタシマシタル
結果、院議ニ付スベシト議決シタルモノガ五十八件、六十八通、院議ニ付ス

ルヲ要セズト議決イタシタルモノ十件、十通デアリマス、其他ノ二百三十八
件、五百九十一通ハ審査未了デアリマス、尙ホ請願文書表未掲載件數五十四
件、二百九通ゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第二、日本無線電信株式會社法案、政府提
出、衆議院送付、第一讀會、犬養遯信大臣

日本無線電信株式會社法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候
也

大正十四年三月十二日

衆議院議長 柏 谷 義 三

貴族院議長 公爵德川家達殿

日本無線電信株式會社法

第一條 日本無線電信株式會社ハ外國無線電報ノ取扱ノ爲ニスル無線電信
ノ設備及其ノ附屬設備ヲ爲シ之ヲ政府ノ用ニ供スルコトヲ目的トスル株
式會社トス

第二條 日本無線電信株式會社ハ前條ニ定ムルモノノ外主務大臣ノ命令ニ
依リ又ハ其ノ認可ヲ受ケ左ノ事業ヲ營ムコトヲ得

一 外國ニ於ケル無線電信事業及無線電話事業ノ經營

二 外國ニ於ケル無線電信又ハ無線電話ノ設備ノ貸付及工事ノ請負

三 無線電信又ハ無線電話ノ用品ノ製造及販賣

四 前三號ニ掲クル事業ニ對スル投資

第三條 日本無線電信株式會社ノ資本金ハ二千萬圓トス但シ主務大臣ノ認
可ヲ受ケ之ヲ増加スルコトヲ得

第四條 日本無線電信株式會社ノ存立期間ハ設立登記ノ日ヨリ五十年トス但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ延長スルコトヲ得

第五條 日本無線電信株式會社ノ株式ハ記名式トシ政府、公共團體、帝國臣民又ハ帝國法令ニ依リテ設立シタル法人ニシテ其ノ議決權ノ過半数カ外國人又ハ外國法人ニ屬セサルモノニ限り之ヲ所有スルコトヲ得

第六條 政府ハ外國無線電報ノ取扱ノ爲ニスル國有ノ無線電信局設備及其ノ附屬設備竝無線電信局設置ノ爲購入シタル土地ヲ以テ出資ノ目的ト爲スコトヲ得

第七條 第一條ニ掲クル設備ニ依リテ取扱ハルヘキ電報ノ受付、配達及機械上ノ送受信ノ事務ハ政府之ヲ行フ

第八條 政府ハ日本無線電信株式會社ノ設備ヲ使用シ之ニ依リテ取扱ヒタル電報ノ料金中本邦收得分ニ當ルモノノ一部ヲ勅令ノ定ムル所ニ依リ該設備使用ニ對シ日本無線電信株式會社ニ交付ス

第九條 每營業期ニ於テ配當シ得ヘキ利益金額ガ拂込資本金額ニ對シ一年百分ノ十二ノ割合ヲ超過スルトキハ日本無線電信株式會社ハ該超過額ノ二分ノ一ヲ政府ニ納付スヘシ

第十條 日本無線電信株式會社ハ其ノ創立初期ヨリ十年間政府持株ニ對シ利益配當ヲ爲スコトヲ要セス

每營業期ニ於テ配當シ得ヘキ利益金額カ政府持株以外ノ株式ノ拂込資本金額ニ對シ一年百分ノ八ノ割合ヲ超過スルトキハ該超過額ニ付テハ前項ノ規定ニ拘ラス政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ持株ニ對シ利益配當ヲ爲サシムルコトヲ得但シ創立初期ヨリノ配當シ得ヘキ利益金額ヲ通算シ政府持株以外ノ株式ノ拂込資本金額ニ對シ一年百分ノ八ノ割合ニ達セサルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ニ規定スル利益金額中政府持株ニ對シ配當シタル金額アルトキハ之ヲ控除シテ計算ス

第十一條 政府ハ日本無線電信株式會社ノ業務ヲ監督ス

第十二條 主務大臣ハ日本無線電信株式會社ノ業務ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ爲シ又ハ外國無線電報ノ取扱上必要ナル無線電信ノ設備若ハ其ノ附屬設備ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得

日本無線電信株式會社カ前項ノ規定ニ依リテ主務大臣ノ命シタル設備ヲ爲スコトヲ怠リタルトキハ第八條ノ規定ニ依ル交付金ノ一部ヲ交付セサルコトヲ得

第十三條 取締役及監査役ノ選任及解任、定款ノ變更、利益金ノ處分、社債ノ募集、合併竝解散ノ決議ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

主務大臣ハ取締役カ法令、定款又ハ主務大臣ノ命令ニ違反シタルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

第十四條 日本無線電信株式會社ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ所有スル無線電信ノ設備又ハ其ノ附屬設備ニ屬スル物件ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ス

第十五條 政府カ勅令ノ定ムル所ニ依リ相當ノ價格ヲ以テ日本無線電信株式會社ノ所有スル無線電信ノ設備及其ノ附屬設備ノ全部又ハ一部ヲ買收セムトスルトキハ會社ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十六條 日本無線電信株式會社左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ取締役又ハ其ノ職務ヲ行フ監査役ヲ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

一 主務大臣ノ命令ニ依リ又ハ其ノ認可ヲ受ケタルニ非スシテ第二條ニ掲クル事業ヲ營ミタルトキ

二 主務大臣ノ命令ニ違反シタルトキ

三 本法ニ規定セサル事業ヲ營ミタルトキ

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

附 則

第十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 政府ハ設立委員ヲ命シ日本無線電信株式會社ノ設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシム

第十九條 設立委員ハ定款ヲ作成シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル後株式總數ヨリ政府ニ割當ツヘキ株式ヲ控除シタル殘餘ノ株式ニ付株主ヲ募集スヘシ

第二十條 株式申込證ニハ定款認可ノ年月日並商法第二百二十六條第二項

第二號、第四號及第五號ニ規定スル事項ヲ記載スヘシ

第二十一條 設立委員ハ株主ノ募集ヲ終リタルトキハ株式申込證ヲ主務大臣ニ提出シ其ノ檢査ヲ受クヘシ

第二十二條 設立委員ハ前條ノ檢査ヲ受ケタル後遲滯ナク各株式ニ付第一

回ノ拂込ヲ爲サシムコトヲ要ス

前項ノ拂込アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スヘシ

第二十三條 創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ其ノ事務ヲ日本無線電信株式會社ノ取締役ニ引渡スヘシ

〔國務大臣犬養毅君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(犬養毅君) 日本無線電信株式會社法案ヲ提出イタシマス、此法案ハ極メテ重大ナモノデゴザイマスルガ、御承知ノ通り、日本ニ於ケル國際通信ハ是マデ外國ノ手ニ電信ハ多クノ部分ヲ奪ハレテ居ル、非常ナル是マデ政治上經濟上一切ノモノデ苦痛ヲ感ジタノデアリマスガ、幸ニ近年、無線電信ノ發達ガアリマスノデ、此方デゴザイマスルト海底線ヨリハ却テ經費モ安ク出來ル、此方ガ便利デアアルカラ更ニ是マデノ非常ナ苦痛ヲ感ジテ居タノハ是デ緩クサレル、斯ウ云フ意味カラ致シマシテ、是非トモ此大規模ノ長距離ニ互ル無線電信ノ設備ヲシタイト、斯ウ云フコトハ長イ間、政府ノ計畫デゴザイマシタ、御承知ノ通りニ、丁度之ニ付キマシテハ列國トモ非常ナル大競争デ、大正九年ニ華盛頓デ開キマシタ國際通信豫備會議、ソレカラ其次ニ開キマシタ巴里ニ於ケル會議、之ニ於テモ列國ノ間ナカク、要求ガ多ウゴザイマシ

テ、容易ニ收マリガ著カナカッタ、ソコデ其最後ノ會議ノ時ニ、次ノ通信會議ノ開カレル時ニ現在、成立シテ運用シテ居ル所ノ設備竝ニ其後五箇年以内ニ成立スベキモノト云フモノヲ決メマシテ、其國々ノ持テ前ニ致スト、斯ウ云フ決定ヲ致シタノデアリマス、所ガ或事情ノ爲ニ其後、會議ガ開カレマセヌガ、大分延ビテ居リマシタガ、此秋ニ開クラシイノデアリマス、サウスルトソレニ臨ミマス迄ニハ、ドウシテモ此設備ハ……計畫ハ定メテ置カナケレバナラス、斯ウ云フコトデアリマス、尤モ此秋ニ開カレルト云フコトハ最近ニ承ッタノデアリマスガ、何時開カレルカ分ラヌトシテ見レバ、ドウカシテ之ヲ拵ヘタイ、ソレデ政府ニ於キマシテモ是マデ大分設備ヲイタシテ居リマスガ、丁度其後ノ計畫ハ非常ニ財政困難、就中大震災ノ爲ニ總テノ此計畫ガ頓挫シタ、斯ウ云フ有様デアアル、最早棄テ置ケヌノデアアルカラドウスルカ、政府ハ自分ガ資本ヲ出スコトハ出來ナイ、ソレデ時機ヲ失シマスルト永人ニ此權利ヲ失ッテシマウ、何故永久ニ失フカト申シマスルト、技術上ノ問題トシテ承ル所ニ依リマス、八千米突カラ三萬米突ノ電波ニ致シマスルト、世界ノ總テデ百三十四ホカナイ、其中デ此五大國ノ要求シテ居ルダケデモ百一、ソレカラ又一萬米突カラ二萬米突ノ間ノガ何デモ一番技術上有利ナモノデ、便利ナモノデ、又能率ノ舉ガルモノダサウデアリマスガ、其方ニスルト六十九ホカナイ、斯ウ云フ有様デアリマシテ、餘ス所ガ幾ツモナイノデアリマス、餘ス所ガ二十幾ツト云フホカナイ、此二十幾ツヲ列國トモ互ニ獲得スル、斯ウ云フ有様デアアル、殊ニ是マデ百三十四ノ中デ百一ノ要求シタノハ五大國デアアル、其外ノ國ハ他ノ二十三ト云フ間ニ是ハ打込マレル譯デアリマス、ドウシテモ此際ニ次ノ通信會議マデニ打取ッテ置カナケレバナラス、所ガ財政ハ非常ニ困難ト云フノデ餘儀ナク民間ノ資本ニ依ルト云フコトニシタ、デ、最早此非常ニ切迫ノ際デアリマスノデ、其設備ハ官タリ民タルヲ問ハヌ、ドウシテモ此帝國ニ於テ相當ノモノハ取ッテ置カネバナラスト云フコトカラ決斷イタシテ、此無線電信會社ニ設備ヲ致サセマスルノガ對米第二局、ソレカラ歐洲局ト極東南洋局、此三ツヲ新ニ設備ヲサセル、斯ウ云フモノニナッ

大正十四年三月十四日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 粕谷 義三

長州鐵道株式會社所屬幡生小串間鐵道買收ノ爲政府ハ該買收ニ必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

〔政府委員俵孫一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(俵孫一君) 唯今、上程セラレマシタ公債發行ノ法律案ニ付テ御説明申上ゲマス、長州鐵道株式會社所屬幡生小串間ノ鐵道ハ目下建設中ノ國有鐵道、萩線及長門線ト相連リマシテ、山陰山陽ノ重要ナル路線デアアルノデアリマス、是カラ國有鐵道ノ建設ノ進行ニ伴ヒマシテ、其連絡上、長州鐵道株式會社ノ買收ヲスル必要ガアルノデアリマス、而シテ長州鐵道ノ終點小串ヲ起點トスル國有鐵道ノ小串瀧部間ノ鐵道建設ガ最早竣工ニ近ヅキマシテ、來ル七月頃ニ開通ノ運ビニ相成ッテ居ルノデアリマス、依テ此長州鐵道株式會社所屬ノ幡生小串間ノ鐵道ヲ買收スル必要ガアリマスノデアリマス、是ガ爲ニ公債ヲ發行ヲ致シタイト存ジマス、ドウゾ御審査ノ上、協贊ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ハ鐵道敷設法中改正法律案ノ特別委員ニ付託イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第四、染料製造獎勵ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

染料製造獎勵ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十四年三月十四日

テ居ル、ソコデ是ダケノモノハ總テ新設備デアリマスカラ、僅ナ年間ニドン
ドシテヲ拵ヘテ參リマスカラ利益ヲ舉ゲルト云フコトハ出來ナイ、是デハ連
モ民間ノ資本家ガ之ニ投ズル氣遣ヒハアリマセヌノデ、ソシテハ八歩ノ補償
ヲ政府ハスルカト云フト、是モ財政困難ノ上カラ八歩ノ補償ト云フコトハ餘
程困難デアル、ソコデ是マデ政府ニ有ッテ居リマスル所ノ警城局、之ヲモブ
チ込ミマシテ、是ハ現在幾分カモウ利益ガ舉ッテ居リマスカラ、此警城局ヲ
マスルガ、ソレデモ十年間ニハ連モ八歩ニ達シナイ、ズット低イ率デアリマ
ス、ソコデ十年間ハ政府ノ持前ノ分ニ對シテハ配當ヲ取ラヌ、ソレカラ十年
以後ニナリマスレバ、政府ノ持前ニ配當ヲ取ル、十年以内ト雖モ、平均シテ
八歩以上ニ出ル時ニハ政府ノ持前ノ方ニモ配當サセル、政府ノ持前ハ何デア
リマスカト云フト警城局、ソレカラ次ニ設備ヲ致シマスル積リデ名古屋ノ附
近ニモ電信局ヲ一局打立テル地面ガアリマス、無線電信ノ場所ニ充テル地面
ガアリマス、此無線電信ノ場所ニ割當テルモノ、斯ウ云フモノヲ政府ノ持株
トシテ、サウシテ八歩以上ニ達シタ時ニ配當ヲ受ケル、ソレカラ一割ニ歩以
上ニ利益ガアツタ時ニ政府ノ方ニ報效金ヲ出サス、是ガ大體ノ案デゴザイマ
ス、ドウゾ御協贊ヲ下サイマスマウ……

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ特別委員ハ船舶無線電信施設法案ト同一委員ニ致シマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第三、長州鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、鐵道政務次官俵孫一君

長州鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

第一條 政府ハ染料ノ製造ヲ獎勵スル爲本法施行ノ日ヨリ六年ヲ限り毎年百萬圓以内ノ獎勵金ヲ交付スルコトヲ得

前項獎勵金ノ總額ハ六年ヲ通シ四百萬圓以内トス

第一項ノ染料ノ品種ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 本法ニ依リ獎勵金ノ交付ヲ受クルコトヲ得ヘキ者ハ帝國法律ニ依リ設立シタル株式會社ニシテ其ノ資本ノ半額以上及議決權ノ過半數カ帝國臣民ニ屬スルモノニ限ル

前項ノ會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リコールドル分溜物ノ處理ヲ以テ染料製造ノ工程ヲ開始スルコトヲ要ス

第三條 獎勵金ノ額ハ各品種ニ付其ノ市價及生産費ヲ標準トシ相當利益ヲ參酌シテ主務大臣毎年之ヲ定ム

第四條 詐欺ニ因リ會社カ獎勵金ヲ受ケタル場合ニ於テハ其ノ受ケタル獎勵金ニ法定利息ヲ附シテ之ヲ償還セシム

前項ノ償還金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次クモノトス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔政府委員三土忠造君演壇ニ登ル〕

○政府委員(三土忠造君) 唯今、上程サレマシタル染料製造獎勵ニ關スル法律案ニ付キマシテ、提案ノ理由ヲ申上ゲマス、染料工業ハ産業上、國防上、保健上、學術上、最モ重要ナル産業デアリマシテ、此事業ノ成立スルヤ否ヤト云フコトハ、國家ニ重大ナル關係ヲ有スルモノデアリマス、故ニ大正四年歐洲戰爭中、海外ノ染料輸入ガ杜絶サレマシタ際ニ於キマシテ、染料醫藥品製造

獎勵法ヲ制定イタシマシテ、本業ノ成立ヲ策スル所ノ法案ヲ立テタノデアリマス、當時ニ於キマシテ未ダ我國ニ於キマシテハ、染料工業ハ其芽生エダモ見ルコトガ出來マセナンダ状態デアリマス、所謂、暗中摸索ノ中ニ此研究ヲ始メマシタノデアリマスガ、爾來、九箇年ノ歲月ヲ經過イタシマシテ、割合ニ長足ノ進歩ヲ致シマシタ、尤モ此間ニ於キマシテ當事者、殊ニ技術家ハ非常ナ苦心慘澹ヲ致シマシタ結果、我國ニ於キマシテモ最モ必要ト致シマスル染料中……染料ハ六十六種デアリマスルガ、其中、三十餘種ノ成功ヲ致シタノデアリマス、然ルニ歐洲戰爭終局後、主トシテ獨逸ノ染料工業ガ軍需工業ニ移ッテ居リマシタノヲ普通ノ工業ニ還元ヲ致シマシテ以來、非常ナル安價ヲ以テ主トシテ東洋市場ヲ目掛ケテ賣リ崩シテ參ッタノデアリマス、即チ我國ニ於テ既ニ成立イタシテ居リマス染料ニ付キマシテハ、非常ナ安價ヲ以テ賣ッテ參リマシテ、我國ニ未ダ成立シテ居リマセヌ染料ニ付テハ、非常ナル高價價格ヲ以テ賣ッテ參ル、斯ウ云フコトニナリマシタ爲ニ、折角我國ニ成立イタシマシタル染料工業ガ非常ナ打撃ヲ受ケマシタ、然ルニ此工業ハ前申ス通り、國家重大ノ工業デアリマスルカラ、昨年六月ニ政府ハ省令ヲ以テ輸入制限ヲ致シタノデアリマス、此輸入制限ノ結果ト致シマシテ、既製品ノ「ストック」モ捌ケマスルシ、又大量生産ニ移リマシタ爲ニ、却テ價格モ低廉ニナリマシタ、爾來、順調ニ進ンデ居ルノデアリマスガ、茲ニ最モ必要ト致シマスル未ダ成立イタシテ居リマセヌ染料中、二十種ヲ選ビマシテ、之ニ對シマシテ相當ノ保護ヲ致サナケレバ、到底我國ニ成立スル見込ハ無イノデアリマス、此二十種ニ付キマシテハ、既ニ出來マシタル染料ヨリモ更ニ深遠ナル學理ト、精緻ナル技術ヲ要スルノデアリマス、而シテ一面ニ於キマシテハ現行法ハ本年十月ヲ以テ終了ニナルノデアリマスカラ、新ニ茲ニ法案ヲ作製イタシマシテ、是迄ノ保護ノ方針ヲ一變イタシマシテ、既ニ成立イタシマシタルモノニ付キマシテハ略、打切リマシテ、新ニ成立セシメナケレバナラヌ二十種ヲ選ビマシテ、之ニ對シテ所謂、製品補助ノ方法ニ依リマシテ、正味五箇年間ニ四百萬圓以内ノ補助金ヲ交付イタシマシテ、此二十種ヲ完成セシメタイト云フノデア

リマス、此趣旨ヲ以テ本案ヲ作製イタシタノデアリマス、何卒御審議ノ上、御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○山脇玄君 私ハ政府委員ニ、モウ少シ詳シク御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、唯今、政府委員ノ御説明ニ依リマスと云フト、六十六種ノ中、三十種ハ法律ノ保護ニ依ッテ成立スル見込ガ立ツタ、然ルニ尙ホ二十種ホド政府ノ保護ヲ受ケナケレバ成立シナイモノガアルト云フ御趣意デアリマシタ、ソコデ伺ヒタイノハ、大正四年カラ法律ニ依ッテ成立イタシマシタ三十種ハ、今獨逸製品ト競争ヲシ得ル程度ニ進ンデ居リマスヤ否ヤ、是ガ一點、イマーツハ此染料品ガ御承知ノ通り、世界戦争前マデハ殆ド獨逸ガ獨占ヲシテ居ツタ、斯ウ云フトデアリマス、デアリマスカラ是カラ獨逸ガ次第二回復イタシマスト云フト、益、東洋市場ニ輸出ヲシテ參ルニ違ヒナイ、サウ云フ際ニモ矢張り日本ハ此工業ヲ補助シテ、何處マデモ獨逸品ト競争ヲサセルト云フ御考デアリマスヤ否ヤ、此二點ヲモウ一應農商務次官ヨリ詳シク御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

〔政府委員三土忠造君演壇ニ登ル〕

○政府委員(三土忠造君) 御答へ致シマス、既ニ我國ニ於テ成立イタシマシタル染料ガ將來、獨逸ノモノト比較シテ競争シ得ルヤ否ヤト云フ御質問ト考ヘマス、日本ニ於キマシテ既ニ成立セシメマシタルモノノ中デ、獨逸品ト比較シテ、其品質ニ於キマシテモ劣ラナイモノガ随分多イノデアリマス、而シテ生産費其他ノ關係ニ於キマシテモ獨逸ノ染料ガ正當ナル生産費及正當ナル運賃、保險料等ヲ加ヘ、且ツ現行法ニ依ル三割五分……從價三割五分ノ關稅ヲ加算イタシマシタ價格ヲ以テ我が市場ニ這入ッテ來ルト致シマスナラバ、現在ニ於キマシテハ優ニ競争シ得ル程度ニ發達イタシマシタ、唯、昨年マデ獨逸ガヤリマシタヤウニ、我が既成品ニ對シテ非常ナル損ヲシテ競争ヲシテ參ルヤウナ場合ガアリマスルナラバ、無論之ニハ競争ガ出來マセヌカラシテ、當分ノ内、之ニ對シマシテハ輸入制限ヲ加ヘテ置ク積リデアリマス、ソレカラ將來獨逸ガ益、産業ガ復興イタシマシテ、此製造工業ニ向ッテ精力ヲ注イデ、

更ニ安價ヲ以テ東洋ニ集注シテ來タ時分ハドウスルカト云フ御質問デアリマスルガ、御承知ノ通り、世界各國トモ此工業ハ是非トモ國防上、産業上或ハ保健上、學術上等ノ見地ヨリ、國內ニ成立セシメナケレバナラヌト云フ堅キ方針ヲ執ッテ居リマシテ、我國ノミナラズ、英國佛國等モ輸入制限……禁止ヲ致シテ居ルノデアリマス、亞米利加ハ大體七割ノ非常ナ重稅ヲ課シマシテ、之ニ依ッテ獨逸品ノ輸入ヲ防止イタシテ居ルノデアリマス、唯今ノ所デモ前申ス通り、獨逸ガ正當ナル價格ヲ以テ輸入シテ參リマスルナラバ競争ガ出來マスルガ、若シ不正當ニ輸入シテ參リマスル場合ニハ、輸入制限ヲ何時デモ行ヒマシテ之ニ依ッテ保護イタス積リデアリマス、他ノ經濟上ノ産業品ト違ヒマシテ、ドウシテモ國家存立上、必要デアリマスルガ故ニ、此方法ヲ採ルコトハ非常ナル場合ニ於テハ已ムヲ得ヌト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

染料製造獎勵ニ關スル法律案特別委員

- 候爵 細川 護立君 子爵 冷泉 爲勇君 神野 勝之助君
- 男爵 中島 久萬吉君 三宅 秀君 片岡 直輝君
- 藤山 雷太君 三木 與吉郎君 富永 猿雄君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第五、鐵板ノ輸入税ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、大藏政務次官早速整爾君

鐵板ノ輸入税ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正十四年三月十四日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 粕谷 義三

關稅定率法別表輸入稅表中第四百六十二號第四項甲ノ三イノ內硅素鋼板
 (硅素ノ重量カ全重量ノ百分ノ一以上ノモノ)竝同項乙ノ一イ及同項乙ノ二
 ニ掲クル物品ノ輸入稅ハ當分ノ內同輸入稅表ニ依ラス別表ニ依ル

附 則
 本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別表)

輸入稅 表番號	品 名	單 位	稅 率
四六二	鐵 板		
	甲 金屬ヲ鍍セサルモノ		
	甲ノ三 其ノ他		
	イ 厚〇・七ミリメートル ルヲ超エサルモノノ 內硅素鋼板(硅素ノ 重量カ全重量ノ百分 ノ一以上ノモノ)	每百斤	〇・三〇
	乙 卑金屬ヲ鍍シタルモノ		
	乙ノ一 錫鍍シタルモノ (葉鐵及葉鋼)	同	〇・七〇
	イ 尋常ノモノ		
	乙ノ二 電鍍シタルモノ (波形ト否トヲ別タス)	從價	一割八分

備考 從量稅率ノ單位ハ圓トス

〔政府委員早速整爾君演壇ニ登ル〕

○政府委員(早速整爾君) 議題トナリマシタル鐵板ノ輸入稅ニ關スル法律案
 ニ付キマシテ大體ノ説明ヲ申上ゲマス、御承知ノ如ク、現行日英通商航海條約
 ニ依リマスル日英協定稅率ハ、今月十日限り其效力ヲ失フコトトナッタノデア

リマス、然ルニ該協定品目中ニ於キマシテ鐵板中ノ或種ノモノハ本邦ニ於テ
 其生産量ガ十分デアリマセヌ等ノタメ、協定稅率ノ失效ト共ニ、是等物品ニ
 對シ現行法定稅率ヲ其儘適用イタシマスルコトハ實際上、不都合ヲ來シマス
 ルト同時ニ、此鐵板中、或種ノモノノ稅率ハ其原料品ニ對スル稅率ガ多額デア
 リマスル結果、内地産業ヲ維持イタシマスル上ヨリシテ、原料品ノ稅率トノ
 間ニ相當權衡ヲ得セシムルノ必要ガアルノデアリマス、依テ是等ノ物品ノ稅
 率ニ付キマシテハ、此際、當面ノ急ニ應ジマスル爲ニ、適當ナル稅率ヲ設クベ
 キ必要ニ迫ッテ居ルノデアリマスカラ、茲ニ本案ヲ提出イタシタル次第デア
 リマス、何卒御審議ノ上、御協贊ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス
 ○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサ
 セマス

〔小林書記官朗讀〕

鐵板ノ輸入稅ニ關スル法案特別委員

- 子爵 松平 直平君 子爵 柳生 俊久君 男爵 岩倉 道俱君
- 男爵 東 郷 安君 藤田 四郎君 西野 元君
- 佐藤 傳兵衛君 島 定治郎君 成清 信愛君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第六、教育改善及農村振興基金特別會計法案、
 政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、藤村男爵
 教育改善及農村振興基金特別會計法案
 右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正十四年三月十三日

右特別委員長

男爵 藤村 義朗

貴族院議長公爵徳川家達殿

特別委員ノ修正ニ係ル條ノミ
ヲ印刷シ共他ハ之ヲ略ス
ハ修正削除ノ符號ナリ

第三條 本基金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ師範教育ノ改善及農村産業ノ振興ニ必要ナル費途ニ之ヲ使用ス

〔男爵藤村義朗君演壇ニ登ル〕

○男爵藤村義朗君 唯今、上程ニナリマシタル教育改善及農村振興基金特別會計法案ノ特別委員會ノ經過ヲ御報告申上ゲマス、此法律案ハ造幣局ガ補助貨幣ノ改鑄ニ依リマシテ、十三年度末マデニアルベキ益金約一億八千萬圓ノ中、一億三千萬圓ヲ元資金ト致シテ新ニ特別會計ヲ置キマシテ、之ヲ有利ニ運用シテ得タル利益金ヲ毎年教育改善及農村振興ノ爲ニ使ッテ行クト云フ案デアルノデアリマス、單ニソレダケノ簡單ナル法案デハゴザイマスルケレドモ、其内容ヲ見マスルノニ、政府ノ重要政策トシテ認メラレテ居リマス所ノ師範教育ノ改善及農村産業ノ振興ハ、此法律案ノ通過ニ依ッテ初メテ實行サレ得ルノデアリマス、又此基金ノ差當リノ運用ハ、政府ノ三大政綱ノ一ト致シテ居リマス所ノ財政整理及公債政策ノ爲ニハ極メテ密接ノ關係ヲ有シテ居ルノデゴザイマス、即チ一億三千萬圓ノ中、一億四百萬圓ハ臨時軍事費五億五千五百萬圓ノ中、調達未濟額ノ方ヘ貸付ケルコトト相成リマシテ、本年度限り此臨時軍事費特別會計ハ整理閉鎖サレノデアリマス、殘ル二千六百萬圓ハ十四年度ノ公債計畫一億五千萬圓ノ新規發行額ノ一部ト致シマシテ公債デ持ツト云フコトニ相成ル、而シテ斯ノ如ク運用イタシマシテ得マシタ所ノ收入六百五十萬圓ノ中、四百萬圓ヲ師範教育ノ改善ニ使ヒ、二百五十萬圓ヲ農村振興ノ各種ノ事業ニ使フト云フヤウナ仕組ニナッテ居ルノデゴザイマス、斯様ナ次第デ改鑄益金ト云フ不時ノ利益ガアリマシタ爲ニ、臨時軍事費モ整理サレ得ル、公債計畫ノ足シ前ニモナル、師範教育ノ改善モサレル、農村振興モ實行サレルト云フヤウナ譯デ、案其モノハ一ツノ特別會計設置ニハ過ギナイノデアリマスガ、其政府ノ政策ニ影響イタシマス所ハ頗ル大ナルモノガアルノデアリマス、而シテ本案ニ依リマスレバ、教育改善及農村振興ノ必要ナル

費途ハ勅令ニ依ッテ規定サレルト云フコトデアリマス、此勅令ニ依ッテ定メラレル事項ハ何デアアルコト申シマス、師範教育ノ改善ト致シマシテハ第一ニ師範學校ノ本科及専科ニ付キ、文部大臣ガ増加ノ必要ヲ認メタ學級増加ノ爲ニ要スル經常費ノ補助、第二ニハ大正十四年度及大正十五年度ニ於テ、專攻學級増加ノ爲ニ要スル校舍ノ建築費及教授上必要ナル設備費ノ補助、此二項目ノ補助トシテ四百萬ヲ北海道及各府縣ニ交付スルト云フノデアリマス、ソレカラ農村ノ振興ノ爲ニハ、豫算ノ定ムル所ニ依リマシテ左ニ掲クル費途ニ使用スル、第一穀物調製設備其他産業共同施設ノ普及及獎勵費、第二共同籾倉庫並共同乾繭裝置設置助成費、第三農業倉庫助成費、第四農具ノ改良普及獎勵費、第五産業組合事業督勵費、第六副業獎勵費、第七畜産共同施設獎勵費、第八種牡牛馬ノ補充並畜力利用獎勵費、第九船揚場及船溜場設備其他漁業共同施設獎勵費、ソレカラ是等ノ補助金ノ費途又ハ獎勵金交付ニ關シ必要ナル事項ハ主務大臣ニ於テ之ヲ定ムト云フ如キ事項ガ勅令ニ依ッテ規定サレルノデアリマス、デ、委員會ニ於キマシテハ本案ノ趣旨及内容ニ關シマシテ、三回ニ互リマシテ關係各省ノ政府委員ニ對シテ詳細ナル質疑應答ヲ重ネ、然ル後、慎重ナル審議ヲ遂ゲタノデゴザイマス、其詳細ハ速記録ニ依ッテ御覽ノ通りデアリマスルガ、今茲ニ極メテ簡單ニ質問ノ主ナル事項ノミヲ申上ゲマスレバ、補助貨幣ノ改鑄益金一億八千萬圓ノ中、一億三千萬圓デ特別會計ヲ設置スルト云フコトデアアルガ、殘リノ五千萬圓、是ハドウスルンデアアルカ、造幣局特別會計資金トシテ留保セラル、趣デアアルケレドモ、左様ナ必要ガアルカ、留保スル理由ハ何處ニ在ルト云フ如キ質問モ出マシタ、ソレカラ又教育改善、農村振興ト云フ如キ、全ク異ツタ性質ノ事業ヲ、同一計畫ノ下ニ置クト云フノハドウ云フ理由デアアルカ、又助成ノ費途ノ割合ガ、法律若クハ勅令ニ依ッテ規定セラレズシテ、毎年豫算ニ依ッテ定メラレルト云フコトデアアルガ、斯ノ如キハ各省間ニ於テ豫算爭奪ノ弊ヲ起スヤウナコトハ有ルマイカ、又基金ハ如何ニシテ運用セラル、ノデアアルカ、基金ヲ有利ニ運用スルト云フ意味ニ於テ、國債ニ次ギ確實ナル府縣債ノ如キニモ、此基金ヲ以テ投資セラル、ノ

デアアルカ、又基金ヲ有利ニ運用シテ六百五十萬圓以上ノ收入ヲ得タル場合、其差金ハ教育及農村、何レノ方面ニ使フノデアアルカ、按分デ使フカ、或ハ折半シテ使フカ、或ハ何レカノ一方ニ使フンデアアルカ、又教育改善ヲ師範教育ノ改善ニ限定シタノハドウ云フモノデアアルカ、單ニ教育改善トシテ、限定シナイ方ガ、寧ロ立法ノ權衡上、當ラ得タモノデハナイイカト云フ如キ質問ガ發セラレタノデアリマス、又師範教育ノ改善ニ付キマシテハ、一部制ト二部制トノ優劣如何、卒業生ノ質ト量トノ問題、學科ノ内容ノ改善、師範學校ノ教員ノ質又ハ供給ニ關スル問題、或ハ義務教育年限延長ノ問題等ニ互リマシテ、幾多ノ質問ガ發セラレタノデゴザイマス、ソレカラ農村振興ノ方面ニ關シマシテハ、今日ノ急務ハ農村振興ト云ハムヨリハ、寧ロ農村ノ維持安定デアアル、今回ノ計畫ノ如キハ甚ダ陳腐極マル計畫デアアル、何カ此計畫以外ニ適切ナル方策ハ無イモノデアラウカ、又二百五十萬圓位ノ金ヲ、幾多ノ施設ニ之ヲ分配シテ使フヨリハ、寧ロ最モ急務トスル所ノモノニ集中シテ使フ方ガ、農村ノ經濟力ヲ増進セシメル上ニ於テ、一層有效デハアルマイカ、又自作農ノ創定ニ付テ、政府ハドウ云フ考ヲ有ッテ居ルカト云フ如キ質問ガ出タノデゴザイマス、大體ニ於キマシテ、委員ノ間ニ最モ意ヲ注ガレマシタ問題ハ、第一ハ此一億三千萬圓ノ基金ノ運用方法如何、第二ハ基金ヲ有利ニ運用シテ年五分以上ノ收入ガアリタル場合、即チ六百五十萬圓以上ノ收入ガアッタ場合ニ、其差益ヲドウ使フカ、第三ニハ六百五十萬圓ノ收入ハ教育改善ニ四百萬圓、農村振興ニ二百五十萬圓ト分ケルサウデアアルガ、是ハ法律デモ定メテハナク、又勅令デモ定メテハナイノデ、詰リ豫算デ定メルト云フコトデアリマス、左様ナコトガ適當デアアルカドウカ、唯豫算デ之ヲ決メルト云フコトデアレバ、例ノ豫算爭奪ト云フガ如キ弊害ガ起ルト云フ問題ガ出タノデアリマス、ソレカラ第四ニハ政府ガ示ス如キ事項ヲ定ムル爲ニ、殊更ニ此法律ニ伴ウテ、勅令ヲ發布スル必要ガアルカドウカ、ソレカラ第五ニハ、法律ニ於テ殊更ニ教育改善ヲ師範教育ノ改善ノミニ限定スルニハ及バスノデハナイカ、ト云フ是等ノ四五ノ點ガ委員ノ間ニ於テ最モ論議セラレタ點デアリマス、第一ノ基金ノ運用ト

云フコトニ付キマシテハ、本案ノ趣旨ヲ説明セラレマスル際ニ於キマシテ、政府ハ之ヲ有利ニ運用スルト云フコトデアリマシタガ、既ニ前ニモ申上ゲマシタ如ク、大正十四年度ニ於テハ、此基金ノ運用方法ハ既ニ豫定サレテ居ルノデアリマス、是ハ大藏大臣ガ豫算案説明ノ際ニモ述ベラレマシタ通り、臨時軍事費公債計畫ノ方ニ使フト云フコトハ既ニ決マッテ居リマス、故ニ少クトモ十四年度ニ於キマシテハ、五分以上、有利ニ運用スルト云フコトハ、困難ナル問題デアアルノデアリマス、從テ第二ノ問題デアアル所ノ差益金ノ費途ニ付キマシテハ、少クトモ明年度ニ於キマシテハ、何等問題ハ起ラスノデアリマス、第三ノ所謂豫算爭奪ト云フコトニ付キマシテハ、色々ノ議論モゴザリマシタガ、結局、是ハ政府部内ノコトデアアル、内閣デ統一セラルベキコトデアアルカラ、法律ヤ勅令デ窮屈ニ規定スルヨリハ、豫算ニ於テ審議決定スルコトニ致シタ方ガ却テ伸縮アラシメル所以デ、其方ガ宜イデハナイイカト云フヤウナ説ガ有力デアッタノデアリマス、併ナガラ以上ノ諸問題ニ付キマシテ、各省政府委員ノ答辯説明ニ於テ、最初多少ノ明瞭ヲ缺イタ所モゴザイマシタ、不十分デアッタ點モアリ、又説明ニ矛盾ノ廉モアリマシタ、又關係各省ニ於ケル意思ノ疎通ガ幾分不十分デアリマシタ爲カ、ドウモ各省思ヒ／＼ノ思惑ガゴザイマシタ爲ニ、政府委員ノ應答ニ多少齟齬モアッタノデアリマスケレドモ、要シマスルニ、明年度ハ政府ノ財政計畫ニ於テ此基金ヲ五分以上ニ廻スコトハ不可能デアアル故ニ、六百五十萬圓以上ノ收入ハナイ、併ナガラ法律ノ精神ヨリ申セバ、基金ハ成ルベク有利ニ運用シテ、一文デモ多ク收入ヲ殖ヤスベキデアッテ、明年度計畫ノ如ク、無理ニ釘付ケスルノハ一時ノ變態デアアルカラ、將來ハ一般會計カラ此金ヲ取戻シテ貰ッテ、出來ルダケ有利確實ナル方面ニ運用スルノガ本筋デアアルト云フヤウナコトニ議論ガ落著イタシタンデアリマス、又第四ノ政府ガ示スガ如キ事項ヲ勅令ヲ以テ定メルト云フコトハ、施設事項進捗上、又ハ時勢ノ變化ニ伴ウテ、是等ノ事項ニ改善ヲ要シマスル場合、一々勅令ノ改正變更ヲ要スルコトト相成リマシテ、頗ル煩雜ニ涉ルノ嫌ヒガアル、施設事項ノ如キハ毎年ノ豫算ニ於テ審議決定サレ、バ宜シイノデ、

何モ勅令ヲ以テ窮屈ニ規定シテ置ク必要ハナイト云フ如キ意見ガ質問應答ノ間ニ有力ニ交換サレタラシムルベキアリマス、又第五ノ教育改善ニ要スル費途ヲ師範教育ニ限定スル必要ガアリヤ否ヤト云フコトニ付キマシテ、師範教育ノ改善ノ必要デアルト云フコトハ、本委員會ニ於テハ之ヲ認メル、併ナガラ如何ナル方法ニ於テ改善スルヲ可トスルカノ此内容ニ至リマシテハ、是ハ豫算ノ審議ニ於テ決セラルベキ問題デ、本委員會ハ唯、師範教育改善ノ要否ヲ決定スレバ宜シイノデアアル、其趣旨ニ於テハ賛成デアアル、併シ此法律ニ於テ單ニ師範教育ノミニ限定スル必要ハ無イ、將來、基金ノ運用其宜シキヲ得テ收入ガ大イニ増加シタ場合ニ、其増加額ヲモ師範教育ノ改善ニノミ充テネバナラヌト云フコトハ、文部省モ或ハ却テ御迷惑ニ相成ル場合ガ無イトモ限ラヌ、又時勢ノ進化ニ依リマシテ、師範教育以外ノ改善ヲ急務トスル場合モ想像シ得ラレ

ル、故ニ此法律ニ於テ師範教育ト限定シ置カムヨリハ、師範ノ二字ヲ削除イタシテ、單ニ教育改善ト致シテ置イタ方ガ、基金ノ費途ニ弾力性ヲ與ヘル、政府ノ裁量ノ範圍ヲ廣メテ、適用ヲ廣クスルノ得策ナルニ如カズ、年々ノ用途ハ豫算ニ於テ決定スレバ何等ノ支障ハ無イノデナイカト云フ議論ガ、極メテ有力ノヤウニ見受ケラレタラシムルベキアリマス、ソレカラ討議ニ移リマシテ、一委員ヨリ唯今申上ゲマシタ如キ趣旨ニ依ツテ、第三條ノ條文修正ノ提議ガアリマシタ、即チ本案第三條「本基金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ師範教育ノ改善及農村産業ノ振興ニ必要ナル費途ニ之ヲ使用ス」此條文ヲ改正シヤウト云フ提議デアリマス、此條文ノ中「勅令ノ定ムル所ニ依リ師範」此數字ト、ソレカラ「農村産業ノ振興」ノ此「産業」ト云フ二字、之ヲ削除シヤウト云フノデアリマス、即チ「本基金ハ教育ノ改善及農村振興ニ必要ナル費途ニ之ヲ使用ス」斯様ニ修正シヤウト云フノデアリマス、而シテ委員ハ之ニ附言サレマシテ、此修正ハ決シテ師範教育ノ改善又ハ農村産業ノ振興ニ反對スルノ意味デハナイ、勿論、今日豫算委員ニ於テ審議中ニ屬シマスル師範教育改善ニハ異論ノアル意味デ之ニ反對シ或ハ之ヲ阻止又ハ修正セシメトスルノ意思ヲ以テ本案ヲ修正スルノデハナイ、ソレ等ハ豫算ニ於テ審議決定スベキ問題デアアル

ト云フコトヲ附加ヘラレマシタデアリマス、而シテ此修正ハ全會一致ヲ以テ可決イタシマシテ、本案全部右ノ如ク修正シテ可決ニ相成ッタデアリマス、又一委員ヨリ次ノ如キ希望決議ガ提議サレマシタ、「本特別會計ノ基金ハ本年度ニ於テハ財政計畫上到底ナシ得難キ由ナルモ次年度以降ニ於テハナシ得ル限り之ヲ有利ニ運用シテ其差金ハ本特別會計ノ使用シ得ル金六百五十萬圓ニ差加ヘ教育方面農村振興ノ方面ニ其時ノ狀態ニ應ジ其緊急ト認ムベキ向ヘ使用シテ其施設ヲシテ遺憾ナカラシムル様セラレタシ」ト云フ希望決議デアリマス、本委員會ニ於キマシテハ之ヲ委員會ノ希望決議ト致シマシテ、異議ナク可決イタシタノデゴザイマス、大體ノ經過ハ右様デゴザイマス、此段御報告申上ゲマス

〔鎌田榮吉君演壇ニ登ル〕

○鎌田榮吉君 唯今、議題ニナツテ居リマスル此農村振興及教育改善特別基金ノ制ヲ設ケラレルト云フ此事ニ付キマシテハ、唯今、委員長ヨリ詳細ナル御報告ガゴザイマシテ拜承イタシマシタ、而シテ之ト關聯ヲシテ居リマスル所ノ此豫算ニ付キマシテハ、豫算委員會ニ於テ私ヨリ當局ニ質問ヲ致シマシタ、ソレニ對スル御答辯モアリマシタ、此質問ノ趣意ハ、此特別會計ノ制ヲ設ケルト云フコトガ根本的ニ誤ツテ居リハシナイカ、第一、今回ノ政府ノ財政整理、此財政整理ヲナサル、ニ付キマシテハ、成ルベク財政ヲ簡單ニシテ複雑ナル種々ノ制ヲ廢スル、是ガ先ヅ根本的ノ整理デナケレバナラヌ、政府亦此趣意ニ依リマシテ種々ノ特別會計ヲ減廢セラレタト云フコトモ、是モ事實デアリマシテ、私ハ其點ニ付テハ頗ル賛成ヲ致シテ居ルノデアリマス、然ルニ今回又此農村振興、教育ノ改善ノ爲ニ、新ニ一ツノ特別會計ヲ設ケルト云フコトニナツタノデ、併ナガラ其趣意ハ至極結構デアリマスケレドモ、抑、貨幣鑄造益金ヲ特別會計ニ依ツテ之ヲ保留シテ、其益金ノミヲ使用シテ……農村及教育ノ爲ニ使用スルト云フコトガ、何故ニモウ一步進メテ之ヲ根本的ニ農村ノ振興及教育ノ改善ノ爲ニ使ハナイノデアアルカト云フコトガ、私ノ質問ノ趣意デアッタノデアリマス、即チ今日ハ教育上又農村産業上ニ種々ノ施設スベ

キコトが多イノデ、併ナガラソレヲ思フヤウニ出來ナイノハ全ク財政ノ窮迫カラ起ル、文部大臣ハ此國民ノ要望タル所ノ義務教育年限延長、最モ非常ナ急務デアルケレドモ、何分財政ガ許サナイ、農商務大臣モ農村振興ニ付テハ種々ノ施設ガアルケレドモ何分財政ガ許サヌカラシテ、思フコトハ出來ナイ、斯ウ云フコトデアリマシテ、如何ニモ其通り、ドウシタツテ金ノ無イコトハ出來ナイ、所謂無イ袖ハ振レナイノデアルト云フ點ニ付テハ頗ル御同感デアリマスケレドモ、私ノ見ル所デハ金ガ有ル、大變ナ金ガ有ル、即チ此貨幣鑄造……改鑄益金ナルモノハ、一億八千萬圓ト云フ大金ガ有ル、其一億八千萬圓ノ中、五千萬圓ハ貨幣鑄造ノ運轉資金トシテ之ヲ保留スル、此事サヘ私ハ甚ダ疑フ懷イテ居ルノデアリマス、貨幣ノ爲ニ……貨幣鑄造若クハ改鑄ノ爲ニ資金ガ要ルナラバ、ソレハ年々總豫算ニ於テ積ツテ宜シイ譯デアアル、併ナガラ既ニ相當金ノ要ルコトガ起ツテ居ルサウデアリマスカラシテ、是ハ先ヅ五千萬圓ヲ保留スルト云フコトハ論外ト致シタ所デ、一億三千萬圓ヲ何故ニ元資共ニ之ヲ使用シナイ、此金ヲ使用イタセバ、文部大臣ノ最モ急務ト認ムル所ノ義務教育年限延長モ、是モ先ヅ其臨時費及當分ノ經常費ヲ支辨シ得ルコトガ出來ル、農村振興ニ於テモ、今日ノ計畫以上ノコトガ出來ルノデアアル、何故ニ之ヲ使用シナイカト云フコトニ付テ、大藏大臣又文部大臣等ノ説明ヲ伺ヒマス云フト、此金ハ第一國民ノ皆持ツテ居ツタ銀貨ノ目方ヲ減ジテ、サウシテ改鑄シタ、其爲ニ出來タ金デアアル、國民ノ金ヲ政府ニ益金トシテ取ツタノデアアルカラシテ、國民全體ノ爲ニ利益ニナルヤウニ之ヲ使ヒタイト思フ、ソレガ爲ニ永久之ヲ保存スル、斯ウ云フ御説明デアアル、私ハ國民、成程、國民ノ「ポケット」カラ出ナイ金ト云フモノハ一文モナイ、政府ニアル金ハ皆國民カラ出タ金デアアル、ソレヲ國民ノ爲ニ使フト云フコトハ無論ノ話デアアルナラバ、何ガ此國民全般ノ利益ノ爲デアルカト云ヘバ、即チ國民……即チ第二ノ國民タルベキ所ノ人々ノ頭腦ノ中ニ智德ノ改善ト云フ、此智德ノ種ヲ植エ付ケルト云フコトハ、萬世ニ互ツテ國民ノ利益ニナルト云フコトハ、是ハ明白ナル、申ス迄モナイコトデアアル、何故ニソレニ向ツテ使ハレナイカ、又

此益金、何故ニ此銀貨ノ目方ヲ減ジタカト言ヘバ、是ハ申ス迄モナク、即チ當局者ガ説明サレルガ如ク、銀ノ相場ガ高クナツテ、ソレニ比シテ日本ノ補助貨幣ノ目方ガ重モ過ギルカラシテ、是ガ即チ溶液點ニ達シタ銀貨ヲ鑄潰シタ方ガ得ニナルト云フコトカラシテ、是ハドウシテモ銀貨ノ目方ヲ減サナイト云フト、貨幣ガ段々地金ニ化シテシマウト云フ點カラ之ヲ減ジタ、量目ヲ減ジタ、其益金デアアル、ソレニ付テ私ハ當時伺ツタガ、此日本ノ貨幣ハ銀貨ガ溶液點ニ達シタト同様ニ、今日ハ此金貨ガ既ニ溶液點ニ達シテ居ル、今日ハ先ヅ四十弗ト云フモノガ今日ノ此爲替相場、サウシテ見レバ五分ノ一、五分ノ一ハ、百圓ニ付テ二十圓ト云フモノハ、此貨幣ノ方ガ重クナツテ居ル、貨幣ヲ溶解スレバ、百圓溶解スレバ二十圓儲カル、一萬圓溶解スレバ二千圓儲カル、斯ノ如キ今日ハ爲替ノ状態ニナツテ居ル、御承知ノ如ク、金ハ一匁五圓ト云フコトニ貨幣制度カラナツテ居ル、今ノ貨幣デ云ヘバ一匁五圓ニナツテ居ル、所ガ實際ノ賣買ハ六圓五十錢ト云フコトニナツテ居ル、即チ三割ノ今日ハ相違ヲ起シテ居ルノデアリマスカラシテ、是ガ溶液セラレズニ居ル譯ハナイ、如何ニ此兌換ヲ止メテ、全ク法律上定マツテ居ル所ノ兌換ト云フモノヲ停止シテ、事實ハ引換ヘナイノデアアルガ、又解禁モシナイデ外國へ出ルコトヲ止メテ居ルノデアアルケレドモ、何シロスノ如キ貨幣地金ノ間ニ相違ガ起ツテ居ル以上ハ、非常ナル貨幣ナルモノハ不安定ナル状態、動モスレバ之ヲ溶カサレタナラバ、莫大ナル利益ヲ得ラレルコトノ状態ニナツテ居ルモノガ、如何ニ政府ノ力ト雖モ、日本銀行ノ努力ト雖モ、之ヲ止メルコトハドウシテモ出來ナイ、ドウシテモ水ガ漏ルガ如クニ始終漏ツテ居ルト云フコトハ私ノ此前述ベタ通り、此銀貨ヲ改鑄スルト云フコトガ利益デアラナラバ、金貨ヲ改鑄シタナラバ更ニ利益デアアル、貨幣其モノハ成ルベル安定スルト云フコトガ必要デアアル、此安定スルト云フコトガ、物ノ、物價ノ尺度トナツテ、安定スルト云フコトガ必要デアルト云フコトハ自明ノ理窟デアアルガ、此安定ヲ缺イテ居ルト云フノガ、今日ノ最モ財政上ノ缺陷デアアル、爲替ガ下ガツテ居ルト云フヨリハ、貨幣ノ上下スル、浮沈スルト云フコトガ非常ニ恐ルベキモ

ノニナッテ居ル、何故ニ之ヲ銀貨同様ニ之ヲ改鑄スルト云フコトヲシナイノデアアルカ、ト云フコトノ理窟ハ立派ニ立チ得ル、是ハ此法案ニ直接關係ハナイコトデアリマスガ、今斯ノ如キ理窟ニ依ッテ得タル所ノ此益金ヲ、之ヲ使ハナイト云フノハ、モウ一ツノ理窟ガアル、永久ニ保存スルト云フ意味ノ外ニ臨時軍事費ナルモノノ特別會計ヲ廢スル、ソレガ爲ニハ茲ニ一億五千萬圓ノ公債ヲ公募……募集スル中ノ二千五百萬圓ダケハ、此益金ノ即チ今回ノ法律ニ依ッテ基金トナルモノノ中カラ、二千五百萬圓應募シヤウト云フ、此二千五百萬圓應募シナケレバナラヌト云フ必要ノ爲ニ、一億三千萬圓全部ト云フモノヲ抑留シテ置カナケレバナラヌト云フコトハナイ、若シソレニ應ズル必要ガアレバ、其中カラシテ二千五百萬圓ダケ應ズレバ、アト一億五千萬圓殘ルノデアリマスカラ、此一億五百萬圓ナルモノヲ、國民全體ノ「ボケツ」カラ出、國民ノ所有ニ屬スル所ノ銀貨ノ量目ヲ減ジタガ爲ニ出タル所ノ益金デアルガ爲ニ、國民將來ノ爲ニ永ク之ヲ利用シヤウト云フナラバ、何ガ故ニ之ヲ農村振興、教育改善ト云フ大切ナル計畫ニ向ッテ元利共ニ之ヲ使用シナイノデアアルカト云フコトニ付テ伺ッタノデアリマスケレドモ、此點ニ付テハ更ニ要領ヲ得ナイ、唯矢張り以前私ガ茲ニ述ベタ通りノ御説明ガアッタノデアリマス、併シ是ハ豫算ニ付テ私ハ伺ッタノデアリマス、今此法案ヲ決定スル場合ニ、當局者ノ御答辯及私ノ茲ニ申上ゲタコトガ、諸君ノ賛否ヲ表セラシ、上ニ多少ノ御參考ニモナルカト思ヒマスガ、私ハ此事ヲ當局ニ向ッテ更ニ此法案ニ付テモ多分同様ノ御考ヲ居ラレタコトト思ヒマスガ、茲ニ一應ノ御説明ヲ願ヒタイト思フ

〔政府委員早速整爾君演壇ニ登ル〕

○政府委員(早速整爾君) 唯今ノ鎌田君ノ御尋ニ對シテ私カラ大體御答ヲ致シタイト思フノデアリマス、鎌田君ノ御意見ハ、貨幣ノ改鑄ニ依ッテ生ジタル益金ハ、之ヲ基金トシテ留保シナクトモ、國家必要ノ經費ニ向ッテハ其元金ヲドンドン使ッテモ宜シイデハナイカト云フ御考ガアルカノヤウニ伺ハレルノデアリマスガ、是モ一應ノ御意見ト承リマス、併シ是ハ大藏大臣ガ豫

算委員會デ申述ベマシタル如ク、政府ト致シマシテハ此貨幣ノ益金ハ元金ヲ消費シテシマフト云フコトヲシナイノデ、之ヲ益金トシテ留保スルト云フコトガ今日ノ場合得策デアルト信ジテ、此基金法案ヲ提出スルコトニ至ッタノデアリマス、元金ヲ使フガ宜イカ、元金ハ依然トシテ之ヲ基金トシテ留保スル、其利息ニ依ッテ色々ナ計畫ヲスルガ宜イカト云フコトハ、自ラ意見ノ分ル、所デアリマスガ、今日ノ政府ノ財政計畫ト致シマシテハ、斯様ナモノヲ留保ヲスルコトガ必要ダト考ヘタニ外ナラヌノデアリマス、而シテ此留保シテアル現金ヲドウ云フ風ニ使フカト云フコトニ付キマシテハ、唯今、鎌田君ノ御話ニ多少違ッテ居ル點ガアリマスカラ、辯明ヲ致シテ置カナケレバナラヌノデアリマス、臨時軍事費ノ特別會計ヲ閉鎖スルニ付キマシテ要ル金ハ、一億四百萬圓ナノデアリマシテ、此一億四百萬圓ノ臨時軍事費ノ財源トシテ公債ニ俟ツベキ筈ニナッテ居ッタノデアリマスガ、多年此市場ノ景況ニ依ッテ、公債ヲ募集スルコトガ出來ナカッタ爲ニ、此一億四百萬圓ト云フモノガ依然トシテ今日ハ公債ニ依ルコトガ出來ナイデ殘ッテ居ル、一般會計カラ之ヲ一時立替ヘテ居ルト云フ情勢ニナッテ居ルノデアリマスカラ、今回、此基金ノ制度ヲ設ケマシテ、此基金ニ依ッテ臨時軍事費ノ滯ッテ居ル此一億四百萬圓ノ片ヲ付ケルト云フコトニ相成リマスノデ、ソレカラ二千五百萬圓ト云フコトヲ御述ベニナリマシタガ、是ハ臨時軍事費トハ關係ガナイノデアリマス、此残りノ二千五百萬圓ハ、大正十三年度ノ此財政計畫ノ中ニ入レルベキ筈ニナッテ居ルノデアリマス、是ハ大正十三年度ニ於テ……十三年度デアリマセヌ、十四年度デアリマス、十四年度ニ於テ募集ヲシナケレバナラヌ……發行ヲシナケレバナラヌ公債ノ中、二千五百萬圓ハ此金ニ依ッテ處理ヲ致シタイト云フ計畫ガ、財政ノ上ニ於テ立テラレテ居ルノデアリマス、サウ云フ風デアリマシテ、今此基金ヲ使ッテシマフト云フコトニ相成リマスレバ、臨時軍事費ノ處分ヲスル此一億四百萬圓ノ片ヲ付ケルト云フコトモ、出來ナクナルノデアリマス、從テ大正十四年度ノ財政計畫ノ上ニモ狂ヒガ生ジテ來ルト云フコトニ相成ルノデアリマス、政府ト致シマシテハ此基金ノ制度ヲ設ケテ、元金ヲ使

ハズニ、其利子ニ依ッテ國家必要ノ經費ニ充テルト云フコトガ、今日デハ得策デアルト信ジタノデ、唯今申シタヤウニ臨時軍事費會計ノ處置ヲスルシ、又十四年度ノ財政計畫ニ依ッテ、唯今申スヤウナ此二千五百萬圓ノ公債財源ヲ得ルト云フ途モアルノデアリマスカラ、併セテ此特別會計ノ基金制度ヲ設ケルト云フコトガ必要デアルト信ジタニ外ナラヌノデアリマス、概略是ダケノコトヲ御答申シテ置キマス

○鎌田榮吉君 此席カラチヨット申上ゲマス、全體ニ政府ノ財政整理ノ御方針ハ特別會計ヲ廢シテ……廢シ得ルモノハ廢シテ、成ルベク會計ヲ簡單ニスルト云フコトガ御趣意デアルト云フコトハ、私モ贊成ヲスル所デアリマス、斯ノ如キ特別會計ヲ設ケナクテモ他ニ方法ガアツテ、此金ヲ使ハナイナラバ使ハナイデ、ソレデ以テ公債ヲ銷却スルコトモ出來ル、銷却シテ而シテ銷却シタガ爲ニ生ズル所ノ餘裕ト云フモノハ、財政上ニ起ッテ來ルノデアリマスカラシテ、之ヲ年々六百五十萬圓ナラ六百五十萬圓ト云フモノヲ使ッテ行クコトガ出來ル、大體ノ御方針ガ財政ヲ成ルタケ簡單ニシテ特別制ヲ設ケナイト云フコトナラバ、斯ノ如キ方法ニ依ラザルコトヲ私ハ宜シイト信ズル、併ナガラ大體、政府ノ御趣意ノアル所ハ分リマシタカラ是デ……

○玉利喜造君 私モ質問ヲ、是ハ委員長ノ方ニ致シタイノデゴザイマス、ドウカ……改鑄益金ハ教育ノ方ト、ソレカラ農村振興ノ方ニ向ケラレルト云フコトハ、早ク聞イテ居リマシタ、其時ノ割振りノ歩合ト云フモノハ……割合ト云フモノハ、今私ノ承ル所ノ教育ノ方ガ四百五十萬圓、ソレカラ農村振興ノ方ガ二百萬圓ト云フコトハ（聴取シ難シ）居ッタヤウニ思ウテ居リマシタ、是デサヘモ私ハ疑ガアルノデゴザイマスガ、先程、委員長ノ御報告ニ依リマスト、此委員方デモ豫算爭奪ト云フコトニ付テ御心配ガアッタヤウデアリマスタ、私ノ心配シテ居ルノモソレデゴザイマス、殊ニ今度ノ此金ハ二省ニ互ッテ割振ラレルコトニナルノデアリマスカラシテ、一ツノ金ヲ二省ニ分ッテ毎年使ハル、ト云フコトニ至リマシタナラバ、ドウデアリマスカ、此四百五十萬圓、二百萬圓ト云フモノハ、決シテソレハ狂ヒハナイト、相違ハ起ラヌト

云フノデアリマスカ、何か都合ニ依ッテハ更ニ融通ガ出來ルヤウナ風ニナッテ居ルデスカ、ドウモ承ッテ見マスト、私ノ心配ヲシテ居リマスノハ、師範教育ト云フノヲ教育ニ直ス、大變範圍ガ廣クナリ、農村産業ノ振興ト云フノヲ農村ト云フコトニナッテ、其範圍ガ廣クナッテ來タ、兩方トモ色彩ガ薄クナッテ來ル、薄クナッテ來ルト其間ニ融通ガ出來ルモノト私ハ見テ居ルノデアリマス、即チ豫算爭奪ガ出來ルモノト見テ居ルノデアリマス、ソレハドウ云フコトデアリマスカ、チヨット二百萬圓ト四百五十萬圓ト、其何ト云フモノハ金ヲ使フコトハチヤント勅令デデモ規定シテ出來ルコトデアリマスカ、何モナイデ毎年ソレダケヅツ出スト云フコトニシテ、内規デモシテアル位ノモノカ、チャントソレダケニ極マッテ居ルモノデアリマスカ、私ハ前カラ經驗ガアルノデアリマス、例ヘバ農會ノ補助費ノヤウナモノハ、アレハ僅カナモノデアリマスカ、三十萬圓ノ金ヲバ全國ノ農會ニ割當テルト云フコトデ、四百圓以上ハ補助スルコトガ出來ストナッテ居リマシタ、其當時ハソレデモ大變農會ノ爲ニ宜シイノデアリマス、大變喜ンデ居リマシタ、ソレデ四百圓ノ補助ヲ農會ガ貰ッテ居ッタ所モ随分アリマシタ、ソレガ漸々減ゼラレテ漸ク半分位ノ金ヲバ補助サレルト云フヤウナコトニナッテ居リマシタ、其當時初メ通過シタ頃ハ熱心ナ人達ガ運動シテ、サウ云フコトニハナリマシタケレドモ、後ニナルト歴史モ何ニモ知ラナイデ、ボンヤリトシテ來ルノデアリマス、是ハ農商務省ニ屬シタ金ヲ一省内デサウ云フコトヲスルノデアリマスケレドモ、ソレガ十五萬圓……サウデス、十五萬圓ニナッテ、十五萬圓ヲ皆農會ニ給與シナイ、補助シナイ、サウ云フコトニナッテ居ッタ、外ニ農業ノ仕事バカリデナイ、農業ノ爲ニ使ッタモノト見テ居リマスカ、使フコトニナリマシタ、ソシナヤウナコトデ初メハ立派ニサウ云フコトガ説明サレマスケレドモ、後ニナルトソレガボンヤリトナッテ來マスカラ、願ハクバ最初カラ二ツニ分ケルコトヲ希望スルノデアリマス、先ヅ兔モ角、委員長ニ一ツ何ヲ御問ヒ致シタイノデアリマス

○男爵藤村義朗君 玉利君ノ御質問ニ御答ヘ致シマス、一億三千萬圓カラ出

マシタ収入ノ六百五十萬圓ノ中、四百萬圓ハ教育ノ改善ニ使用スル、二百五十萬圓ハ農村振興ノ費用ニ使用スル、此事ハ政府委員ノ説明ニ依リマスレバ、確定イタシテ居ル、金額ヲ四百萬圓ト二百五十萬圓トニ分ケテ使用スルト云フコトニ確定シテ居ルノデアリマス、其數額ハ政府ノ説明スル所ニ依リマスレバ、先ヅ約十年位ハ此割合デ繼續スベキモノデアルト云フヤウナ考ノヤウニ承リマス、尙ホ詳細ナコトハ、ドウゾ政府委員ヨリ御聽取ヲ願ヒマス

○玉利喜造君 尙ホ委員長ニ御尋ヲ致シマスガ、唯、政府部内デ以テ確定シテ居ルト云フギリヂヤ、ドウモ安心ガ出來ナイノデアリマス、何カ勅令デモサウ云フコトニナルノデアリマスカ、其見込ノ所ヲ聞キタイ

○男爵藤村義朗君 政府デ確定シテ居リマス金額ハ、是ハ豫算ニ依ッテ豫算委員デ決メテ譯デゴザイマス、審議シテ決定スル譯デゴザイマス、政府ノ方デハ四百萬圓、二百五十萬圓ト決メテ居リマスノデアリマスケレドモ、其決定ハ豫算委員會ニ於テ致スノデアリマス

○玉利喜造君 サウナルト尙ホ……サウナリマスト尙ホ……心配ガ強クナッテ參ルヤウナ心持ガ致シマス、ドウモ教育ト云フ字ニ擴張シテ、ソレキリデヤッテ來タノデ、ソレカラ一方ノ方デハ農村ト云フコトニナッテ來マスカラシテ、農村デヤル教育ハ是ハ農村ノ爲ト云フノデ、教育ノ方デソレヲ爭奪シテ取ッテシマヘバ説明ガ濟ム譯デアリマスカラ、ソシテヤウナコトガ行ハレハセスカ、其爲ニ又色彩ヲ濃厚ニセヌデボンヤリシテ置イタカラ、サウナッタヂヤナイカト云フ虞レガアルノデアリマス、私ハ是非是ハドウカシテ此通りノ修正ニ依ッテデモ……ドウカ之ヲ改正シタイコトヲ望ムノデアアル

○男爵阪谷芳郎君 本員ハチヨット政府ニ御問ヒ致シマス、三條ノ委員會ノ修正ニハ御同意ニナッタコトト考ヘマスガ、サウナリマスト三條六條ノ原案ノ意味ガ變ハッテ來ルヤウニ本員ハ思ヒマス、原案ノ意味デハ毎年度決算額ヲ繰入レルト云フコトニ本員ハ解シテ居リマス、三條修正ノ結果トシテ豫算額ヲ繰入レルト云フコトニナルデアラウト思フ、其方ガ便利ト思ヒマス、他日、間違ノナイヤウニ之ヲ確メテ置キマス

〔玉利喜造君發言ノ許可ヲ求ム〕
○議長(公爵徳川家達君) 今政府委員ガ答辯セラレマスカラ、其後デ願ヒタイト存ジマス

〔政府委員早速整爾君演壇ニ登ル〕
○政府委員(早速整爾君) 唯今、阪谷男爵ノ御尋デアッタノデアリマスガ、此第三條ノ修正ガ出來マシタ場合ニ、第六條ノ規定ト意味ガ違ッテ來ハシナイカト云フ御尋ノヤウニ承ッタノデアリマス、是ハ修正ガ出來マシテモ別ニ第六條ト照合シテ見マシテモ、ソコニ意味ノ違ッタコトハナイヤウニ考ヘマスガ、ドウ云フ所デアリマスカ

○男爵阪谷芳郎君 原案ノ通りデアリマスト決算額ヲ繰入レルコトニナル、即チ豫算デ決メマシテモ豫算通り金ヲ使ヘルモノデハナイ、所ガ今度修正ニナリマスト範圍ガ廣クナルカラ、豫算デ繰入レタ方ガ大藏省ハ却テ便利ダラウ、サウスルト何十何錢ト云フ小サナモノハ御切リニナッテモ宜イト云フコトニナル、即チ範圍ガ原案デアルト云フト限定サレテ居ルケレドモ、之ヲ委員會ガ限定ノ意味ヲ除キマシタカラ、決算デ繰入レルト云フ必要ハ無いダラウト思フ、其方ガ宜カラウト思フ、ソレニ政府モ同意シタノカ、斯ウ云フコトヲ伺ッタノデアリマス

〔政府委員早速整爾君演壇ニ登ル〕
○政府委員(早速整爾君) 政府ガ此第六條ニ依リマシテ歳入ニ此金額ヲ繰入レ、ソレカラ一般ノ歳出デ拂出スト云フ規定ニ依ッテ、豫算ヲ組ミマス場合ニ於キマシテハ、第三條ガ修正ニナリマシテモ、修正ニナリマセヌデモ、別ニ變ハッタコトガナイヤウニ思フノデアリマス、政府ハドコマデモ豫算ニ依ッテ是ハ要求スルト云フコトニナッテ居リマス、併シ此「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ文字ガ無クナリマシタ爲ニハ、其活用ノ範圍ガ廣クナッタト云フコトハ、今男爵ノ仰セラレル通りデアラウト思フノデアリマス、大體ノ趣意ニ於テ違ッタコトハナイト存ジマス爲ニ、政府ハ此修正ニ對シテハ無論同意ヲスルト云フ考ヲ有ッテ居ルノデアリマス

○男爵阪谷芳郎君 政府委員ハ能ク御分リニナラヌヤウデアリマス、原案ノ六條ヲ御尋ネスルノデアリマスガ、是ハ決算額ヲ入レル意味デアリマスカ、豫算額ヲ入レル意味デアリマスカ

〔政府委員早速整爾君演壇ニ登ル〕

○政府委員(早速整爾君) 私ノ申スコトガ甚ダ言葉ガ足りマセナカッタノデアリマス、第六條ノ意味ハ、實際、御説ノ通りニ、是ハ豫算デ繰入レマスケレドモ、實際ハ矢張り決算デ繰入レルコトニナルノデアリマス、御尋ノ通りデアリマス

○男爵阪谷芳郎君 ソレデアリマスカラ今度ハ委員會ノ修正シタノニ依ッテ、六條ガ豫算デ繰入レテ宜イト云フコトニナルノデアラウ、其方ガ便利ト思フカラ、其方へ政府ガ同意シタト、斯ウ仰シヤッタラ宜イト思フ

〔政府委員早速整爾君演壇ニ登ル〕

○政府委員(早速整爾君) 免ニ角、政府ハ此修正ニ對シテハ同意ヲ致ス積リデアルノデアリマスカラ、左様御諒承ヲ願ッテ置キマス

○玉利喜造君 政府委員ノ方ニ御尋ネ致シマスガ、先程、特別委員長カラノ報告ニ依リマス、六百五十萬圓ノ割振り方ノ、其割合ト云フモノハ、政府デ以テ決メラレルノデアルト、ソレハ餘程確定シタカラト見エル、ソレハドウ云フモノデアリマスカ、唯サウ決定シテ居ルト云フ切リノコトデアッテ、勅令ニデモ、ソレノ割振りノコトガ現ハレテ出テ來ルヤウナコトニデモナルノデアリマスカ、ドウ云フ御見込デアリマスカ、ソレヲチヨット伺ヒタイ

〔政府委員早速整爾君演壇ニ登ル〕

○政府委員(早速整爾君) 唯今ノ御尋ニ御答へ致シマスガ、是ハ先刻、委員長カラモ御申述ベニナリマシタ如ク、此基金カラ生ズル金ノ割振りハ、例ヘバ農村振興ノ爲ニハ幾ラ使フ、或ハ教育改善ノ爲ニ幾ラ使フト云フ、其割振りハ全ク豫算ニ依ッテ御決メテ仰グト云フ積リデアルノデアリマス、年々ソレハ豫算ニ提出ヲ致スノデアリマスカラ、豫算ニ依ッテ諸君ノ御協賛ヲ求メル、

斯ウ云フ趣意ニ政府ハ決定イタシテ居ルノデアリマス

○澤柳政太郎君 委員長ニ御質問イタシタイト思フノデアリマスガ、本案ハ政府提出デ衆議院ニ於テ可決シテ、而シテ本院へ廻付サレタノデアリマス、本院ニ於テハ委員會ニ於テ修正ヲサレタノデアリマスガ、此御修正ニナッタ意味ハ、將來、政府ノ運用上ニ於テ融通ガ利クデアラウト云フ御深切ヨリシテ

「産業」ノ二字ヲ削リ、「師範教育」ヲ「教育」ト云フコトニ御改メニナッタノデアリマスガ、一院デ決議シタル所ノモノヲ、是非本院ニ於テ其内容ニ於テ、目的ニ於テ變更スル必要ヲ認メテ修正ヲサレタコトデアラナラバ、是ハ無論本院ノ權能ノ有ルコトト思フノデアリマス、先刻、段々詳シク御話ニナリマシタケレドモ、謂ハバ此修正ノ如キハ有ッテモ宜シ、無クテモ宜シト云フヤウナ修正デアラウト思フノデアリマス、既ニ一院デ決議ヲ經テ居リマス以上ハ、何故ニ之ヲ本院ニ於テ斯ノ如キ有ッテモ宜シ無クテモ宜シヤウナ修正ヲナサッタノデアリマスルカ、或ハ當初、本案ガ貴族院ニ提出サレマシタナラバ、斯ノ如ク修正サレタ方ガ幾分カ宜カッタカモ知レマセスケレドモ、免ニ角、衆議院ノ決議ヲ經テ居ルモノデアアルノデアリマス、恐ラクハ此修正案ガ決議ニナリマシテ、衆議院ニ送付ニナッタナラバ、衆議院モ異存ヲ唱ヘルト云フ氣遣ヒハ私ハ無カラウト思フノデアリマスケレドモ、サウ云フヤウナモノニ對シテ本院ガ修正ヲ加ヘル私ハ必要ガ無イト思フノデアリマスガ、之ニ對シテ一院ノ決議ヲ經タルモノニ對シ、本院ガ更ニ修正ヲ加ヘル必要ヲ御認メニナッタ理由ヲ、若シ有リマスルナラバ承リタイト思フノデアリマス

○男爵藤村義朗君 委員會ハ先程私ヨリ申上ゲマシタ理由ヲ以チマシテ、修正ヲ可ト致シタノデアリマス、其修正ガ有ッテモ宜シ、無クトモ宜シト云フノハ、是ハ澤柳君ノ御見解デアリマス、御見解ハ御自由デアリマス

○仁尾惟茂君 私モ委員長ニ對シテ御質問ヲ致シマス、此問題……

○議長(公傳徳川家達君) モウ少シ大キナ御聲デ御述ベニナッタラ、委員長ハ喜ビマセウ

○仁尾惟茂君 是ハ最モ急務中ノ急務ナルモノデアリマシテ、已ムコトヲ得

ナイ所ノモノデアリマス、ソレデ教育上ニ於キマシテハ、師範改善ヲ以テ最モ急務トスル、又産業ニ付テハ農村ノ産業ヲ興スガ最モ必要ナコトト思ヒマス、斯ウ云フ點ヨリシテ、實ハ此窮迫ナル財政ノ中ヨリ選ンデ之ヲ支出スルニ至ツタノデアリマス、デアリマスルノニ、若シ此主要ノ目的タル「師範」ト云フ文字ヲ除キ「産業」ト云フ文字ヲ除キマシタナラバ、其範圍ハ委員長自カラ述ベラレマシタ通り、大ニ廣クナリマスケレドモ、別ニ教育上ナラバ何レデモ宜シイ、殊ニ此急務ト云フコトニ至リマシテハ、大イニ違フ點ガアリマス……ソレデ、愈、此法律ヲ制定シテ行ク以上ハ、費用ノ目的ト云フモノヲ定メルト云フコトガ、一番肝要デアアル、此目的トスル所ノ師範ト云ヒ、産業ト云フ文字ヲ除イテシマヒシテ、然ラバ此師範ノ外ニ教育上ニ何タル重要ナコトガアツテ……(聽取シ難シ)又産業ノコトモ、農村ニハ産業デナク、其外ニ最モ斯ウ云フ重要ナモノガアル……(聽取シ難シ)何カソコニ御考ガアルニ違ナイト思ヒマスガ、何故ニ此修正ヲ必要トスルカ、其譯ヲ御示シテ願ヒタイ

○男爵藤村義朗君 仁尾君ノ御質問ハ私甚ダ恐縮デアリマスガ、能ク御趣意ガ分リ兼ネタンデアリマスルケレドモ、委員會ニ於キマシテハ、師範教育ガ急務デナイ、又農村産業ノ振興ガ急務デナイト云フコトヲ申シタンデハゴザイマセヌ、何レモ急務デアルト認メテ居ルノデアリマス、唯法律ト云フモノハ永久ニ互ルモノデゴザイマスルカラ、或場合ニ於テハ、師範教育ノ代リニ他ノ教育改善ガ必要ニ、最モ急務ニナルト云フヤウナ場合ガ起ラヌトモ云ヘナイ、又農村産業ノ振興ノ以外ニ急務ガ起ラヌトモ限ラナイ場合ガアリ得ルノデゴザイマス、相當年月ノ間ニハ……デアリマスカラ政府ノ裁量ノ範圍ヲ擴メマスル爲ニ、此修正ヲ行ッタンデゴザイマス、若シ私ノ御答辯ノ趣旨ガ御質問ノ趣旨ト間違ッテ居リマシタラ、重ネテ御問ヲ願ヒマス

○仁尾惟茂君 私ノ御尋ネスルノハ教育ノ中デ、師範ノ外ニ、師範改善ノ外ニ、何ノ急務ガアリマスカ、此急務ガアルガ爲ニ、此師範ト云フ文字ヲ取ッタンデアアルカ、又農村ノコトニ付キマシテモ、農村振興……此産業ノ外ニ何

ノ急務ガアツテ、此産業ヲ除イタカ、何カソコニ目的ガナクテハ、此法文ニ修正ヲスル必要モアリマスमित思ヒマス、ソレヲドウゾ、無ケリヤ無イ……又師範ノ急務ト云フコトハ認メテ居ル、然ラバソレノミニ止メテ置ケバ宜イモノヲ、之ヲ範圍ヲ廣クスルト云フ、師範ノ外ニ何カ急務トシテセニヤナラヌモノガアルト云フコトガアツテノコトデアリマスカ、ソレヲ伺ヒマス

○男爵藤村義朗君 御尋ハ師範教育ノ外ニ何カヨリ以上ノ教育改善等ハアリハシナイカ、産業振興以外ニ何カ農村振興ニ付テヨリ以上急務ガアル爲ニ修正シタンデハナイカト云フヤウナ御尋ノヤウニ伺ヒマシタガ、左様ナ趣意デ修正シタ譯デハゴザイマセヌ

○仁尾惟茂君 此師範ト云ヒ、農村振興ト云ヒ、此文字ヲ取りマシテ、此勅令ノ第三條ノ制限ヲ取りマシタ以上ニハ、政府ガ施行上決シテ此外ノコトニハ使ハナイト云フ保障ヲドウシテ御取りニナリマスカ……(聽取シ難シ)何カ目的ガアツテ分ツベカラザルモノデアレバ、制限シテ置クノガ適當ナコトデアラウト當フ、ソレニ制限ヲ設ケズシテ自由ニサレテ、ドウシテ……(聽取シ難シ)

○男爵藤村義朗君 御質問ノ趣意ガ分リマセヌガ、政府ニ於カレマシテハ、差當リ師範教育改善及農村産業ノ振興ニ使用スルト云フコトヲ明言サレテ居ルンデアリマス、委員會ハ之ヲ信ジテ居ルノデアリマス

○玉利喜造君 政府委員ニ御尋ヲ致シマスガ、是ハ是非、矢張り二ツノ補助ヲバ一口ニシテ出シテ置カナキヤナラヌ必要ガアリマスカ、ドウシテモ將來ハドウモ爭奪ガ行ハレルノヂヤナイカト考ヘテ居ルノデアリマスガ、先程カラ詰リ委員長カラノ御説モ聽キマシテ、ドウモ矢張りサウ云フコトガ行ハル、ヂヤナイカト考ヘル、ドウ云フ目的ガアツテ此擴張ヲヤツタカト云フ御問ガアリマシタガ、ソレハ最モ都合ノ宜イ融通ガ利クヤウニヤツタノヂヤナイカト私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、サウ云フヤウニ御説明モ聽イタト考ヘテ居リマス、之ヲ二ツニ分ケタラ餘程都合ガ惡イノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイト云フノハ、唯政府ノ肚ノ中デ決メテ置クト云フ意味ノコトデアリマシ

テ、大變、ドウカシマシタナラバ、農業ノ方ニ贊成者ガ多ウシテ、又勢ガ付
イテ來タナラバ、ソレヲ教育ニ使フ方ノモノモ其方ニ取ラウトスル、又貴族
院ノ如キハ或ハ反對ノ方デ以テ、其教育ノ方ガ大變贊成ノ方ガアツテ、其方
ニ熱心ノ方ガアツテ、産業ノ方ハ熱心デナイ方ガアルノデナイカト考ヘテ居
リマスガ、豫算ハ衆議院ノ方カラ出テ來テ、先ニ議スルト云フコトデアリマ
スカラ、幾分ハ……(聽取リ難シ)併ナガラ互ニ今度ハ、農林省ト文部省トノ
間デ以テ油斷ガナラヌヤウナコトガ起ルノデナイカト云フコトヲ考ヘテ居ル
次第デアリマス、寧ロ之ヲ二ツニ分ケルト云フコトヲ希望シテ居ルノデアリ
マスガ、是ハ出來ニクイノデアリマスガ、ソレヲ伺ヒマス

○政府委員(早速整爾君) 唯今ノ御尋ニ御答ヲ致シマス、何故ニ此教育ノ問
題ト農村ノ問題ガ一緒ニナツテ、此特別會計法トシテ現ハシタカト云フコト
ニ付テ疑ヲ御持チニナツテ居ルヤウニ見エルノデアリマス、是ハ委員會デモ、
左様ナコトニ付テ色々御質問ハアッタノデアリマスガ、元來、此特別會計法
ヲ設ケマス趣意ハ前刻モ御話ガアリマシタ如ク、先ヅ此貨幣改鑄ノ益金、此
資金ノ一億三千萬圓ト云フモノヲ土臺トシテ此特別會計ト云フモノヲ設ケル
ト云フコトニナリマシタノデ、詰リ一億三千萬圓ノ資金會計ヲ置クト云フコ
トガ、是ガ特別會計法ヲ設ケル主眼ニナツテ居リマス、ソレデ一億三千萬圓ノ
資金ヲ以テ此基金ノ特別會計ヲ置クト云フコトニナリマシタガ爲ニ、今度此
基金ニ依ツテ生ズル金ヲ支出スル場合ニハ何處ニ向ツテ支出スルカ、一部分ハ
農村振興ノ爲ニ、一部分ハ教育改善ノ爲ト、斯ウ云フ風ニ此基金ノ運用
ニ依ツテ生ズル利益ノ其使用方ガ二ツニ分レルト云フコトニナツテ居ルノデ
アリマシテ、農村問題ト教育ノ問題ヲ一ツニ纏メテ置クト、將來ニ於テ
色々混雜ガ生ジハシナイカト云フコトハ、一應御尤モノ御尋ナノデア
リマスケレドモ、併ナガラ唯今申ス通りニ此基金ノ特別會計ヲ設ケルト云フ
ノハ、唯今申シタヤウナ趣意カラ起ッタノデアリマスカラ、是ハ一ツノ
特別會計ニシタニ過ギナイノデアリマス、要スルニ、將來此金ノ安排ハ豫算ニ
依ツテ皆サンノ御協賛ヲ仰グト云フコトニ致シタイト思ツテ居ルノデアリマス

カラシテ、政府ガ十分注意ヲ致シテ進ンデ參リマスレバ、此間ニ於テ左様ニ
御心配ニナルヤウナ混雜ヲ避ケルコトガ出來得ルモノデアラウト信ジテ居
ルノデアリマス

○嘉納治五郎君 私モ此事ニ付テ一言イタシタイト思ヒマスルガ、本案ハ元
ト衆議院カラ廻ツテ來タモノデアリマシテ、其衆議院ノ決議ガ不當デアルナ
ラバ本院ニ於テ修正スルコトハ何等差支ナイ……

○議長(公爵徳川家達君) 嘉納君ニチヨット確メタイデスガ、唯今ノ委員會
ニ於テ修正セラレタル條項ニ付テノ質疑デアリマスガ

○嘉納治五郎君 質疑デゴザイマス……併ナガラ此修正ト云フモノハ私ハ原
案ノ改惡デアルト思フノデアリマス、ドウ云フ譯デ政府ガ之ニ御贊成ニナリ
マシタカ、又委員會ガ之ヲ斯ウ決議ニナリマシタカ、少シク私ノ意見ヲ述ベ
テ御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス、今日此原案ノ趣旨ニ依リマシテ、斯ノ如
キ基金ノ利子ヲ教育ニ利用スルコトガ出來タナラバ、何ニ利用スレバ宜イカ
ト云フト、今日ノ教育上最モ急務トスル所ノモノニ其金ヲ用キナケレバナラ
ス、ソレガ爲ニ教育ノ甚シイ今日困難ヲ感ジテ居ル所ノ事柄ニ之ヲ注ガナケ
レバナラヌト云フコトヲ考ヘテ見ルト、今日ノ小學教育ノ改善ト云フコトヲ
除イテ外ニ急務ハナイノデアリマス、其師範教育ニ幾干カノ金ヲ餘分ニ用キ
ルト云フコトガ出來ルト云フコトハ、今日ノ急務中ノ急務タル所ノ小學教育
ノ改善ガ出來ルノデアリマス、ソレ故ニ斯ノ如キ財源ニ依ツテ長ク怠ラレテ
居ッタ所ノ小學教育ヲ改善シヤウト云フノガ、恐ラクハ政府ノ御趣旨デアラウ
ト思フ、又農村産業上ノ振興ニ付テモ、是ハ多ク論ゼラレ、又多クノ人ガ此必
要ヲ認メテ居ル、ソレ等ノコトニ限定シテ、サウシテ一定ノ金ヲ使フト云フ
コトハ、是ハ將來ノ計畫ガ立ツテ、サウシテ其效果ヲ十分ニ現ハスコトノ出
來ル方法デアルノデ、若シ或時ニハ之ヲ用キル、或時ハ他ノモノニ用キルト云
フコトニナルト計畫ガ立タナイ、又教育財源ト云フモノハ此基金ノ利子ヨリ
外ナイナラバ、ソレハ師範教育トカ産業振興ト云フコトニ確定シテハ困リマ
スケレドモ、必要ガアルナラバ教育ノ財源、又産業ノ振興ノ財源ト云フモノハ

何處カラデモ亦得ル途ガアル、ダカラシテ此漸ク得ラレタ所ノ此基金ノ利子ト云フモノハ、是マデ怠ラレテ居ッテ是非何トカセネバナラナイト云フ焦眉ノ急ニアル所ノモノニ限定シテ、サウシテ其金ヲ用キルト云フコトハ、計畫ガ立ッテ甚ダ宜シイコトデアラウト思フ、折角サウ云フ案ノ立ッタノヲ、之ヲ破壊シテ又衆議院モ之ヲ決定シタノヲ、ソレヲ又變更シヤウト云フヤウナコトニナルト云フコトハ、是ハ私ハ甚ダ好マシクナイコトト思ヒマスガ、サウ云フ理由ノアルニ拘ラズ、委員會ハ斯ノ如ク御修正ニナリ、又政府ガ之ニ御同意ニナッタト云フコトハ、私ハ其意ノ在ル所ヲ甚ダ解スルニ苦シムノデアリマス、私ノ唯今ノ考ヲ打破ルダケノ理窟ガアッテ、斯ク御修正ニナッタモノナラバ其理由ヲ承リタイ、ドウ云フ必要ガアッテ此必要ナル師範教育ノ改善ト云フコトヲ……此基礎ヲ鞏固デナクナサルト云フコトニ御定メニナッタノデアリマスカ

○男爵藤村義朗君 度々申上ゲルノデアリマスガ、委員會ニ於テ修正サレマシタ理由ト致シマシテ、別ニ師範教育或ハ農村産業ト云フ如キコトニ限定シテ置ク必要ハナイ、法律ハ永久ニ存スルモノデアル、今日ハ成程、師範教育ノ改善が必要デアラウ、又農村産業ノ振興が必要デアラウ、併ナガラ是デ永久ニ存續サセル必要ガナイカラ、ソレデ政府ノ自由ノ裁量ヲ與ヘル爲ニ修正シタノダト云フ意味ニ依ッテノ修正ニ外ナラヌノデアリマス

○嘉納治五郎君 唯今承ッタ所デハ格別ノ理由ニナラヌヤウニ私ハ思フ、如何トナレバ教育ノ爲ニ費サルベキ財源ト云フモノハ此基金ノ利子バカリガ財源デハナイ

○議長(公爵徳川家達君) 嘉納君ニ伺ヒマスガ、尙ホ質問ヲ繼續ナサルノデアリマスカ

○嘉納治五郎君 イヤ、今簡單ニ唯今ノ御答辯ガ私ハ甚ダ意味ヲ成サスト思ヒマスカラ、ソレヲ確メル爲ニ……

○議長(公爵徳川家達君) 修正ニ對スル御意見ナレバ第二讀會ニ移ッテカラ十分御述べニナッタ方が最モ穩當デアラウト考ヘマス

○嘉納治五郎君 ソレハソレデモ宜シウゴザイマス
○議長(公爵徳川家達君) サウ願ヒタク存ジマス、休憩ヲ致シマシテ午後一時三十分カラ開會イタシマス
午後零時十一分休憩

午後一時三十分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發言モナイト認メマスカラ採決ヲ致シマス、日程第六ノ法案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 此際、問題ニ供シマスノハ第二條迄ヲ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ第三條ヲ問題ニ供シマス、第三條ノ委員會ノ修正ニ對スル反對ノ通告ヲ得マシタ故ニ、其發言ヲ許シマス、嘉納治五郎君

〔嘉納治五郎君演壇ニ登ル〕

○嘉納治五郎君 先程、委員長ヨリノ報告ヲ承リマシテ、最初政府ノ御説明ニ依ッテ了解イタシマシタ所ノ此案ノ第三條ニ於テ、「師範教育」ト云フコトヲ唯「教育」ト改メ、又「農村産業ノ振興」ト云フコトヲ唯「農村ノ振興」ト改メル、其理由モ大體拜聴イタシマシタガ、私ハ其修正ハ却テ原案ヲ損ツタ結果ニナッタラウト信ズルノデアリマス、其理由ヲ大體申述ベタイト思ヒマス、今日、諸般ノ困難ナル問題ガ我國ニ起ッテ居リマスルガ、其中ノ多クノ問題ハ小學教育ノ改善ニ俟タナケレバナラヌコトデアラウト思フ、我々ガ如何程、力ヲ用キテモ、最モ效果ノアルモノハ小學兒童ニ及ボス力ニ依ッテデアラウト思フ、ソレ故ニ今日ノ我國ノ最モ大切ナル問題ハ、如何ニシテ今日ノ小學教育ヲ一層良クスルカト云フコトニアルノデアアル、小學教育ヲ改善スルニハドウシテモ師範學校ノ改善ニ依ラナケレバナラナイ、師範學校改善ノ爲ニハドウシテモ費用ヲ費シテモ、又ドウシテ多勢ノ人ガ之ニ力ヲ用キテモ、尙ホ十分ト云ハレナイト云フ程ノ實ハ大切ナル問題デアラウト思フ、今日我國ノ教育全般ノ爲ニ、四億二千萬圓ノ金ヲ使ッテ居リマス、其中、小學教育ニハ二億四千萬圓ホド使ッテ居ル、此一事カラ考ヘテ見テモ、此二億四千萬圓ノ金ヲ有效ニスルカ有效ニシナイカト云フコトハ、此方法如何ニ依ル、然ルニ其方法ハ小學教育ノ改善ニ俟タナケレバ良クスルコトハ出來ナイ、又中等教育、高等教育、各般ノ教育ヲ改善スルト云フニモ、矢張りソレ等ノ學校ニ進ンデ行ク生徒ト云フモノハ、小學校カラ進ンデ行クノデアアル、小學校教育ヲ改善セズシテ、其高等ノ學校ニ進ンデ行ク所ノ生徒ヲ優良ナル者ニスルト云フコトハ、是レ望ミ得ラレザルコトデ、言ウテ見ルト優良ナル小學校員ヲ作ルト云フコトハ、一面ニ二億四千萬圓ノ金ヲ有效ニ使フト云フコトデアリ、同時ニ又其他ノ莫大ナ金ヲ使用シテ居ル所ノ教育ノ結果ヲ良クスルト云フコトニナルノデアリマスカラ、今日ノ場合ニ於テハ、小學校教育ニ金ヲ餘計使フトカ使ハヌトカ云フコトハ、殆ド私ハ問題ニ置クコトデナイト思フ、今日ハ全力ヲ盡シテ小學校教育ノ改善ニ向ハナケレバナラヌト思フ、此度、文部省ノ立テラレタ所ノ案ニ依リマス、四百萬圓ヲ師範教育改善ノ爲ニ用キルト云フコトニナ

ッテ居ル、私ハ是ハ甚ダ少イト思フ、今日、師範教育ヲ改善スルニハ、六百萬、八百萬ノ金ヲ用キテモマダ決シテ足レリトハシナイ、然ルニ財政上ノ都合モアル、色々ノ關係カラシテ先ヅ極メテ小サク見積ッテ、四百萬圓ト云フ所ノ豫算ヲ立テラレタノデアラウト信ズルノデアリマス、ソレ故ニ此後若シ五朱ノ利子ガ六朱ニナリ、六朱半ニナリ、其以上ニナッタテモ、到底八百萬圓、千萬圓ノ金ノ得ラル、譯デモナシ、四百萬圓ガ五百萬圓ニナルカ、五百五十萬圓ニナルカ、ナニガシカノ増加ハアリマセウケレドモ、ソレ位ナ増加ハ勿論之ヲ師範教育ノ爲ニ必要缺クベカラザルモノデアラウト思フ、又農村産業振興ト云フ方カラ考ヘマシテモ、段々當局者ニハ色々御計畫ガアルヤウデアアル、其計畫ト云フモノモ私ハ決シテ其位ノ金デハ決シテ満足スルコトノ出來ルモノデハナカラウト思フ、ソレ故ニ今日二百五十萬圓デ、是ガ三百萬、四百萬圓ニナレバ尙更、其目的ガ能ク達成セラル、ノデアアル、シテ見マスト將來此基金ノ利子ガ殖エマシタ所ガ、ソレヲ師範教育竝ニ産業振興ト云フコトニ向ケラレテモ、決シテ無用ナコトデハナイノミナラズ、極メテ必要ナコトデアラウト思フ、若シ産業ノ振興ナリ又教育ノ上ニ付テノ金ガ、此基金ノ利子カラノミ得ラル、ト云フノデアアルナラバ、是ハ餘程考慮スベキコトデアラウ、將來ドウ云フコトガ起ッテ來ルカモ知レナイ、其場合ニ又師範教育以上ニ、又産業振興以外ニ、金ノ用途ガナケレバナラヌケレドモ、此政府ノ豫算ト云フモノハ、何モ基金ノ利子バカリヲ當テニシテ居ルノデハナイノデ、必要ニ應ジテ財源ト云フモノハ幾ラデモ出ルモノデアアル、シテ見ルカラ此格段ナ目的ヲ以テ決メタモノニ付テハ、是ハ其使途ヲ確定シテ置カナケレバ計畫ガ立タナイ、師範教育ノ進歩改善ト云フコトニ致シテモ豫メ計畫ヲ立テ、今年ハ斯ウスル、來年ハドウスル、其計畫ニ依ッテこそ、初メテ其目的ガ達成セラル、ノデアアル、所ガ今年ハ斯ウ決メテ置クケレドモ、唯是ハ教育ノ爲デアアル、來年度ハ又當局者ガ代ッテ、又外ノ方ニ金ヲ持ッテ行クト云フヤウナコトデ、目的ノ立タヌト云フヤウナコトガアッタナラバ、是ハ甚ダ其金ガ十分ニ生キテ使ハレナイ譯ニナッテ、産業モ其通りデアラウト思フ、ソレ故ニ是

ハ折角當初ノ文部省ノ案、又農商務省ノ案ト云フモノハ、私ハ誠ニ良イ案デアラウト思フ、斯クシテ目的ヲ確立シテ置イテコソ、初メテ確實ナル計畫ガ立チ、ソレニ從ッテ年々ノ教育ナリ産業ナリニ付テノ進歩ヲ圖ッテ行クコトガ出來ルデアラウト思ヒマスカラ、是ハ是非、最初政府ノ提出サレタ案ノ通りニ復活スルコトヲ私ハ希望スルノデアリマス、簡單ニ是ダケノコトヲ……

〔玉利喜造君「簡單ニソレニ賛成スルコトヲ申シタイ、ソレデ演壇ニ登ラヌデモ宜イデヤナイカト思ヒマスガ……」ト述フ〕

○議長(公爵徳川家達君) 玉利君ハ……

○玉利喜造君 賛成演説……

○議長(公爵徳川家達君) 賛成ト云フノハ……

○玉利喜造君 嘉納君ノ説ニ賛成……

○議長(公爵徳川家達君) 修正案ニ反對ト云フコトデ御演説ヲ願ヒタイ

○玉利喜造君 何デスカ

○議長(公爵徳川家達君) 嘉納君ノ唯今ノ御意見ニハ別段賛成ヲ要シナイ

○玉利喜造君 要シナイ……

○議長(公爵徳川家達君) 先ヅ御著席ヲ願ヒタイ、玉利君ノ御發言ヲ議長ハ御止メ申スデモ何デモナイ、詰リ委員ノ修正ニ反對ノ御意見ヲ御持テニナッ

テ居ルト議長ハ認メマスカラ、其意味ニ於テ御演説ヲ願ヒタイト思ヒマス、

嘉納君ノ説ニ賛成……詰リ同ジコトデアリマスガ、嘉納君ノ反對説ニ賛成ハ

別段要ラナイ……

○玉利喜造君 モウ宜シウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 別段御述ベニナリマセヌカ

○玉利喜造君 嘉納君ノモノニ賛成、委員會ノ修正ニ反對

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起

立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス
○議長(公爵徳川家達君) 第四條ヨリ終リ迄ヲ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセ

ヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 日程第七及第八ノ法案ハ同一委員ニ付託セラレマ

シタカラ、一括シテ委員長ノ報告ヲ煩ハシ、議題ト致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第七、朝鮮鐵道用品資金會計法案、第八、朝

鮮私設鐵道補助法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委

員長報告、酒井伯爵

朝鮮鐵道用品資金會計法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十四年三月十二日

右特別委員長

伯爵酒井忠正

伯爵酒井忠正

貴族院議長公爵徳川家達殿

朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十四年三月十二日

右特別委員長

伯爵酒井忠正

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵酒井忠正君演壇ニ登ル〕

○伯爵酒井忠正君 唯今、上程ニナリマシタル朝鮮鐵道用品資金會計法案竝ニ朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案、二案ヲ一括イタシマシテ、委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマス、委員會ハ四回開キマシテ、政府委員ヨリ説明ヲ求メマシテ、質問應答ヲ重ネタノデアリマス、其質問應答ノ概要ヲ御報告申上ゲマス、此朝鮮鐵道ハ大正六年ニ朝鮮總督府ヨリ滿洲鐵道株式會社ニ委託經營ヲ委ネラレタノデアリマシテ、當時ノ政府當局ノ意見ト致シテハ、此鐵道ハ日本ト滿洲トノ連絡ヲ十分ニ致シテ、東亞大陸ノ交通ヲ便ナラシメヤウト云フ趣旨ニ依ッテ致サレタノデアリマス、然ルニ歐洲ノ戰亂竝ニ露西亞ノ革命等ニ依ッテ、其交通ガ杜絶セラレテ、其目的ヲ達スルニ至ラナカッタノデアリマス、然ルニ今ヤ日露ノ基本條約モ締結イタサレマシテ、交通ガ再び開クニ至ツタ際ニ、此委託經營ノ目的ヲ擧ゲナイ、未ダ目的ヲ達セザル前ニ於キマシテ、再ビ朝鮮總督府ニ取戻スト云フコトハ尙早デハナイカト云フヤウナ質問ガアリマシタ、之ニ付キマシテ政府當局デハ八年間ノ經驗ニ依リマシテ、當時ノ當局ガ見テ居ツタ滿洲ヲ本位ニスル所ノ當時ノ考ガ實際ニ當ッテ之ニ伴フコトガ容易デアリマセズ、現在ニ於テハ朝鮮總督府ト滿鐵トノ間ノ意見ノ確執ガアルナラバ免ニ角、其間ガ一致イタシテ居ッテ連絡其他ノ兩者ノ

關係ガ協調ヲ得テ居リマスル今日ニ於テハ、總督府ノ經營ニ致シテモ又滿鐵ノ經營ニ致シテモ、其間ニ於テ大差ハナイノデアッテ、國際鐵道トシテノ使命ヲ果ス上ニ於テハ何等、其間ニ差異ハナイト云フ當局ノ意見デゴザイマス、次ニ財政上ノ利害ニ關スル質問ガゴザイマシタ、是ハ財政上ニ於テ朝鮮鐵道ヲ滿鐵ニ經營サセテ置イタ方ガ、却テ朝鮮特別會計上ヨリ見テ不安ガナク、却テ利益ガ多クハナイカト云フ質問デアリマス、之ニ對シマシテハ總督府ノ方デハ取戻シタ方ガ朝鮮ノ財政上ノ結果ハ良好デアアル、ソレデ今取戻シマシテモ、急激ニ其鐵道經營ニ變更ヲスルト云フコトハ出來ナイ状態デゴザイマスルガ、追々ト節約ノ方法ヲ講ジテ結局、利益ヲ見ルコトハ確實デアアルト云フコトノ確信ヲ有ッテ居ルノデアリマス、又鐵道行政上ノ方面ノ方カラノ質問ト致シテハ、總督ハ滿鐵ニ十分ノ監督ヲスルコトデ以テ十分デアッテ、其目的ヲ達スルノニハ總督府ニ取戻サナクテモ宜イデヤナイカ、又若モ總督府ニ取戻スナラバ何等カ其間ニ滿鐵ニ經營サセルト云フコトニ付テ障害ガアルカト云フヤウナ質問デアリマシタ、之ニ付テハ具體的ノ點ニ於テ大量貨物ヲ取扱ッテ居ル所ノ滿洲鐵道ノ經營ト、比較的小量貨物ヲ取扱フ所ノ朝鮮ノ經營ト云フモノハ、其間ニ適合シナイ點ガアルト云フコトデアリマス、又滿鐵ニ於テハ「ホテル」ノ經營デアルトカ、或ハ温泉ト云フヤウナ方面ニ重キヲ置イテ經營ヲシテ居ルト云フコトハ、朝鮮ニ取ッテハ、ソレヨリモ寧ろ朝鮮ノ地方産業ノ開發ノ方ヲ重ク見テ經營ヲスルト云フコトガ、朝鮮ニ取ッテハ最モ都合ノ宜イト云フ意見デアリマス、又朝鮮總督府ニ於テハ私設鐵道ハ直接ニ之ヲ管理シテ居ルノデアリマスガ、國有鐵道ダケヲ滿鐵ニ委託シテ居ルト云フコトハ甚ダ其統一一上、不便デアルト云フ點モ述べラレマシタ、要スルニ、監督ノミニ依ッテ滿鐵ニ經營ヲ委託スルヨリモ直接ニ其衝ニ當ルト云フコトガ、鐵道經營ヲ爲ス上ニ於テ最モ實際ニ適合シタコトデアアルト云フ見解デアリマス、其他、車輛ノ統一デアルトカ、従業員ノ統一、有事ノ際ノ運轉統一ト云フヤウナ點ニ付テ質問モゴザイマシタガ、之ニ付テハ滿鐵ト總督府トノ間ニ隔意ナイ協調ガ出來テ居ル以上、何等、差障リハナイト云フ意見デアリマシタ、質問ヲ終リマシテ討

議ニ這入リマシタ際ニ、委員ノ中ヨリ二點ノ希望條項ガ出マシタ、一ツハ、朝鮮鐵道ハ朝鮮内部ノ開發ヲ圖ルト同時ニ、亞細亞大陸トノ連絡ヲ通ジ、國際交通ノ完備ヲ求ムル所ノ目的ヲ有ツテ居ル、今般朝鮮鐵道ヲ朝鮮總督府ノ直營ニ移スニ付テ國際交通ノ發展ニ努力セラレムコトヲ望ムト云フ希望デアリマス、他ノ一ツハ私設鐵道ノ普及進捗ヲ圖ルノニハ……朝鮮鐵道ノ普及進捗ヲ圖ルコトハ、朝鮮開發ノ爲ニ極メテ緊要ナコトデアアル、然ルニ現行法ニ依ル補助ノ方法ヲ以テシテハ豫期ノ成績ヲ舉グルコトハ困難デアアル、故ニ政府ハ次ノ議會ニ於テ更ニ適切ナ計畫ヲ提案セラレムコトヲ望ム、此二ツノ希望決議ヲ致シマシテ、採決ノ際ハ異議ナク兩案ヲ可決イタシタ次第デアリマス、右御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今、特別委員長ノ報告セラレマシタ兩案トモ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 兩案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第九、特別都市計畫區域内ニ於ケル寺院ノ國有境内地讓與等ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、候爵徳川義親君

特別都市計畫區域内ニ於ケル寺院ノ國有境内地讓與等ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十四年三月十二日

右特別委員長

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔候爵徳川義親君演壇ニ登ル〕

○候爵徳川義親君 特別都市計畫區域内ニ於ケル寺院ノ國有境内地讓與等ニ

候爵 徳川 義親

關スル法律案ノ特別委員會ノ報告ヲ申上ゲマス、本委員會ハ三回開キマシテ政府委員ノ説明ヲ求メマシテ、慎重審議イタシマシテ、此法案ヲ可決イタシマシテゴザイマス、特ニ此經過ニ付キマシテ又質問等ニ付キマシテ申上ゲルダケノコトハゴザイマセヌガ、簡單ニ此可決ニ至リマシタ徑路ダケヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、此法案ノ主モナル點ハ、寺院若クハ佛堂ノ國有境内地又ハ寺院ノ管理シテ居ル國有墳墓地ガ特別都市計畫法ノ土地區劃整理施行地域ニ編入セラレタル場合ニハ、其寺院、佛堂、墳墓ガ大正十七年八月三十一日迄ニ其換地ニアラザル土地ニ移轉スルトキハ、寺院境内地讓與審查會ノ議ヲ經テ、其換地及從前ノ土地ニ定著シテ居ル國有物件ノ全部又ハ一部ヲ當該寺院又ハ佛堂ニ讓與スルコトヲ得ルト云フノガ、一ツノ要點デアリマシテ、其次ノ要點ハ、特別都市計畫法ニ依リマシテ土地整理ヲ施行スル場合、必要ニ依リマシテ土地整理ヲ施行スル場合、必要ニ依リ寺院佛堂ノ境内地又ハ墳墓地ヲ土地區劃整理施行地域ニ編入シ得ルト云フ二ツノ點ガ主モナル點デゴザイマシテ、前年ノ大震災災ニ依リマシテ東京市内ニ於テ燒ケマシタル寺院ノ數ガ五百ニ餘リマシテ、其境内地及墳墓地ハ可ナリ大キナ面積ガアルノデアリマス、國有境内地ヲ管理シテ居ル御寺ノ數ガ約百五十、坪數ニ致シマシテ五萬七千坪バカリゴザイマス、國有墳墓地ノ方ハ至ッテ僅デアッテ、全東京市ノ中ニタツタ四坪シカナイサウデアリマス、ソレカラ是ハ本問題ニ關係イタシマセヌガ、此市有ニ屬シテ居ル境内地ヲ管理シテ居ル者ガ三百七十、坪數ニシテ約十四萬坪アルサウデゴザイマス、特別都市計畫法ニ依リマシテ區劃整理ヲ致サウト致シマスルト、土地ヲ一割提供イタサネバナラナイノデ、中ニ燒ケマシタ寺院ト云フモノガ承知シナイノデ、此諒解ヲ得ルコトガ甚ダ困難ナノダサウデアリマス、是デハ此區劃整理ト云フモノガ出來マセヌノデ、ソコデ此法律ニ依リマシテ國有ノ境内地墳墓地ト云フモノヲ寺院又ハ佛堂ニ交付スルコトガ出來ルヤウニ致シマシテ、サウシテ寺院ト致シマシテモ之ニ依ッテ維持スルコトガ出來ルヤウニ援助シテヤルト云フコトガ一ツデゴザイマス、サウシテ之ニ依リマシテ土地區劃整理ト云フモノニ參加サセマシテ、サ

ウシテ若シ此參加シナイ場合ニハ強ヒテ之ヲ區劃整理ノ地區ニ編入セシメ得ルト云フノデアリマス、サウシテ之ニ依ッテ帝都復興ノ事業ノ圓滑ナル遂行テ期スルモノデゴザイマス、此法案ハ衆議院ニ於キマシテハ、此原案ニゴザリマスル、「從前ノ土地ニ定著スル國有物件ノ全部又ハ一部ヲ當該寺院又ハ佛堂ニ讓與スルコトヲ得」ト云フコトヲ修正シテゴザリマス、本委員會ニ於キマシテモ、是ハ衆議院ノ修正通り可決スベキモノト致シマシテ、衆議院ノ修正通り可決イタシタ次第デゴザリマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト〕呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト〕呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十、外國人土地法案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告

外國人土地法案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正十四年三月十三日

右特別委員長

伯爵 寺島誠一郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

(特別委員ノ修正ニ係ル條ノミヲ印刷シ其ノ他ハ之ヲ略ス小字ハ修正文)

第二條 帝國法人又ハ外國法人ニシテ社員、株主若ハ業務ヲ執行スル役員

ノ半數以上又ハ資本ノ半額以上若ハ議決權ノ過半數カ前條ノ外國人又ハ外國法人ニ屬スルモノニ對シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ其ノ外國人又ハ外國法人ト同一ノ國ニ屬スルモノト看做シ前條ノ規定ヲ適用ス

前項ノ資本ノ額又ハ議決權ノ數ノ計算ハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第五條 帝國法人ニシテ社員、株主若ハ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上又

ハ資本ノ半額以上若ハ議決權ノ過半數カ外國人又ハ外國法人ニ屬スルモノニ對シテハ前條ノ規定ヲ適用ス

前項ノ資本ノ額又ハ議決權ノ數ノ計算ニ付テハ第二條第二項ノ規定ヲ準用ス

○水上長次郎君 本案ノ特別委員長ハ病氣ノ爲ニ今日ハ出席ヲ致シマセヌノデ、副委員長タル私ニ於キマシテ御報告申スコトニナリマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 登壇ヲ望ミマス

〔水上長次郎君演壇ニ登ル〕

○水上長次郎君 是ヨリ唯今、議題トナツテ居リマス所ノ外國人土地法案ニ付キ、特別委員會ノ經過竝ニ結果ニ付テ御報告ヲ致シマス、本案ハ第一條ヨリ十一條マデアリマシテ、一見極メテ簡單、且ツ輕微ナヤウナ法案ノヤウニ感ジラレマスルガ、深ク其内容ニ立入ッテ考ヘマスルト云フト、極メテ重大ナル意味ヲ含ムモノデアリマス、申ス迄モナク、コノ我國ニ於テハ、此土地ニ關シテハ一種特別ナル信念ヲ持ッテ居ルノデアリマス、又極メテ長イ所ノ傳統ヲ有シテ居ルノデアリマス、古來カラモ申シマスル通り、此土地ト云フモノハ人ノ物デナク、神ノ物デアアル、デアリマスルカラシテ、神土トカ、神地トカ云フ所ノ名ガアルノデアリマス、デアリマスカラシテ、古來ハ申スマデモナク、日本全國ノ土地ト云フモノハ寸地尺土ト雖モ王土ニアラザルナシト云フノデ、一人ノ人ガ之ヲ自由ニスルト云フコトハ出來ナカッタノデアリマス、サウシテ又土地ヲ耕ス……土地ヲ耕耘スル所ノ人ハ御初穂トカ稱ヘ、或ハ又此土地ハ神様ヨリ拜借シテ居ルト云フヤウナ觀念ヲ以テ常ニ耕作ヲシテ居ッタノデアリマス、デアリマスカラシテ、御維新後、外國トノ關係デ、實際又條約等モ結ビマシタケレドモ、單リ此土地所有ノコトニ付テハ、絶對ニ外人ニ對シテ譲リ渡シヲ禁ジテ來タノデアリマス、即チ明治六年ノ十八號ノ布告ヲ以テマシテ、外國人ニ對シテハ、土地ハ一切賣買ハ出來ズ、又質入モ出來ズ、抵當ニ入レルコトモ出來ナイト云フ嚴重ナル法律ガアッタノデアリマス、爾來五十有餘年間、未ダ曾テ尺地寸土ト雖モ外國人ニ所有權ヲ

渡シタコトハ無イノデアリマス、此法案ハ明治六年ノ布告ニ、即チ外人ニ對シテハ土地ノ賣買竝ニ質入抵當ヲ禁ジタ所ノ法律ヲ廢シテ、勝手自由ニ外人ニ對シテ此土地ノ賣買等ヲ許スト云フコトノ意味ヲ含シタ所ノ法案デアリマス、デ、斯ノ如キ歴史カラ申シマシテモ、又神土信念カラ申シマシテモ、又一面、經濟上カラ考ヘマシテモ、極メテ國民ノ實生活ニ對シテハ關係ノ深イ所ノ法案デアリマスルカラシテ、委員會ニ於キマシテハ、慎重熟議、極メテ鄭重ナル取調ヲ致シタノデアリマス、ソレガ爲ニ委員會ハ三回開キマシテ、何レモ午前午後引續イテ、殆ド三日間ト云フモノハ、終日此審議ニ力ヲ盡シタヤウナ有様デアリマシタ、先ヅ第一ニ法案ノ審議ヲ……本案ノ審議ヲ始メマスニ當リマシテ、我々ノ念頭ニ忽チ浮ンデ奇異ノ情ヲ起シマシタル事柄ハ、皆サンモ御承知ノ通り、明治四十三年、今ヨリハ十五年前、「外國人ノ土地所有權ニ關スル」ト云フ法律ガ出テ居リマシタノデアリマス、法律案ハ二十六回ノ議會ニ於テ議決ニナリ、サウシテ四十三年ノ三月ニ御裁可ニナッテ、公布ノ手續マデモ濟ンダノデアリマス、而シテ其法案ト云フモノハ勅令ヲ以テ之ヲ實施ト云フコトニ定メテアリマシタ、然ルニ十有五年ノ今日ニ至リマシテモ、實施ニナラナカッタノデアリマス、抑、此法案ノ制定セラレマシタ原因ト云フモノハ、斯クセナケレバナラスト云フ必要ガアッテ制定セラレマシタニ拘ラズ、十有五年ノ長イ間、實施ヲ見ナカッタト云フノハドウ云フ理由デアアルカ、ドウ云フ事情ガアッタモノデアアルカト云フコトハ、何人モ直チニ念頭ニ浮ブ所ノ疑問デアリマス、又實施シナカッタ理由事情ニ付テハ、本法案ヲ審查スルニ重大ノ關係ヲ有シテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ審查ノ劈頭ニ當リマシテ、第一ニ其實施セラレナカッタ所ノ理由ヲ政府委員ニ質問ヲ致シタノデアリマス、政府委員ノ答ヘラル、所ニ依リマスルト云フト、四十二年ノ五十一號ノ法律ト云フモノハ固ヨリ其當時、斯クセナケレバナラスト所ノ必要ガアッテ制定セラレタモノデアアル、而シテ其當時ニ於テハ色々取調ベノ事項モアリ、其他ノ事情モアッテ、四十四年、制定ノ翌年ニ於テ、愈々實施スルト云フコトノ運ビニナリカケタサウデアリマス、所ガ第一ニ之ヲ實

施スルコトノ出來ナイト云フ所ノ事由ト云フモノハ、其五十一號ノ法律ニ於テ規定セラレテ居ル所ノ事柄ガ、幾分カ之ヲ實施スル上ニ於テ、支障ニナリハシナイカト云フ點ガ二三アッタト云フコトデアリマス、ソレカラモウ一ツハ彼レ此レ致シテ居ル中ニ、朝鮮ノ併合ノ事ガ起ッタノデアリマス、サウ致シマスと云フト、朝鮮ノ狀態、又朝鮮ノ土地ノ所有ニ關スル所ノ狀態ニ付キマシテモ、一變ヲ致シマスルノデアアルカラシテ、此法律、即チ五十一號ノ法律ヲ實施スルニ當ッテモ、其事ヲ十分ニ考慮ニ加ヘナケレバナラスト云フ必要ガ起リマシタノデ、彼レ此レ調査中、一年延ビ、二年延ビ、三年延ビ、續イテ大戰爭ガ始マリマシテ、ソレガ爲ニ色々外國トノ關係、或ハ又引續イテ條約調査會ト云フヤウナモノガ設ケラレマシタ所ガ、益々其法案ニ付キマシテ、實施スル上ニ付テハ、尙ホヨリ以上ノ障礙ノアルト云フコトヲ心付イテ、旁以テ今日マデ實施ヲ見ルニ至ラナカッタノデアアルト云フコトデアリマス、色々其事情ヲ承リマシタケレドモ、我々ニ於キマシテハ、ドノ理由ガ最モ主ナル理由デアアルカ、ドノ事情ガ最モ主タル事情デアアルカト云フコトノ了解ニ苦シンダノデアリマス、段々懇談若クハ協議ヲ致シマシタ末ニ、或ハ此點デアリハシナイカト云フコトヲ確メマシタノハ、即チ五十一號ノ法律ニ於テ規定セラレテ居ル中ニ、隨分外國ニ於テハ餘リ見受ケナイ所ノ規定モアリ、又之ヲ實施スレバ、折角所有權ヲ外人ニ開放シテ、却テ之ヲ禁止スルヤウナ結果ヲ見ヤシナイカト思ハレルヤウナ節モ二三アルノデアリマス、デアリマスルカラシテ要スルニ、今日マデ實施ガ出來ナカッタト云フノハ、全ク法案ニ於テ……五十一號ノ法律ニ於テ、實施スル上ニ付テ、一方ニ所有權ヲ許シテ、所有權ノ移轉ヲ許シテ置キナガラ、容易ク之ヲ使用スルト云フコトガ出來ナイヤウナ箇所ガアルト云フノガ、最モ重モナル理由デアアルト解シタノデアリマス、ソコデ本案ト其五十一號トノ法律ヲ、比較參照シテ見マスト云フト、其事ガアリ……ト法文ノ上ニ現ハレルノデアリマス、デ、試ニ一例ヲ取ッテ申シマシタナラバ、五十一號ノ法律ニ於キマシテハ、外國人ニ對シテハ土地ノ所有權ヲ享有スルコトハ出來ル、併ナガラ享有セムト欲スルモノハ先ヅ以

テ日本ニ住所若クハ居所ヲ設ケナケレバナラヌ、又外國ノ法人ニシテ、日本ノ土地ノ所有權ヲ享有セムトスルニハ、必ズ先ヅ内務大臣ノ許可ヲ得ナケレバナラヌ、或ハ又外國人デモ、若クハ外國法人デモ、日本ノ土地ヲ享有セムト欲スルモノハ、何レノ場所ニ於テモ出來ヌ、又何レノ國ノ人デモ自由自在ニ享有スルコトハ出來ナイ、其享有シ得ラル、所ノ國民ト云フモノハ、勅令ヲ以テ之ヲ定ムト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、住所ヲ設ケルト云ヒ、勅令ヲ以テ之ヲ定ムルト云ヒ、内務大臣ノ許可ヲ得ルト云フヤウナコトハ、非常ニ手續ヲ要スルコトデアリマスノデ、是等ガ畢竟今日マデ實施ヲ見ルニ至ラナカッタ原因デアリハシナイカト云フコトガ十分ニ分ルノデアリマス、デ、四十二年ノ法律ガ實施セラレナカッタ所ノ理由ハ、前申上ゲマシタ所ノ通りデアリマスガ、扱テ此本案ノ内容ニ付テハドウデアアルカト云フコトヲ是ヨリ申上ゲマスルガ、本案ノ内容ハ全ク日本ノ土地ヲ外人ニ自由ニ所有ヲ……享有スルコトヲ許スト云フ所ノ趣意ガ最モ骨子トナツタモノデアリマス、デアリマスカラ此法案ガ裁可セラレ實施セラレタナラバ、外國ノ人ハ自由ニ自在ニ日本ノ土地ヲ享有スルコトガ出來ルノデアリマス、デ、本案ノ骨子ハ右申上ゲマシタ通りデアリマスガ、扱テ外人ガ本案ニ依ツテ、土地ノ所有權ヲ享有スルコトノ出來ルノハ、全クノ無條件デアツテ、聊カノ制限モナク、又何等ノ條件モナシニ、全クノ無條件デ享有スルコトガ出來ルカト申シマスルニ、サウハ參ラヌノデアリマス、即チ本案ノ第一條ニ於キマシテ、外國人ト云フモノハ……外國人又ハ外國ノ法人ト云フモノハ、日本ノ土地ヲ所有スルコトガ出來ルガ、併シ其外人又ハ法人ノ國ニ於テ日本人ガ土地ニ關スル所ノ權利ヲ享有セムトスルニハ或ハ條件ヲ附ケ或ハ禁止シ或ハ又制限ヲスルト云フヤウナ場合ニハ、其外國人ガ日本ニ於テ享有スル場合モ同様ノ禁止若クハ條件、制限ヲ附スルト云フコトガ、即チ第一條ノ本旨デアアルノデアリマス、此本案ノ第一條ヲ一見イタシマスルト云フト、ドナタデモ御同様ト思ヒマスルガ、何ガ規定シテアルカト云フコトガ、チヨット一見分ラヌノデス、四十二年ノ法律ハ、第一條ヲ見マスルト云フト、外國人又ハ外國ノ法人ト云フモ

ノハ日本ニ於テ所有權ヲ享有ス、ト斯ウ書イテアリマス、所ガ本案ニ於キマシテハ、外國人若クハ外國ノ法人ハ日本ニ於テ土地ノ所有權ヲ享有スルト云フコトガ書イテナイノデアリマス、唯外國人ガ日本ノ土地ヲ享有セムトスルニハ、是レノ條件ヲ附スルト云フヤウナ意味合ヒガ規定シテアルノデアリマス、享有スルト云フコトハ言ハズシテ、享有スルニハ云々ト云フコトガ書イテアル、ソコデアリマスカラシテ、チヨット見ルト、禁止ノ條件ノヤウニモ見エ、或ハ所有權ヲ享有スルニハ非常ニムヅカシキ制限ガアルカノヤウナ感ジガスルノデアリマス、併ナガラ能ク其趣意ノ在ル所ヲ考ヘマスルト云フト、御承知ノ通り、民法ノ總則第二條ニ於キマシテ、外國人ハ、法令又ハ條約デ禁止スル場合ヲ除クノ外、私權ヲ享有スルト云フコトガ書イテアルノデゴザイマス、ソレデ外國人ハ條約若クハ法令ヲ以テ禁止ヲセラレヌ以上ハ、日本内地デ日本人同様ニ私權ヲ享有スルコトガ出來ルノデアリマシテ、所有權ナリ其他ノ權利ヲ勝手ニ享有ガ出來ルト云フ法文ガアルノデアリマス、此法文ガアル以上ハ、別ニ本案ニ於テ外國人ハ日本ニ於テ所有權ヲ享有スルト云フコトヲ書クノハ重複デモアリ、又蛇足デアアルカラシテ本條ニ於テハ其事ハ書カナダノデアアルト云フコトガ、政府委員ノ説明ナリ、能ク研究シタ結果分ツタノデアリマス、併ナガラ此法文ノ體裁カラ見マシテモ、亦立法ノ技術カラ考ヘマシテモ、法文ト云フモノガ何人デモ一見其趣意ノ在ル所ヲ了解シ得ラレルヤウニシナケレバナラヌト云フコトカラ考ヘマシテモ、甚ダ此第一條ノ規定ト云フモノハ面白クナイ感ジヲ起シタノデアリマス、デアリマスカラ委員會ノ席ニ於キマシテモ、此法文ハ矢張り五十一號ノ法律ト同様ニ、先ヅ外國人ハ日本ニ於テ所有權ヲ享有スト云フ大原則ヲ掲ゲ、而シテ後ニ、其享有セムト欲スル外國人ノ屬スル國ニ於テ日本人ニ所有權ヲ禁止シ若クハ條件ヲ附ケルトカ制限ヲ附ケタトキニハ、日本デモ同様ナ禁止トカ制限ヲ加ヘルゾヨト云フコトヲ規定シタ方ガ宜シイデアラウト云フノデ、或ハ事ニ依ツテハ之ヲ修正案トシテ出サウカト云フヤウナ話モアッタノデアリマス、所ガ段々審査研究ヲ遂ゲマシタ末、他ノ法令等ヲモ參酌イタシマシテ、曩ニ

申上ゲマシタ通り、法文ノ體裁上、多少ノ面白カラヌ所ガアルケレドモ、矢張リ此儘ニシタ方ガ宜シイト云フコトデ、遂ニ修正ノ意見ハ提出スルコトガナクシテ終ハッタノデアリマス、デアリマスカラ此第一條ト云フモノハ原案通りニ決シマシタノデアリマス、ソレカラ其外ニ本條ニ付キマシテ質疑ハ多クアリマシタガ、其中ノ最モ主モナルモノト、サウシテ委員會ニ於テ修正ノ意見ガ出マシテ修正ニナッタ所ノ此二項ノ點ニ付テ聊カ其概要ヲ申上ゲヤウト思ヒマス、其第二條ニ於キマシテハ、帝國ノ法人又ハ外國ノ法人ト云フモノハ、社員ノ、ソレカラ株主、業務ヲ執行スル役員ノ數ガ全體ノ半數以上デアルカ、或ハ又資本ノ半額以上ヲ有ッテ居ルカ、若クハ其事業ヲ……議決イタシマスル議決權ノ過半數ト云フモノガ外國人ノ所有ニ係リマシタトキニハ、其法人ト云フモノハ、矢張り其法人ト云フモノノ屬スル所ノ國ニ於キマシテ、日本人ニ對シテ所有權ノ移轉ヲ禁ズルトカ或ハ條件ヲ附スト云フヤウナ場合ニハ、其法人ト云フモノハ、矢張り外國人ト看做スト云フコトガ規定シテアルノデアリマス、之ニ付テハ種々ナ疑問ガ起ッタノデアリマスガ、其最モ主モナル點ハ、此外國ノ法人ト云フモノハ、固ヨリ日本ノ法律ニ依リマシテ其認可ヲ受ケ、サウシテ事業ヲ開始セナケレバナラスノデアリマスガ、併シ法人ノ資本ト云フモノハ必シモ記名ノ株ニ限ッタモノデナイ、或ハ無記名ノトキモアラウ、記名ノトキデアリマシタナラバ、其株ノ過半數ハドレダケ、議決權ハドレダケト云フコトハ、直チニ株ノ枚數、若クハ株ノ數ニ依ッテ分リマスガ、若モ無記名式デアリマシタ場合ニ於キマシテハ、其過半數ハ何ニ依ッテ決メルカ、甚ダ之ヲ決メル上ニ於テハ困難ヲ來ス場合アラウト思フノデアリマス、例ヘバ千萬圓ノ資本ヲ有シテ居ル會社ニ於キマシテ、若シ無記名ノ株ヲ發行シマシタ……株デアリマシタ場合ニハ、五百萬圓ハ資本ノ額カラ申シスレバ半數デアリマスケレドモ、其國ニ屬シテ居ル所ノ人ガ有ッテ居ル株ガ果シテ五百萬圓以上ノ株デアアルカドウカト云フコトハ事實分ラヌノデアリマス、例ヘテ申シマスレバ、米國ニ於テ「キャリフォルニヤ」ニ於テハ、日本人ニ對シテハ土地ノ所有ヲ禁ジテ居ルノデアリマス、所デ「キャリフォルニヤ」ノ人

ガ日本ニ於テ會社ヲ組織スル、或ハ英人モ之ニ加ハル、佛人モ之ニ加ハルガ、「キャリフォルニヤ」ノ人ガ其會社ノ資本ノ半額以上ヲ所有シテ居リマシタナラバ、其「キャリフォルニヤ」ノ國ニ於テハ日本人ニ土地ノ所有ヲ禁ジテ居リマスルカラシテ、日本デモ亦同様ニ之ヲ禁ジナケレバナラスノデアリマスケレドモ、其「キャリフォルニヤ」ノ人ガ有ッテ居ル株ガ記名デアレバ、直チニ株ノ數ト云フモノガ分ルノデアリマスケレドモ、若シ無記名ニナリマススト云フト、實際三分ノ二以上ノ株ヲ有ッテ居リマシテモ、半數以下ノ株ヲ有ッテ居ルカ、半數以上ノ株ヲ有ッテ居ルカ、ソコガドウモ判然認メルコトガ出來ナイノデアリマス、是ガ是ダケノ規定デハ隨分法律ヲ潛リ又脫法ヲスル所ノ行爲ハ開クアリハシナイカト云フ疑ガ起リマシタノデ、サウ云フヤウナ脫法行爲ヲ防グ所ノ何か途ヲ講ゼナケレバナラスト云フノデ、茲ニ一ノ修正案ガ提出ニナッタノデアリマス、其修正案ノ趣意ハ、此第二條ノ末項ヘ持ッテ行キマシテ、別項ト致シマシテ「前項ノ資本ノ額又ハ議決權ノ數ノ計算ハ勅令ノ定ムル所ニ依ル」此一項ヲ加ヘタノデアリマス、ソレデ若シ會社ノ資本ト云フモノガ總テ無記名デアリマシタナラバ、過半數ト云フコトハ何ヲ標準トシテ認メルカ、認ムルニ由ガアリマセスカラシテ、サウ云フ場合ニハ勅令ヲ以テ其計算方法ヲ定ムルト云フコトニ致シタノデアリマス、ドウシテ勅令ニ於テ其數ヲ計算スルカト申シマスナラバ、ソレハ會社ノ内情ニ立入ッテ深ク調査ヲ致シ、内偵調査ヲ致シテ、サウシテ先キニ申シマシタ例ニ依リマススト云フト、「キャリフォルニヤ」人ハ無記名株ヲドレ程有ッテ居ルカ、又之ヲ所有スルニ付テハ何處デ買ッタ、買ッタ時ニハドレ程ノ株ヲ買ッタト云フコトハ種々ナ方法ヲ以テ調査イタシマシテ、サウシテ其會社ノ資本ノ半數以上ヲ有ッテ居リマシタナラバ、其半分デアリマス所ノ過半數ノ持主ト云フコトヲ認メルコトニナルノデアリマス、斯ウ云フ別項ヲ加ヘマススト云フト、先キニ申上ゲマシタ通り殊更ニ日本ノ法律ヲ潛ッテ、サウシテ日本ノ保護ヲ受ケルト云フヤウナ不正直ナ人間ト云フモノハ、先ヅ防ギ得ルコトニナルノデアリマス、ソレカラ第三條ニ於キマシテ外國ノ一部ニシテ土地ニ關シテ特別ナル立法權ヲ有スルモ

ノハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ國ト看做スト云フ一條ガアリマスガ、之ニ付テモ種々疑問ガ起リマシタノデ、是ハ極メテ重大ナコトト思ヒマスカラ、私御報告申上ゲテ置キマスガ、本法ニ於テハ外國ニ於テ日本人ノ所有權ノ移轉享有ヲ禁ズルトカ、或ハ制限スルトカ、或ハ條件付ト云フヤウナ場合ニ於テハ、日本ニ於テモ同様ニ之ヲ取扱フト云フコトハ、先程御報告申上ゲタ通りデアリマスガ、若シ亞米利加ノ如キ聯邦全體ニ於テハ日本人ニ土地ノ所有ヲ禁ズシテ、或一州若クハ或二州ニ於テ土地ノ所有ヲ禁止シタ時ニハドウスルカト云フコトガ差當ツテ、此第一條ニ付テハ疑ガ起ルノデアリマス、皆サソ御承知ノ通り、唯今亞米利加ノ聯邦ノ一州「キヤリフォルニア」ニ於テハ日本人ニ對シテ土地ノ所有ヲ禁ズシテ居ルノデアリマス、又近頃新聞ノ傳フル所ニ依リマス、州ニ於テ「キヤリフォルニア」同様ニ日本人ニ對シテ所有權ヲ禁ズシタト云フコトヲ聞キマシタ、一國全體ガ日本人ニ對シテ土地ノ所有ヲ禁ズシテ居リマシタナラバ、ソレハ第一條ニ依リマシテ、其國ノ人ハ日本ニ於テ所有權ヲ得ルコトガ出來ヌトスレバ極ク簡單デアリマスケレドモ、若シ獨立ノ一國ヲナシテ居ル其中ノ一部ガ所有權ノ移轉ヲ禁ズシタト云フ場合ニハ、格段ナル法律ヲ設ケナケレバナラヌト云フコトカラ、茲ニ三條ノ一ツノ規定ガ設ケラレルコトニナッタノデアリマス、此三條ノ規定ニ依リマスルト云フト、「キヤリフォルニア」ノ如キハ固ヨリ米國聯邦ノ一部デアリマスルケレドモ、立法權ト云フモノヲ特別ニ持ッテ居ルノデアリマス、司法權モ特別ニ持ッテ居ル、此點カラ申シマシタナラバ殆ド獨立ノ一國ト云フテモ差支ナイヤウナ状態デアアルノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ此本案ヲ適用スル上ニ付キマシテハ、假令聯邦ノ一州デアッテモ、特別ニ立法權ヲ有スル場合ニ於テハ、ソレハ一國ト看做シテ本法ニ於テハ之ヲ取扱フスルト云フコトニ此法文ニ於テ定メタノデアリマス、デアリマスルカラシテ米國ノ多クノ聯邦ハ、日本人ニ土地ノ所有權ヲ禁ズマセヌガ、若シ「キヤリフォルニア」地方ノ如ク日本人ニ對シテ土地ノ所有ヲ禁ズシテ居リマス所ノ人ガ、日本ニ來テ土地ヲ所有セムトスルトキニハ、日本ニ於テハ之ヲ禁止スルト云フコトニ

ナルノデアリマス、斯ク定メマシタナラバ、「キヤリフォルニア」ノ人ガ自國ニ於テハ日本人ニ對シテ土地ノ所有權享有ヲ禁ズシテ居リナガラ、日本へ來テ勝手ニ所有權ヲ得ルト云フコトノ出來ナイコトハ明カデアリマスルガ、併ナガラ斯ウ云フヤウナ場合ハドウデアアラウカト云フ一ツノ疑ガ起リマシタノハ、國民ガ一國ノ國籍ヲ離脱スルトカ、或ハ他國ニ歸化スルト云フコトハ事重大デシテ、又其手續モ甚ダ面倒ナンデアリマシテ、容易ニ爲スコトハ出來マセヌガ、併シ米國ノ各聯邦ニ於ケルガ如ク隣接シテ居ル州ガアリマスルト云フト、例ヘバ「キヤリフォルニア」州ノ人民ガ日本ニ於テ土地ヲ所有セムト思フケレドモ、自國ニ於テ之ヲ禁ズシテ居ルガ爲ニ、日本ニ於テモ之ヲ禁ズルカモ知レヌト云フ疑カラシテ、唯表面上「コロラド」トカ、或ハ隣州ノ「ワシントン」州アタリニ一時籍ヲ轉ジテ、サウシテ實際「コロラド」州ノ人間デアルヤウニ裝ウテ、日本ニ來テ土地ヲ所有セムトシタナラバ、ドウデアアラウカ、斯ウ云フコトハ隨分實際有リ勝ナコトデ、有リ得ルコトデアルカラ、此點ニ付テハ如何ナル取締法ヲ以テ之ヲ取締ルノデアアルカト云フコトノ疑問ガ起ッタノデアリマス、之ニ對シテハ政府ノ答辯セラレル所ニ依リマス、ト云フト、如何ニモサウ云フヤウナ懸念ハ無いデモアルマイ、併ナガラソレニ付テハ或ハ領事ナリ或ハ公使ナリ、其他相當ノ機關ヲ經テ十分取締スル積リデアッテ、決シテサウ云フヤウナ脱法ノ行爲ハ實際上有ルコトハアルマイト云フヤウナ答デアリマシタ、併ナガラ是ハ實際有リ得ルコトデアリマスルカラシテ、若シ此三條ト云フモノヲ、實際ニ行フニ付キマシテハ、餘程ノ注意ト餘程ノ考慮ヲ要セナケレバナラヌト云フコトヲ、吳々モ政府ニ對シテ話シタヤウナ次第デアリマス、デ、若シモサウ云フヤウナ虞レガアルカト云フコトデ、此本條ノ規定ヲ或ハ變更シ、或ハ本條ノ規定ヲ設ケナイト云フコトニナリマス、本法全體ノ運用ト云フモノハ全ク無クナル次第デアリマスカラシテ、サウ云フヤウナ弊害ハ實際ニ於テ萬々無イヤウニ、十分ニ取締ラシナケレバナラヌト云フコトデ、本法ハ此儘ニ可決シタヤウナ次第デアリマス、ソレカラ其次ニ最も重要ナル規定ハ第四條デアリマス、第四條ニ依リマス

云フト、外國人ニ對シテハ大體日本ノ國何レノ土地デモ、其所有權ノ享有ヲ許ス、併ナガラ國防上必要ナル地域ニ付テハ、豫メ其地域ヲ指定シテ所有權ノ享有ヲ禁ズルコトガ出來ルト云フ法文デアリマス、現法文ヲ現行法即チ四十二年ニ制定ニナリマシタ所ノ法律ニ比較シマスルト云フト、餘程相違シテ居ルノデアリマス、四十三年度ニ制定ニナリマシタ法律ニ依リマスと云フト、北海道、臺灣、樺太、此三箇所ト云フモノハ國防上ニ必要ナル地域ト同様、外國人ニ對シテ所有權ノ享有ヲ許サヌコトニナツテ居ルノデアリマス、其理由如何ト申シマスルニ、御承知ノ通り北海道ト云フモノハ、今尙ホ開拓未著手ノ所ガ澤山アリマシテ、至ル所ニ茫々タル原野ガ散在シテ居ルノデアリマス、又其土地モ極メテ廉價デアアル、而モ地質ハ豐饒デアツテ、何ヲ作リマシテモ十分ニ收穫スルコトガ出來ルノデアリマスカラシテ、今豐富ナ資本ヲ擁シテ遠大ナル計畫ノ下ニ此北海道ノ茫々タル原野ヲ開拓スルト云フヤウナ考デ、買占メルト云フヤウナコトヲ致シマシタナラバ、隨分有利ナコトデアアル、且ツ前途ニ於テ非常ニ有望ナルコトデアリマスカラシテ、若シ一朝、外人ニ所有權ノ移轉ヲ容易ニ許シマシタナラバ、豐富ナ資本ヲ擁シテ居ル外人ハ、一層所有權移轉ノ開放ヲ機トシテ、豐富ナ資本ヲ以テ盛ニ該道ノ荒蕪地ヲ買收シ、或ハ思惑ノ爲メ或ハ製造若クハ工業ノ爲ニ、鑛業若クハ耕作ノ爲ニ買入レルト云フ虞レガアリハシナイカト云フ所ノ懸念ガアッタノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ北海道ト云フモノハ全部外人ニ對シテハ、土地所有權ヲ享有スルコトハ出來ナイト云フコトニナツテ居リマス、今ヲ去ル十五年前ニ於テ此懸念ガアッタガ爲ニ北海道ヲ除外シテ居ッタナラバ、今日ニ於テモ尙ホ同一ノ懸念ガアルモノト考ヘナケレバナラヌカラシテ、本法ヲ施行スルニ當ツテハ、矢張り北海道、若クハ之ニ類スル所ノ樺太ト云フヤウナモノヲ、除外ヲシタラドウダラウト云フ意見ガ委員會ニ於テ起リマシタノデアリマス、ソコ段々委員ニ於テモ協議ヲ致シマシタ末ニ、修正案トシテ除外例ノ一項ヲ設ケルコトノ修正案ヲ提出イタシタノデアリマス、其趣意ハ第一北海道、ソレカラ樺太、此兩地方ニ於テモ一切外國人ハ所有權ヲ享有スルコトヲ許サナイ、サウシテ

又其上ニ國防上必要ナル地域ハ勅令ノ定ムル所ニ依ツテ、勝手次第ニ其地域ハ外國人ハ所有權ヲ享有スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フヤウナ法文ニシタラ宜カラウト云フコトニナツタノデアリマス、所ガ段々協議ノ末、……協議若クハ討論ノ末、遂ニ其修正案ト云フモノガ成立タナカッタノデアリマス、其成立タナカッタ理由ト云フモノハ、成程、現行法通り明治四十三年ニ於テ制定セラレタ所ノ法律ニ於キマシテハ、北海道、臺灣、樺太ノ如キハ除外シテアル、又當時ニ於テハ多少斯ノ如キ懸念モアッタデアラウ、併ナガラ十五年ヲ經過シタル今日ニ於テハ、最早其虞レモアルマイ、又折角、外人ニ對シテ所有權ノ享有ヲ開放スルノニ、此處モイカヌ、彼處モイカヌ、是モイカナイト云ツテ種々様々ナル制限ヲ設ケルト云フコトハ、此本法ノ趣意ニ鑑ミマシテモ甚ダ不徹底ナヤリ方デアアル、又現ニ日本ニ於キマシテハ所有權ハ享有スルコトハ出來マセヌケレドモ、所有權ニ等シキ地上權ト云フモノハ外國人ノ勝手次第ニ所有スルコトガ出來ルノデアリマス、現ニ所有シテ居ル者が澤山アルノデアリマス、而シテソレガ爲ニ別段、實際ニ於テ弊害ハ見ナイ、又其地上權ヲ得ルコトガ出來ルカラト云ツテ、到ル處デ外國人ガ地上權ヲ得テ居ルト云フヤウナ事蹟モ無イノデアリマス、是等ヲ考ヘテ見タナラバ、假令、今所有權ガ自由ニ獲得スルコトガ出來ルニシタ所ガ、決シテ右申シマシタヤウナ懸念ト云フモノハ生ズルモノデナイト云フヤウナ考ガ遂ニ勝ヲ占メマシテ、修正案ガ成立タナカッタノデアリマス、其時ニ一ツ議論ニ上ポリマシタノハ朝鮮ト臺灣デアリマス、朝鮮ト臺灣ト云フモノハ御承知ノ通り殆ド植民地ノ觀ガアリマスルノデ、今十分ニ大キナ資本ヲ以テ土地ナリ或ハ山林ナリヲ買收セラレマシタナラバ、隨分其結果ト云フモノハ恐ルベキ所ノ事情ヲ生ズルデアラウト云フコトモ、是モ北海道ト同ジ懸念ガアルノデアリマス、然ルニ此朝鮮ニ於キマシテハ、現在デハ外國人ニ所有ヲ禁ジテアリマスカレドモ、併シ本法ガ實施サレマシタ曉ニ於キマシテハ、朝鮮ハ特別ノ法律ヲ以テ外國人ニ所有權ヲ移轉ヲ禁ズルコトニナル筈ニナツテ居ルノデアリマス、又臺灣ニ於キマシテモ矢張り朝鮮ト同様、其懸念ハアリマスルガ、併シ臺灣ニ於テモ領有當

時ニ於キマシテハ、外國人ノ所有ヲ自由ニサシテ居リマシタガ、現今ニ於テハ外國人ハ所有スル事ガ出來ナイコトニナツテ居ルノデアリマス、此後ニ於テ矢張り是マデト同様ニ、外國人ニ對シ所有權ヲ移轉スルコトヲ禁ズルコトニナル筈デアリマスルノデ、朝鮮ト臺灣ノ如キハ全ク此法案ノ適用ノ範圍外ニナリマスノデ、假令其事情ハ北海道、樺太ト同一デアリマスケレドモ、此二箇ノ區域ニ付テハ格別懸念ハ無イト考ヘルノデアリマス、ソレカラモウ一箇條修正ヲ致シマシタノハ、此ノ本法ノ第五條デアリマスガ、此規定ノ趣旨ト云フモノハ前ニ説明ヲ致シマシタ第二條ト略同ジコトナノデアリマス、唯第二條ノ方ハ帝國ノ法人又ハ外國ノ法人ニ限ツタ條デアリマシテ、此第五條ノ方ハ帝國ノ法人ニバカリ關シタ條デアリマス、ソレデ帝國ノ法人、即チ日本人ガ組織シテ居ル所ノ會社、ソレニ「キヤリフォルニヤ」州ノ者トカ或ハ又ハ「キヤリフォルニヤ」州ト同様、日本人ニ對シテ土地所有權ヲ禁止シテ居ル所ノ國ノ人々ガ其社員トナリマシテ、サウシテ資本金額ノ半額或ハ株式ノ過半數以上、議決權ノ過半數以上ヲ有ツテ居リマシタ時ニハ、先程説明ヲ致シマシタ通り、矢張り是ハ「キヤリフォルニヤ」人ト看做シテ……其法人ヲ「キヤリフォルニヤ」人ト看做シマシテ、第一條ノ規定ニ基キマシテ、日本ニ於テ土地ノ所有ヲ禁ズルコトガ出來ルト云フノガ、即チ第五條ノ本文ノ趣意デアリマス、ソコデ此場合ニ於テモ前二條ト同様ニ、其資本ガ若シ無記名式デアリマシタ時ニハ、先程申シマシタト同一ノ趣意ニ基キマシテ、第五條ノ趣意デアリマス、先キニ修正イタシマシタト同一ノ趣意ニ基キマシテ、第五條ニモ同様ノ一項ヲ加ヘタノデアリマス、其加ヘマシタ文句ハ、即チ「前項ノ資本ノ額又ハ議決權ノ數ノ計算ニ付テハ第二條第二項ノ規定ヲ準用ス」斯ウ云フコトニナツタノデアリマス、ソレデ若シ「キヤリフォルニヤ」人、即チ日本人ニ對シテ土地ノ所有ヲ禁止シテ居ル所ノ國人ガ日本ノ會社ヘ入社シテ、サウシテ資本ノ過半數ヲ有ツテ居リマシタナラバ、其會社ハ日本人ノ組織シテ居ル所ノ法人デアリマスケレドモ、其法人ニ對シテハ土地ノ所有ヲ禁ズルコトガ出來ルノデアリマス、以上説明申上ゲマシタ通り、本案ニ對シ

テハ二箇ノ修正ヲ加ヘマシテ、サウシテ他ノ種々ナル點ニ付テハ、政府ノ説明ニ依リマシテ十分ニ其趣意ノアル所ハ能ク分リマシタモノデアリマスカラ、唯此二箇條ダケヲ修正ヲ加ヘマシタナラバ、本案ニ於テハ之ヲ施行シタ所ガ少シモ差支ナイ、又先程申シマシタ通り、別段此法案ヲ實施イタシマシタ所ガ、國民ノ信念ヲ害シ若クハ傳統ヲ傷ツケルト云フヤウナコトハ、實際ニ於テ生ジ得ナイモノト云フコトニ確信ヲ致シタノデアリマシテ、サウシテ以テ本案ハ二箇ノ修正ヲ以テ完全ナモノト思料イタシマシテ、決議ヲ致シタ次第デアリマス、以上委員會ノ經過並ニ結果ニ付テ御報告ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ……

〔河村讓三郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 河村君ハ御質疑デスカ

○河村讓三郎君 質問デス、本員ハ第六條ノ第三項ノ規定ニ付テ簡單ナ質問ヲ致シマス、若シ特別委員會ニ於テ問題トナツタコトデアリマシタナラバ、委員長ヨリ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、然ラザレバ政府委員ノ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、此第六條第三項ニ依リマス、遺產相續人又ハ包括承繼人ガ外國人デアリマシテ、土地ヲ享有スルコトヲ得ザル場合ニハ三年間ニ其土地ヲ讓渡スルコトヲ要スル規定デアリマス、而シテ特定遺贈ノ受遺者ニ付テハ何等ノ規定ガ無いノデアリマス、假ニ特定遺贈トシテ或ル土地ヲ贈與スルト云フ遺言ヲシマシタ者ガ死亡シタ場合ニハデス、其特定遺贈ノ受遺者ハ土地ノ所有權ヲ得ルコトガ出來ナイノデアリマス、或ハ一旦所有權ハ得マスケレドモ、三年内ニ讓渡ヲセスケレバナラスノデアリマス、其疑問ハ必ズ此規定ヨリ生ズルノデアラウト考ヘマス、如何ナル趣意デ此遺贈ノ規定ガ出來テ居リマス、是ハ此特定遺贈ノ效用ニ付キマシテハ二様ノ立法例モアリマシ、研究者ノ意見モ異ニシテ居ル所デアリマス、又大審院ノ判例モアッタカノヤウニ記憶イタシマス、此法律ガ實施サレテ是ガ外國文ニ翻譯サレテ外國ニ參リマス時分ニハ、必ズ此問題ハ生ズルコトデアラウト考ヘマス、此際ニ詳細ニ政府ノ御説明ヲ承ツテ置クコトガ必要デアラウト考ヘマシ

テ、態ト此質問ヲ提出スル次第デアリマス

〔政府委員岩崎幸治郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(岩崎幸治郎君) 唯今、河村サンノ御質シニナリマシタコトハ、特定承継人ノ御尋デゴザイマシタカ、此承継人ト云フコトノ外ニ、此特定ノ承継人ニ付テノ御尋デゴザイマシタノデスカ、チヨット、アスコニ居リマシテ肝腎ノ所ヲ聴キ漏ラシマシタカラ……

○河村讓三郎君 此承継人ト云フ明文ノ内容ヲ何レ御考ヘニナッテ居リマセウガ、此中ニハデス、無論、包括受遺者ハ這入ッテ行キマス、遺産相續人、包括受遺者ノ問題ガ起ルノデアリマス、其規定ガアリマスデスネ、包括受遺者ノ規定ガアリマシテ、特定受遺者ノ規定ガナイノデスナ、特定ノ不動産ヲ或人ニ遺贈スルト云フ遺言ヲシテ死ンダ者ガアリマシタ場合ニ、其遺贈ノ目的物ハデス、死亡ニ依ッテ當然受遺者ノ所有ニ移ルカ、或ハサウデナイ、即チ物權的效力ヲ生ズルノデハナイ、債務的效力ヲ生ズルノデアッテ、遺言者カラ相續人ガ其權利ヲ移轉スル義務ヲ負フノデアル、又之ヲ移ス義務ガアルト云フ風ニ遺言ノ效力ヲ御解釋ニナルノデアルカ、其特定遺贈ノ效力ノ御解釋ヲ茲ニ明カニシテ置キタイト斯ウ云フノデアリマス

○政府委員(岩崎幸治郎君) 能ク分リマシタ、第六條ノ三項ニ付キマシテノ唯今ノ御質問ハ、民法ニ規定シテ居リマス所ノ效果ト少シモ異ナル所ハナイノデアリマス、即チ相續人ハ移轉ノ責任ヲ有ツノデアリマシテ、遺言ニ依ッテ直チニ物權的効果ヲ發生スルモノデナイト云フコトヲ政府ハ考ヘテ居リマス、若シ此相手ノ特定ノ人ニ關係イタシマスル點デアリマスラバ、國籍ノ關係モ十分分ッテ居ルコトデアリマスカラ、勅令ニ依ッテ禁止サレテ居ルモノデアリマスラバ、移轉スルコトガ出來ナイ結果ヲ生ズルノデアリマス、若シ足ラナイ所ガゴザイマシタナラバ更ニ御答ヲ致シマス

○河村讓三郎君 モウ一度伺ヒマス、先ヅ包括受遺者ノ場合ハ遺言ガ效力ヲ生ズルトキニハデス、當然、所有權ガ受遺者ニ移ルト解釋サレテ居ルト思ヒマス、ソレデスカラ三年間ニ制限スルト云フ規定ガ生ズルノデアル、ソコデ包

括受遺者デハナイ、特定受遺者ノ場合ニハ、遺言者ガ死ヒシテモ當然、所有權ハ移ラナイト云フ解釋デアルカ、ソシナラバ其御解釋ト云フモノハ如何ナル規定ニ依ッテ生ズルノデアリマスカ、民法百七十六條デスカ、物權ノ設定移轉ハ意思表示ニ因リテ效力ヲ生ズルト云フ規定ガアリマス、遺言者ガ死ネバ即チ遺言者ノ意思ガ效力ヲ生ズルノデアリマスカラ、其意思表示ニ因ッテ效力ヲ生ズルト云フコトハ、一般ノ規定ニ依レバ矢張り死亡ニ依ッテ當然、此權利ガ移ルト云フ風ニ解釋シナケレバナラヌノデアリマス、此一般ノ規定ニ對シテ何か例外ノ規定ガアッテ、此特定遺贈ハサウデナイ、當然移權ハシナイ、何か之ニ對シテ例外ノ規定デモアッテ、サウ云フ御解釋デモ執ルノデアルカ、其點ヲ明カニシテ置キタイ

〔政府委員岩崎幸治郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(岩崎幸治郎君) 先程、私ノ申上ゲマシタ遺言ノ效果ノコトニ付キマシテハ、遺言狀其物ニ付テ私ハ申上ゲテ居ッタノデアリマシテ、其點ニ付キマシテノ解釋ハ本法ニ依ッテ別段定メハ無論シテ居リマセス、別段考慮ヲ有ッテ居ルモノデアリマセス、民法ノ解釋ト同様ノ解釋ヲ以テ此法律ニ於キマシテモ持ッテ行ッテ、少シモ差支ナイノデアリマス、ソコデ相續人ノ責任如何ト云フ御尋ガアリマシタトキニ、私ハ遺言者ノ死亡シタ後ト云フコトヲ考ヘテ居ナイデ、遺言者ガ遺言狀ヲ書イタ場合ニ於ケル相續人ノ責任云々ト云フ風ニ了解イタシテ申上ゲタコトハ、非常ナル私ノ誤リデアリマシタ、御説ノ如ク遺言者ガ死亡イタシマシタ場合ニ於キマシテハ、民法ノ解釋ト同様ニ、此法律ニ於キマシテモ移轉スルノデアリマス、ソレデ然ラバ此三年間ハドウ云フ風ナ形デ所有權ガアルノデアルカト申シマスルト、矢張り移轉ハ致スノデアリマスケレドモ、此間ニ第六條ニ掲ゲテアル所ノ手續ヲシナケレバナラヌト云フ一ツノ事柄ガ殘ッテ居ルコトト了解イタシテ居リマス

○河村讓三郎君 少シ本員ハ了解ヲ致シ兼ネルノデアリマス、此遺言者ノ死亡ニ依ッテ所有權ガ移轉シナケレバ受遺者ガ三年間ソレヲ讓渡スコトガ出來ナイ、受遺者ノ所有ニ移リマスカラ受遺者ガソレヲ三年間ニ他人ニ讓ラ

ナケレバナラヌト云フ理由ガ生ズル、ソレデ包括遺贈ノ場合ニハ無論其所有權ガ移ルト云フコトヲ認メテ居ルダラウト思フノデアリマス、ソレデ此包括的ノ場合ニハ、遺産相續ノ場合ト同様、相續ノ開始ニ依ッテ其效力ガ生ズルト云フ規定ガゴザイマスカラ、死亡ヲスレバ當然、所有權ガ移ルト云フコトニナル、斯カル規定デアリマス、然ルニ特定ノ場合ニ單獨ニ不動産ヲ遺贈スルト云フ場合ニ於テハ別段ノ規定ガナイノデアリマス、一般ノ規定トシテハ意思ヲ表示スレバ、ソレデ效力ガ生ズルト云フコトニ規定シテアリマス、サウスレバ矢張り特定ノ場合ニ於テモ包括的ノ場合ト同様ニ、所有權ガ受遺者ニ移ッタト云フコトニナル、所ガ其人ハ外國人デアッテ不動産ヲ所有スルコトガ出來ナイノデアリマス、然ラバ矢張り三年間ニ其權利ヲ或人ニ讓渡シナケレバナラヌト云フコトニナリハセヌカ、サウナルモノナラバ此規定ガ要ルガ、此第三項ニハ此規定ガナイ、唯包括的相續ノ場合ニハ三年間ニ讓渡セヌケレバナラヌ、特定遺贈ヲ受ケタモノニ付テハ何等ノ規定ガナイ、ソレハ其場合ニハ權利ガ移ラヌト云フ解釋デモ御執リニナッテ居ラレルカ、即チ債務的ノ效力ヲ御認メニナッテ、ソレカラ相續人ガ權利ヲ移轉スルト云フ義務ヲ負フダケデアッテ當然移ルノデハナイ、然ルニ其人ガ相續ヲスルコトガ出來ヌトシタナラバ、其實行ハ出來ナイデハナイカト云フ御解釋ヲ御執リニナッテ居ルノデハナイカト、此法文ヲ見マスト思ハレル、ソレカラ例ヘバ三年間ニ讓渡スルト云フコトハ實質上ノ規定デハナイ、權利ノ規定デナイ、唯形式的ノ手續デアルト思フ、三年間トスルト云フコトハ、三年間ニ所有權ノ權利ヲ希望セラル、人ニ讓渡サレルトノ規定デアルト云フノデアラウト思フ、形式ダケデ民法ニ關係ガナイ、形式ダケデアルト云フナラバ、少シ私ニハ分ラヌ

〔政府委員岩崎幸治郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(岩崎幸治郎君) 此三年間ノ間ノ權利ノ狀態ノコトニ付キマシテ、私ノ唯今申上ゲタノハ矢張り所有權ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ申上ゲタ、唯形式ト申上ゲナイデ、三年間ニ斯様ナ手續ヲセヌケレバナラヌト云フ趣意ヲ申上ゲタノデアリマス、サウシテ特定ノ承繼人ノコトニ付テ御尋ガアリマ

シタガ、遺言ノ效力ヲ發生イタシマス同時ニ所有權ガ移轉スルト云フコトハ、是ハ民法ノ解釋ト、チヨットモ異ナラナイノデアリマス、唯此點ニ付キマシテ是ニハ何等ノ規定ガナイト云フコトノ御懸念ガ起ルコトデアラウト存ジマシガ、此特定ノ承繼人ニ付キマシテハ、第一條ノ精神ニ依リマシテモ大體ニ於テ了解ハ出來得ルコトト政府ハ存ジテ居リマス、右様御了解願ヒマス

○河村讓三郎君 遺憾ナガラ本員ハ御説明ヲ承ッテ十分了解スルコトガ出來マセヌ、此上モウ御答ヲ願フコトモ如何カト思ヒマスカラ是デ止メマス

○土方寧君 唯今、河村君ト政府委員トノ質問應答ヲ聽イテ居ッテ、却テ疑ヲ起シマシタカラ簡單ニ伺ヒタイト思ヒマス、河村君ノ御質問ノ六條三項ニ付テ……此三項ニハ相續人及包括承繼人ノコトガ書イテアル、河村君ノ御懸念ハ特定不動産、土地ナラバ土地ノ受遺者ノコトデ、……ト云フヤウナコトカラ起ッテ來ル、最後ニ政府委員ガ御述べニナッタコトガハッキリシナカッタ、ソレガ私ノ懸念トナッタノデアリマス、若シ特定不動産ノ遺贈ヲ受ケル受遺者ガ外國、「カリフォルニア」人カ何カデアリマスレバ、此法律ガ出來レバ土地ヲ持ツコトガ出來ナイ、「カリフォルニア」人ガ日本ニ在ル土地ヲ遺言デヤルト云ッテ置イタ所ガ遺言ノ效力ハ生ズル、當リ前ノ場合ニハ外國人デモ受遺者ニ權利ガアルケレドモ取得ガ出來ナイ、買フコトモ賣ルコトモ遺贈ヲ受ケルコトモ出來ナイ、サウ云フコトハ場合ガ違フト私ハ考ヘル

〔政府委員岩崎幸治郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(岩崎幸治郎君) 遺言ノ效力ヲ發生イタシマスル場合ニ、其外國人ガ日本ニ於テ土地ヲ所有スルコトヲ禁ジラレテ居ルモノデアリマスナラバ、無論イケナイノデアルト云フコトハ當初ニ於テ私ハ申上ゲタノデアリマス、其場合デアリマスルナラバ、問題ガ起ラナイノデアリマス、遺言ノ效力ヲ發生イタシマス時ニ受遺者ガ外國人デアリマシテ、日本デ土地ヲ所有スルコトヲ禁ゼラレテ居ルモノデアリマスレバ、殆ド疑問ノ餘地ガナイノデアリマシテ、其者ハ法律ノ禁制ノ結果トシテ遺言ハアリマシテモ效力ヲ發生シナイ、土地ノ所有ヲスルコトガ出來ナイト解釋スルガ正當デアリマシテ、問題

トナリマシタル所ハ即チ包括承繼人トカ相續人ト云フヤウナモノニ付テ問題ガ起ルノデアリマス

○土方寧君 簡單ニ質問ヲ致シタイト思ヒマス、第一條ニ付テ第三條ノ適用デアリマス、斯ウ云フ規定ガナケレバナラヌノハ條文ハ誠ニ厄介ニナッテ居ルヤウデゴザイマスガ、日本ノ關係ハ亞米利加デアラウト思ヒマス、先刻委員長ノ御報告ニモ、ソレハ問題ニナッタクヤウデアリマス、問題ニナッテモ委員會デ政府委員ノ説明ヲ聞イテモ了解ガ出來ナイ、然ルニ「カリフォルニア」州デ日本人ニ土地所有權ヲ與ヘナイ、借地權モ與ヘナイ、其「カリフォルニア」州人ガ日本ニ來マシテモ、此法律ガ出來レバ土地ノ讓渡ガ出來ナイコトニナリマセウ、斯ウ云フ場合ハドウデアリマスカ、「カリフォルニア」ニ生レテ紐育ニ行ッテ營業ラシテ居ッタ者ガ日本ニ商賣上來テ居ッタ場合ニドウナリマスカ、モ一ツハ紐育生レデ其處カラ「カリフォルニア」ニ行ッテ營業ラシテ居ル、ソレガ日本ニ來テ土地ヲ買ウ、ト云フ其ニツノ場合ニハドウナリマスカ、委員會デ詮議ガアッテ、其點ニ付テ委員長カラ御答ガ出來レバ委員長カラ、ソレデナケレバ政府委員カラ……

〔政府委員岩崎幸治郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(岩崎幸治郎君) 御尋ノ點ハ專ラ國籍ニ依ッテ判定スル考デアリマス、專ラ國籍ニ依ッテ判定スル考デアリマス、紐育ノ人ガ「カリフォルニア」ニ參リマシテモ、紐育ノ國籍ヲ有ッテ居リマスレバ、其紐育ノ國籍ニ依ッテ判斷ヲ致シ、又「カリフォルニア」ノ人ガ紐育ヘ參ッテ居リマシテモ、國籍ガ「カリフォルニア」デアリマスルナラバ「カリフォルニア」ノ國籍ヲ有ッテ居ル人トシテ、本法デハ取扱ヲ致スノデアリマス、唯居所トカ、住所トカ云フ事柄ニ依ッテ此法律ノ適用ハ起ッテ參ラスノデアリマス

○土方寧君 御答ガ間違ッテ居リハシマセスカ、亞米利加ハ四十八州アルガ、殆ド同一ノ關係デアアル、外國人ニ對シテハ、國籍ハ一ツシカナナイ、紐育ニ居テモ亞米利加人、「カリフォルニア」ニ居テモ亞米利加人ト云フ國籍シカナナイガ、ドウデスカ

〔政府委員岩崎幸治郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(岩崎幸治郎君) 如何ニモ此條約國ニ對シマシテハ合衆國人ト致シテ一ツデアリマセウ、ケレドモ其人ノ組合國ニ於ケル所ノ國籍ト云フモノハアルデアラウト存ジマス、居住バカリデハアルマイト思ヒマス、私ハサウ云フ風ニ了解イタシテ居ルノデアリマス、外國ニ對シマシテハ亞米利加人ト申シマスレバ北米合衆國ノ人トシテ取扱フノデアリマスケレドモ、各國ニ於キマシテハ其國ノ國籍ハ無論有ッテ居ルコトト存ジテ居リマス

○土方寧君 今國籍ト申シタノハ却テ誤解ヲ招ク因デアアルカモ分リマセウガ、成程、亞米利加合衆國ノ人民トシテ、一面ニ於テハ亞米利加合衆國人民、サウ云フ國籍ヲ有ッテ居ル、即チ「ナシヨナリティー」ヲ有ッテ居ル、同時ニ紐育ノ「シテイズンシップ」ヲ有ッテ居ル、外ノ國デ言フ國籍トハ違フ、ソコガ厄介ナ所デ、「シテイズンシップ」ト云フヤウナコトノ御考デアルナレバ、ソレハ通常ノ言葉デスガ、モウ一點疑ハシイノハ御存ジノ通り日本ヤ歐羅巴大陸デハ總テ傷害事件ニ付テハ國籍主義ヲ採ッテ居ル、「ナシヨナリティー」ヲ標準ニシテ居ル……(聴取シ難シ)ソレダカラ「カリフォルニア」生レノ者ガ紐育ニ行ッテ居ル假定ノ場合ニハ、此人ハ紐育ノ「シテイズンシップ」ヲ得テ居ルノデハナイ、假リニ定住シテ營業シテ居ッタモノハ「ドミシル」ハ其所ニアル、住所地ハアル、ソレガ日本ヘ來テ、日本デモマダ歸化シテ居ナイ、殆ド日本デ永住スル積リデ商賣シテ居ッテ土地ヲ買ハウ、サウ云フ場合ニハ國籍ハアルマイガ、マア一生居ル積リカドウカ知リマセウガ、亞米利加ヘ歸ルト云フ意思ナクシテ日本デ商賣シテ居ル、見様ニ依テハ日本ニ住居ヲ轉ジタト云フ關係ニ居ル、ソレガ土地ヲ買ハウト云フ場合ハドウナリマスカ

〔政府委員山川端夫君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山川端夫君) 私ガ一應御答ヘ申上ゲマス、今御話ノ通りニ亞米利加人ハ亞米利加ノ國籍ヲ有シテ居リマス、サウシテ各州ノ市民權ヲ有ッテ居リマス、其ノ市民權ハ主モニ住居ニ依ッテ決メテ居ル、ソレデ實際ノ場合ニ於キマシテハ色々面倒ナ關係ガ起ルダラウト思ヒマス、ソレデ此法律ニ依リ

マシテ特ニ亞米利加ノ一州ニ對シマシテ此禁止制限ヲ設ケルト云フ場合ニハ、斯ウ云フ關係ヲ考慮イタシマシテ勅令ニ依ツテ色々必要ナ制限ヲ致ス積リデアリマス、ドウゾ左様御承知ヲ願ヒマス

○土方寧君 三條ノ適用ニ付テハ別ニ勅令ヲ定ムト云フコトハ見エマセヌガ……

〔政府委員山川端夫君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山川端夫君) 亞米利加ノ各州ニ付テ特ニ區別イタシマシテ制限ヲ致シマスル時ニハ、此勅令ニ依ッテドウ云フモノヲ制限スル、ドウ云フ禁止ヲスル、サウ云フ色々ナ事柄ハ總テ勅令ニ依ッテ定メル積リデ居リマス、ソレデ大體ニ於キマシテハ亞米利加ノ或一州ヲ以テ國ト看做シテ、之ニ對シテ制限シ得ルト云フノガ第三條ノ規定デアリマス、ソレヲ實施スルニ付キマシテ必要ナ規定ハ勅令ニ依ッテ定メル積リデ居リマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今問題ニ供シマスノハ題名及第一條ト御承知ヲ請ヒマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ第二條ヲ問題ニ供シマス、委員會ノ修正ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ第三條、第四條ヲ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ第五條ヲ問題ニ供シマス、委員會ノ修正ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ第六條ヨリ第十一條マデ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十一、船舶無線電信施設法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、侯爵大隈信常君

船舶無線電信施設法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十四年三月十三日

右特別委員長

侯爵 大隈 信常

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔侯爵大隈信常君演壇ニ登ル〕

○侯爵大隈信常君 船舶無線電信施設法案ハ、海上ニ於キマス所ノ生命財産ノ安全ヲ期スルコトヲ以テ目的トシテ提案サレテ居ルノデアリマス、然ルニ現今ニ於キマシテハ世界ノ列國中、獨逸ヲ除キマシテ殆ド總テノ海運國ニ於キマシテ、悉ク此趣旨ノ法律ヲ制定シテ居リマシテ、内外ノ船舶ニ此無線電信ノ設置ヲ強制シテ居ル次第デアリマス、ソレ故ニ我國ノ船舶ニ致シマシテモ、遠洋航海ニ從事イタシテ居リマスモノハ自然、是等ノ諸國ノ強制ヲ受ケマシテ、無線電信ノ設置ヲ有シテ居ル所ノモノガ澤山アリマスノデアリマス、然ルニ近海航路ノ船舶ニアリマシテハ、未ダ此種ノ設備ヲ持ッテ居ルモノガ多クナイノデアリマス、然ルニ近時我が近海方面ニ於ケル海難ノ實況ヲ見マスノニ、無線電信ノ設置ガアリマスコトニ於キマシテハ、此禍難ヲ防止シ、或ハ少クトモ其災害ノ程度ヲ減少シ得ラル、ト信ゼラレルコトガアリマスノデアリマス、仍テ此無線電信設置ニ關スル法律案ヲ我國ニモ實施スルト云フコトニナッタ次第デアリマス、外國ノ立法例中、本案ハ先ヅ佛蘭西ノ立法例ニ則リマシテ、又我國ノ船舶業者ノ經濟狀態等ヲモ顧ミマシテ、近海航路又ハ遠洋航路ニ從事スル所ノ總噸數二千噸以上、又ハ人員五十名以上ヲ搭載スル船舶ニ對シテ強制スルト云フコトニナッテ居ル次第デゴザイマス、併ナガラ總噸數五百噸未満ノモノ、又總噸數五百噸以上二千噸未満ノ船

船ニシテ、内地ノ沿海ヲ去ル百哩ヲ超エザル區域内ヲ航行スル所ノモノ、其他五百噸以上二千噸未満ノモノニ致シマシテ、朝鮮、臺灣、樺太等ノ沿岸ニシテ、大體、内地沿岸ヨリ百哩ノ航行ニ準ジ得ベキ區域内ヲ航行スル所ノモノ、又ハ同様ノ小型ノ船ニ致シマシテ、構造上設置スルコトヲ不適當ト認ムル所ノモノヲ、此法律カラ除外スルト云フ所ノ見込デアルト云フ當局ノ説明デアリマシタ、本法ノ施行ノ結果、此適用ヲ受ケマス所ノ船舶ノ總數ハ、約八百三十艘デアリマス、然ルニ既ニ無線電信ノ設置ヲ有シテ居ルモノガ約五百三十艘ニ及ンデ居リマスガ故ニ、新ニ此法律ヲ以テ強制セラレルモノハ約三百艘デアリマス、ソコデ此新シク強制ヲ致シマス爲ニ通信ノ從事者、即チ有資格者ト云フモノヲ供給スル必要ガアルノデアリマス、其者ガ凡ソ三百四十名バカリヲ要スルコトニナリマス、又之ヲ年々補充スル必要ガ起リマスガ故ニ、數百名ノ技術者ヲ玆ニ要スルコトニナリマス、是等ノ從事者ノ養成充實、又其他諸般ノ事情ヲ考慮イタシマシテ、少クトモ一箇年ノ猶豫期間ヲ置クト云フ見込デアルト云フ、是亦當局カラノ言明ガアリマシタ、尙ホ又本法ハ植民地ノ船舶及外國船ト雖モ、本法ノ強制區域ニ當ルベキ航路ヲ航行シ、内地ノ港灣ニ出入スル場合ニ於キマシテハ、之ヲ適用スルト云フコトニナルノデアリマス、而シテ海外諸國ハ先キニモ申上ゲタ通りニ、何レモ此施設ヲ強制イタシマシテ、我が船舶亦此強制ヲ受ケテ居リマス實況デアリマス、故ニ我國ニ於キマシテモ、之ヲ外國ノ船舶ニ強制シテモ何等ノ差支ハナイト云フ、是亦當局ヨリ説明ヲ受ケマシタ、デ、委員會ハ審議ノ結果、本案ハ實ニ適切ナルモノト認メマシテ、全會一致ヲ以テ可決シタ次第デゴザイマス、右御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開クト云フ動議ニ御異存
ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴ
ザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセ
ヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵八條隆正君 此際、日程ヲ變更シ、曩ニ本員ヨリ議長ニ提出シテ置キ
マシタル國有財産法第二十六條ニ依ル報告書審査ニ關スル動議ヲ追加シ、此
際、議題ニ供セラレムコトヲ望ミマス

○子爵池田政時君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 八條子爵ノ議事日程變更ノ動議ニ御異存ゴザイマ
セヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 八條子爵ノ動議ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

國有財産法第二十六條ノ規定ニ依ル報告書審査ニ關スル動議
右提出候也

大正十四年三月十六日

發議者

子爵 八條 隆正

賛成者

子爵 青木 信光

貴族院議長公爵徳川家達殿

政府ヨリ國有財産法第二十六條ノ規定ニ依ル報告書ヲ受領シタルトキハ之
ヲ決算委員ニ付託シテ審査ヲ爲サシムヘシ

○子爵八條隆正君 唯今、議題トナリマシタル國有財産法ニ依ル報告書ヲ決
算委員ニ付託シ審査セシムベシトノ動議ニ關シマシテ、其趣意ヲ申述べタイ
ト思ヒマス、從來、國有財産ニ關シマシテハ、明治二十三年勅令第二百七十五
號、官有財産管理規則第十六條及第十七條ニ依リマシテ、各省大臣ハ十年毎ニ
官有財産ノ目錄ヲ調製シ、又毎年其増減異動報告書ヲ調製イタシマシテ、帝國
議會ニ報告スル手續トナツテ居ッタノデアリマス、然ルニ本院ニ於キマシテハ
右報告書ヲ受領シ、保存スルバカリデアリマシテ之ヲ審査スルコトガ無カッ
タノデアリマス、然ルニ大正十年法律第四十三號ヲ以テ國有財産法ガ制定セ
ラレマスルヤ、政府ハ毎會計年度ニ於ケル國有財産ノ増減總計算書ヲ調製シ、
又毎五年三月三十一日現在ノ國有財産現在額ノ計算書ヲ調製イタシマシテ、

之ヲ會計検査院ノ検査ヲ經テ帝國議會ニ報告スル手續トナリマシテ、即チ國有財産ノ報告竝ニ其増減異動ヲ明確ニスルコトニナッタノデアリマス、依テ本院ニ於キマシテモ是等ノ報告等ヲ單ニ受領シテ看過スルコトナク、之ヲ決算委員ニ付託シ審査セシメマシテ、一ハ以テ財政監督ノ一助トナシ、他ハ以テ決算審査ノ完璧ヲ期スル必要ガアルト認メマシタノデアリマス、右ノ理由ニ依リマシテ、本動議ヲ發議イタシタモノデアリマス、何卒御賛成ヲ願ヒマス

○阪本鈺之助君 チョット御尋ネ致シタイト思ヒマス、發議者ニ質問ヲ致シタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○阪本鈺之助君 唯今、突然ノ御發議ニ接シマシテ規則等ヲ取調ベル邊ガアリマセヌノハ甚ダ遺憾デアリマスルガ、御發議ニナリマシタ以上ハ無論十分御研究ノアッタコトト存ジマスルガ、自ラ決算委員ノ職務ト云フモノハ取極メノアルコトデアリマシテ、唯今ノ如キコトヲ付託イタシテ審査ヲ託スルト云フコト迄ハ、議院内ノ仕事トシテ便宜上、差支モゴザイマセヌガ、若シ決算委員ノ中、不當ナリト認メタトキニ、之ヲ議場ニ報告スルトキ、即チ決算ノ事柄ト同様ニ扱フト云フコトニ付キマシテハ法規上、力ノアルモノデゴザイマスカ、又差支ナイモノデアリマスカ、其邊ハドウ云フ御研究ニナッテ居リマスカ、御尋ネシタイト思ヒマス

○子爵八條隆正君 唯今ノ阪本鈺之助君ノ御質問ニ御答ヲ致シマスガ、唯今ノ規則ニ依リマス、決算ノ委員ハ單ニ決算ヲ審査スル權限ヲ有ッテ居ルバカリデアリマス、併ナガラ動議ヲ出シマシタ此國有財産ニ關スルコトハ、勿論決算ニ關聯イタシテ居リマシテ、之ヲ審査スルコトニナリマシタナラバ、決算委員ニ付託スルヲ以テ最モ適當ナリト信ズルノデアリマス、而シテ私ノ動議ニ御賛成ガ多クゴザイマシテ、院議ヲ以テ左様ニ決シマシタ上ハ、即チ決算委員ニ付託セラレマスノデアリマス、決算委員ニ付託サレマスル上ハ、決算委員ニ於テ付託セラレタル報告書ヲ審査スルノニ、適當ナル規定ヲ設ケル必

要ガアルト存ジマス、併ナガラ此規定ヲ設ケルコトハ是ハ第二段デアリマシテ、唯今ノ動議ハ決算委員ニ付託スベキヤ否ヤト云フコトニ付キマシテ、決算委員ニ付託スベシトノ動議ヲ提出イタシタノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○阪本鈺之助君 唯今ノ動議ハ最早賛成ガアッテ成立シテ居リマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 賛成ガゴザイマスカラ動議ハ成立シテ居ルト存ジマス

○阪本鈺之助君 至極結構ナコトトハ存ジマスルガ、唯今申述ベマシタ通り、此審査ヲ經マシタ結果ガ、政府ニ對シテ相當ナ力ノアルモノデアルト云フコトニナリマセヌト、頼リナイコトニナリマス、其關係等ハドウ云フモノデアラルカト云フコトヲ、少シ熟考モ致シ調査モ致シテ見タイト存ジマスガ、或ハ私一人ノ考カモ知レマセヌガ、出來得ルコトナラバ暫時留保イタシテ、次ノ本會議ニデモ御提案ニナリマシタナラバ、此動議ノ益、價値アルコトヲ發見サレルト存ジマス、咄嗟ノ間ニチョット違例デゴザイマスカラ、賛否ヲ決スルノニ迷ヒマスルカラ、本員ノ考トシテ一回ダケ留保スルコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 阪本君ニ御確メ致シマスガ、唯今ノ八條子爵ノ動議ハ本日議了セズニ、他日ニ延期スルト云フコトニ議長ハ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○阪本鈺之助君 一應自分ノ意見ヲ定メル爲ニ、調査ヲ致ス時間ヲ與ヘラレムコトヲ希望スルノデアリマスガ、會期モ切迫シテ居リマスカラ、何時、本會ヲ御開キニナルカ知りマセヌガ、兎ニ角、一兩日デアレバ、ソレ迄ニ取調ベタイト考ヘルノデアリマス、明日デモ、少シ何デゴザイマスカ、或ハ中一日クラキ經チマシタ會議ニ於テ上ボセルナラバ、至極結構デハナイカト存ジマス、サウ云フ御積リノ御方モアリハセヌカト考ヘマス、併シ私一人ノ考ナラバ主張スルノモ如何デアリマスガ、皆様ノ御相談ノ上ノコトデゴザイマセウガ、本員ノ如キハ初メテ承リマスカラ、至極結構トハ存ジマスガ、其結構ナ事ニ付テ差

支ノナイト云フコトヲ確メテ安心シテ賛成ヲ致シタイト考ヘマス
○議長(公爵徳川家達君) 阪本君ノハ一ツノ動議ト認メマスカラ、賛成者ガ
ナクテハ成立タヌト考ヘマス

〔土方寧君「賛成」ト呼フ〕

○議長(公爵徳川家達君) 土方君ハ阪本君ノ動議ニ御賛成デスカ

○土方寧君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ阪本君ノ動議ハ成立イタシマシタ、他ニ御
發言モナイト存ジマスカラ、先ヅ以テ阪本君ノ延期ノ動議ニ付テ採決
ヲ致シマス、阪本君之助君ノ延期スベシトスル動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請
ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵徳川家達君) 少數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 八條子爵ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十三、會計士法案、衆議院提出、第一讀會、
之ニハ質疑ノ通告ガゴザイマス 阪本君之助君

會計士法案

右本院提出案及送付候也

大正十四年三月十二日

衆議院議長 粕谷 義三

貴族院議長公爵徳川家達殿

會計士法

第一章 會計士ノ職務

第一條 會計士ハ當事者其ノ他ノ關係人又ハ公務所ノ囑託ニ依リ會計ニ關
スル職務ヲ行フモノトス
第二條 會計士ハ農商務大臣ノ監督ヲ受ク

第二章 會計士ノ資格

第三條 會計士タラムトスル者ハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス

一 帝國臣民ニシテ民法上ノ能力ヲ有スル者

二 會計士試験ニ合格シタル者

三 會計士銓衡委員會ノ銓衡ヲ經タル者

第四條 會計士試験及銓衡ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 左ニ掲クル者ハ會計士タルコトヲ得ス

一 無期若ハ六年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレタル者但シ國事犯ニシ
テ復權シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

二 刑法第二編第一章乃至第三章第五章第七章乃至第十三章第十六章乃
至第二十三章第二十五章第二十六章第三十二章第三十三章第三十五章

乃至第四十章ノ規定ニ依リ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者但シ國
事犯ニシテ復權シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

三 破産若ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者又ハ身代限ノ處分ヲ受
ケ債務ヲ辨償セサル者

四 懲戒ノ處分ニ依リ免官免職又ハ除名セラレタル者

五 禁治産又ハ準禁治産ノ宣告ヲ受ケタル者

第六條 會計士ハ他ノ職業ニ從事シ法人ノ取締役理事無限責任社員若ハ法
人其ノ他ノ使用人トナリ又ハ報酬アル公務ヲ兼ヌルコトヲ得ス但シ法令

ニ依リ議員若ハ委員トナリ公務所ヨリ特ニ囑託ヲ受ケタル職務ヲ行ヒ民
法第三十四條ノ法人ノ理事トナリ又ハ學校ノ教職ヲ兼ヌルハ此ノ限ニ在
ラス

第三章 會計士名簿

第七條 會計士ハ會計士名簿ニ登録セラルルコトヲ要ス

第三章 會計士名簿

第七條 會計士ハ會計士名簿ニ登録セラルルコトヲ要ス

第七條 會計士ハ會計士名簿ニ登録セラルルコトヲ要ス

第七條 會計士ハ會計士名簿ニ登録セラルルコトヲ要ス

第七條 會計士ハ會計士名簿ニ登録セラルルコトヲ要ス

第七條 會計士ハ會計士名簿ニ登録セラルルコトヲ要ス

第七條 會計士ハ會計士名簿ニ登録セラルルコトヲ要ス

第八條 會計士名簿ニ關スル規定ハ農商務大臣之ヲ定ム

第四章 會計士ノ權利及義務

第九條 會計士ハ其ノ職務ニ關シ報酬及旅費ヲ受ク

第十條 會計士ハ左ニ掲クル事項ニ付其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

- 一 官公吏又ハ監査役監事若ハ検査役トシテ其ノ職務上關與シタル會計事項
- 二 取締役無限責任社員理事清算人管理人仲裁人又ハ辯護士トシテ其ノ職務上關與シタル會計事項

職務上關與シタル會計事項

第十一條 會計士ハ左ニ掲クル事項ヲ爲スコトヲ得ス

- 一 會計士ニ非サル者ト共同シテ職務ヲ行ヒ又ハ會計士ニ非サル者ヲシテ自己ノ名ヲ以テ職務ヲ行ハシムルコト但シ豫メ農商務大臣ニ届出アル事務員ヲシテ個別ノ事務ヲ代理セシムルハ此ノ限ニ在ラス
- 二 直接間接ニ他人ヲシテ自己ノ職務ヨリ生スル利益ノ分配ニ與ラシメ若ハ與ラシムルコトヲ約束シ又ハ職務受託ニ關シ他人ニ對シテ手數料若ハ報酬ヲ與ヘ若ハ受クル約束ヲ爲スコト
- 三 他人ノ職務ヨリ生スル利益ニ付其ノ分配、手數料若ハ報酬ヲ受ケ又ハ受クルコトヲ約束スルコト
- 四 債權取立ノ受託又ハ之ニ類スル行爲ヲ爲スコト

第五章 會計士會

第十二條 會計士ハ會計士會ヲ設立シ其ノ規約ヲ定メ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ其ノ規約ヲ變更セムトスルトキ亦同ジ

第十三條 會計士ハ會計士會ニ加入シタル後ニ非サレハ其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

第六章 罰則

第十四條 會計士又ハ會計士タリシ者故ナク其ノ職務上取扱ヒタル事項ニ付秘密ヲ漏泄シタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ千圓以上ノ罰金ニ處ス

第十五條 刑法第九十七條及第九十八條ノ規定ハ會計士ノ職務執行ニ付之ヲ準用ス

第十六條 第七條ノ登錄ヲ受ケサル者會計士會ニ加入セサル者又ハ職務停止中ノ者會計士ノ稱號ヲ用キ其ノ職務ヲ行ヒタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第七章 懲戒

第十七條 會計士此ノ法律又ハ會計士會ノ規約ニ違反シタルトキハ懲戒ニ付ス

第十八條 懲戒ハ左ノ四種トス

- 一 譴責
- 二 千圓以下ノ過料
- 三 三以下ノ職務停止
- 四 除名

附 則

第十九條 懲戒ハ農商務大臣之ヲ行フ但シ會計士會ハ其ノ決議ニ依リ之ヲ申告スルコトヲ得

本法施行ノ期日ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
會計士銓衡委員會ノ銓衡ヲ經タル者ハ當分ノ内第三條第二號ノ規定ニ拘ラス會計士タルコトヲ得外國人カ帝國内ニ於テ第一條規定ノ職務ヲ行フコトニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

○阪本鈺之助君 簡單デゴザイマスカラ、コレデ御許シテ願ヒタイ、會計士法案ナルモノハ大正三年以來ノ懸案デアリマシテ、既ニ衆議院ノ可決ヲ經マシタコト三回ニ及ンデ居ルノデアリマス、此度デ既ニ四回モ衆議院ノ議決ヲ經テ居ルノデアリマスガ、本院ニ於テ是ガ可決ヲ見ザル所以ノモノハ、政府ノ態度ガ煮エ切ラヌ、強ヒテ御異存モ仰シヤラヌヤウデアリマスガ、而モ御賛成デモナイト云フヤウナ態度ガ或ハ院議ニ影響ヲ與ヘテ居ルノデハナイ

カト思ヒマス、最早十年以上ニモナルノデアリマスカラ、政府ノ御研究ハ段段付イテ居リマセウガ、政府ハ此案ノ成立ヲ非常ニ御賛成デアルノデアリマスカ、或ハ又ドウデモ宜イガ反對デアルト云フヤウナ意味デアリマセウカ、若シ御賛成デアルナラバ政府案デモ御出シ下サルコトガ、頗ル宜クハナイカト思フノデアリマスカ、併シ今日マデ御提出ニナラヌ所ヲ見マスト、必要ト認メテ居ラスト云フコトニモ想像致シマスカ、何レデアルカ、無論、衆議院デ反對シテ居ラヌヤウデアリマスカラ、成立テバソレデ宜イ位ナ態度カト存ジマス、成ルベク是ハ二度モ衆議院ヲ經テ居リマスカラ、本院ニ於テモ、今議會ニ於テハドチラカ、潔ク可決スルカ、否決スルカ、態度ヲ決メタラドウカ、先ヅ前提トシテ政府ノ御意思ハ那邊ニ在ルカト云フコトヲ分明ニ一ツ承リタイノデアリマスカ、ソレト同時ニ、本案ニ依リマスト農商務大臣ノ監督ヲ受ケルコトニナツテ居リマスカ、私共ノ考デハ大藏大臣カ司法大臣ガ監督ヲナサルノガ當然デナイカ、物其モノガ農商務省ニ關係ノコトモ多クゴザイマセウ、會計士ノ從事スル仕事其モノガ農商務大臣ノ御所管ニナルコトガ多イカモ知レマセウガ、會計士其モノノ性質ヲ見マスト、矢張り大藏大臣ノ仕事ノ上ニ多ク關係スルコトデアル、又司法大臣ガ之ヲ監督スルコトモ至極宜クハナイカト思ヒマス、ドウシテモ大藏大臣若クハ司法大臣ノ監督ニ屬スベキモノデアルト存ジマスカ、衆議院案ニ全ク反對デアレバ御説明ハ要シマセウガ、御反對デナイナラバ、是等ニ付テ政府ハ如何ニ御考ヘニナツテ居ルカト云フコトヲ、此場合、御説明ヲ願ヒマス

〔政府委員堀切善兵衛君演壇ニ登ル〕

○政府委員(堀切善兵衛君) 唯今ノ阪本サンノ御質問ニ御答辯ヲ申上ゲマス、會計士法案ニ付キマシテハ、政府モ近來、經濟上ノ進歩ニ伴ヒマシテ、企業ノ數ガ段々ニ多クナリ又非常ニコノ複雑イタシテ參リマスト爲ニ、其會計ノ監督等ノ點ニ専門ノ會計士ヲ拵ヘ、而シテ世ノ中ノ經濟界ニ志ス者ニ安心シテ投資セシムルノ途ヲ開キタイト云フ考ハ早クヨリ懷イテ居ッタノデアリマス、今日ニ於テモ其考ヘ……即チ衆議院ノ本案ニ對シマスト趣意ニハ、政府

モ何等、異存ガナイノデアリマス、唯、唯今ノ第二段ニ於テ御尋ノゴザイマシタ通り、本案ハ色々ナル關係ヲ有ツテ居ルノデ、即チ司法省、大藏省等ノ關係ガ非常ニ密デアリマス、大藏省ノ所管ニ致スベキカ、司法省ノ所管ニ致スベキカ、農商務省ノ所管ニスベキカト云フ點ニ付テハ、尙ホ十分考究イタサナケレバナラヌノデアリマス、又今回、提出サレマシタ會計士法案ノ案其モノニ付テモ大分是ハ研究ヲ要スル、即チ今日同意イタシ兼ネル點ガ少クナイノデアリマス、同時ニ經濟界ニ殊ニ大ナル關係ヲ有ツノデアリマス、而シテ經濟界ノ事ハ非常ニ複雑微妙ヲ極ムルノデアリマスカラ、本案ヲ政府自ラ提出イタシマスト際ニハ、餘程經濟界ノ情況ヲ見テ其時期ヲ選ブト云フコトガ大事デアラウト考ヘルノデアリマス、從テ政府ハ主義ニ於テ本案ニ賛成イタシマスカ、條文其モノニハ異議ガゴザイマス、出來得ルダケ早く政府ハ自ラ然ルベキ案ヲ立テ、協賛ヲ得タイト、斯様ナ考ヲ有ツテ居ルノデアリマス

○阪本鈺之助君 誠ニ煮エ切ラヌ御答辯デアリマシテ、主義ニハ賛成シテ居ル、併シ法案ハ不十分デアル、若シ貴族院ガ衆議院ニ同意イタシマスト云フコトニナルト、イヤノデ御賛成ニナルカモ知レヌト云フヤウナ風ニ聽取ラレマス、政府ハ法案其モノニ對シテハ不十分デアル、今ハ其時期デナイト云フヤウナ御考デアラナラバ、潔ク反對ナサルガ宜シイ……マア今ノ所ハ止メテ貴ヒタイト云フ御答デアルト想像サレルノデアリマスカ、果シテ然ラバ次ノ議會マデニ御審議ニナツテ……何レノ所管ニ屬スルガ宜イカ位ハ、政府ガ二三十分開議ヲ御開キニナリマシタナラバ直グ決マリサウニ思ヒマスカ……今期議會中ニモ出來サウニ思ヒマスカ、今ハ經濟界ガ沈衰シテ居ル、會計士ガ出來タカラト云フノデ、無闇ニ銀行ヤ會社ヲ調べテ廻ル譯デモアリマセウシ、會計士ガ出來ルト云フト經濟界ニ幾分其影響ガアルト云フコトハ甚ダ私ハ了解ニ苦シムノデアリマス、決シテソナナ譯ノモノデアリマセウ、既ニ會計士ト云フ者ハ出來テ居ル、大分世間ニ出來テ居ッテ、私ハ實ハ會計士ハ最早公設ノモノガ出來テ居ルノカト思ッテ居ッタノデアリマスカ、何シロ、マダ是ハ私設

ノ會計士デアツテ、公設會計士ハマダ出來テ居ラスト云フコトヲ認メタノデアリマス、此儘ニシテ置キマシテハ色々弊害ガアリハシナイカト思ヒマス、此點カラ申シテモ、早ク御決メニナルコトガ宜カラウト思ヒマスケレドモ、法文ガ氣ニ入ラスカラ賛成ガ出來ナイ、斯ウ云フコトデアリマス、唯今申シタ通り、衆議院ハ通ツタケレドモ、ドウモ不十分ダト思フカラ貴族院ハ否決シテ呉レルガ政府ノ悦ブ所デアルト、斯ウ云フ御解釋ト私ハ鑑定ヲ致シマスルガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ、若シ違ツテ居リマシタラ御答辯ヲ願ヒマス

〔政府委員堀切善兵衛君演壇ニ登ル〕

○政府委員(堀切善兵衛君) 重ネテ先程御答辯申上ゲタコトヲ簡略ニ申上ゲマス、本案ニ政府ハ賛成イタスコトガ出來ナイノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

會計士法案特別委員

侯爵 久我 常通君	山 脇 玄君	子爵 大宮 以季君
子爵 伊集院 兼知君	道 家 齊君	河村 讓三郎君
男爵 小畑 大太郎君	志村 源太郎君	橋本 辰二郎君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十四、議院法中改正法律案、衆議院提出、

第一讀會ノ續、委員長報告、服部一三君

議院法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十四年三月十二日

右特別委員長

服部 一三

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔服部一三君演壇ニ登ル〕

○服部一三君 議院法中改正法律案ニ付キマシテ、委員會ノ模様ヲ報告イタシマス、此案ハ皆様ノ御手許ニアリマシテ、其條文ニアル通りニ各議院ノ議長、副議長及議員ハ別ニ定ムル所ノ規定ニ從ヒ無賃ニテ國有鐵道ニ乗車スルコトヲ得ル、是ニハ何ノ説明ヲ要シマセヌ、明カデアリマス、ソレデ委員會ニ於キマシテハ、委員ト政府委員トノ間ニ質問應答ヲ重ネマシテ、其質問應答ノ結果トシテ得マシタ重立ツ點ヲ申シマスレバ、曩ニ鐵道大臣ハ近頃無賃乗車券ノ濫發ニ向フ傾向ガアル故ニ、是ハドウシテモ大ニ整理シナクテハナラスト云フ決心ヲ持タレマシテ、既ニ皆様御承知ノ通り、鐵道從業員ノ外ハ、總テ假令我々ガ多年受ケテ居ツタ乗車券ノ如キモ、總テ今後發行シナイト云フコトニ御定メニナツタノデアアル、是ハ大整理ヲ行ハレル上ニ於テハ、誠ニ必要ナル御決斷デアツタト本員等ハ思フノデアリマス、唯今申シマヌル通り、此整理ト云フコトヲ實行サレタノハ、決シテ收入ヲ多クスルトカ、少ウスルト云フ點カラ起ツタノデハナイ、即チ濫發スル弊ヲ止メナクテハナラスト云フ點カラ起ツタ所ノ整理デアツタノデアリマス、ソコデ若シ此案ガ兩院ヲ通過シタ以上、大臣ハドウ云フ御方針ヲ執ラレルカト云フ質問ニ對シマシテハ、無論、是ガ兩院ヲ通過シテ、サウシテ法律ニモナルト云フコトデアリ、又是ガ斯ウ云フ決議ニナツタ所デ、ソレガ即チ整理ノ目的ヲ紊スモノデ決シテナイ、即チ斯ウ云フヤウナ法律ニ定メタ其者ニ與ヘルト云フコトハ整理ヲ決シテ害スルモノデハナイノデアアル、故ニ直グ同意スルトモセヌトモ言ヘナイケレドモ、之ニ付テハ十分考慮スルト云フ言葉デアリマシタ、反對ヲ必ズシハシナイト云フ

意味ノ御答デアッタノデアリマス、ソコデ我々ハ參考ノ爲ニ歐米諸國デハドウ云フヤウニシテ居ルト云フコトノ調ベヲ致シマシタ所ガデス、議員ノ任期中、無賃乗車券ヲ與ヘル所ノ國ガ八箇國デアリマシテ、其中ノ二箇國ハ憲法ヲ以テ之ヲ制定シテ居ルノデアリマス、又會期中、無賃乗車券ヲ與ヘル所ノモノガ四箇國、又選舉區ヨリ議院ノ所在地マデノ無賃乗車券ヲ與ヘルト云フ國ガ二箇國、全ク與ヘナイト云フコトニシテ居リマスルノガ一箇國デ、モウ一箇國チヨット不明ナ所ガアリマス、斯ノ如ク任期中、無賃乗車券ヲ與ヘルト云フ國ノ方ガ大多數デアリマスル、ヤラヌ國ハ唯一箇國デアアル、ソレデ外國ノ例ハ唯今申上ゲタ通り、又此案ガ通過シタガ爲ニ政府ノ整理ノ精神ニ一向妨ゲハシナイト云フコトモ明カ、其上、此案ハ既ニ衆議院ヲ殆ド滿場一致ト云フコトニ近イヤウナ大多數ヲ以テ通過シテ居ルト云フコト、此三ツノ點ヲ我我ハ見出シタノデアリマス、ソレデ終リニ於テ異議ナク原案ヲ可決シタ次第デアリマス、尙ホ一言報告スルコトガアリマスルガ、ソレハ委員ノ中ニ斯ウ云フ希望ヲ述ベラレタノデアリマス、從來、鐵道大臣ノ裁量ヲ以テ「パス」ヲ下付スルコトハ違法ナリトノ論モアリ、又現大臣ハ鐵道關係者ヲ除ク外、一切「パス」ヲ下付セザル方針ニテ、内規ヲ以テ之ヲ定ムト言ハル、モ、内規ハ外部ニ對シテハ效力ナク、又後任大臣ヲ拘束スルコトモ出來ザルガ故ニ、今後法律ヲ以テ「パス」ヲ下付スベキ者ノ範圍ヲ限定セラレムコトヲ望ムト云フ、斯ウ云フ希望ヲ述ベラレマシテ、是ハ皆サンニ此事ヲ報告シテ呉レト云フコトデアリマシテ、本員モ喜ンデ之ヲ報告スル次第デアリマス、右ニテ報告ハ終リマス

○藤本閑作君 委員長ニ御尋ネシタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 質問デゴザイマスカ……宜シウゴザイマス

○藤本閑作君 委員長ヨリ唯今、御報告ガアリマシタガ、既ニ法律ヲ以テ議院規則ガ制定シテアリマシテ、其規則ノ中ニハ議員ハ旅費或ハ歳費ヲ受ケルコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスルガ、唯今、御報告ニナリマシタ

所デハ無賃乗車ト云フコトデアリマスガ、即チ旅費ノ方ニ關係ヲ有ツモノデアリマスガ、其無賃乗車ガ出來ルヤウニナリマシタナラバ、從前、國庫カラ支給サレツ、アリマシタ旅費ノ中ノ汽車賃、唯今ノモノハ將來支給ハ止メテシマウ、議員ハ汽車賃トシテ從來既ニ支拂ハレツ、アッタモノハ將來無用ニナル、斯ウ云フ風ノ御趣旨デ、唯今ノ御報告ノ通り本案ヲ委員會デ御決定ニナツタノデアリマスカ、如何デアリマスカ

○服部一三君 唯今、藤本君ノ御述べニナリマシタ通りニ、旅費ハ今後下付ニナラヌコトノ規定ガ設ケラレルデアラウト云フコトデアリマス、ソレヲ御答ヘ致シマス

○藤本閑作君 此改正案ノ文面ノ中ニハ、豫テ伺ヒマスト云フト、唯今、委員長ノ御答辯ニナリマシタ意味ハ伺ヒ得ヌノデアリマス、此點ガ私ニハ分リマセヌ、又別ニ既ニ法律ヲ以テ議員ニ旅費歳費ト云フモノガ與ヘラレルコトニナツテ居ル、議員ガ自分ノ職責ヲ達シマスル上ニ於テ、何等ノ不便ハナイコトニ既ニ法律ノ上デ待遇ヲ我々ハ受ケテ居ル、然ルニモ拘ラズ無賃乗車ト云フモノヲ與ヘルト云フコトハ、甚ダ其意ヲ了解スルニ苦シムノデアリマス、唯今、外國ノ例ヲ御引キニナリマシタガ、外國ハ外國……各位モ御承知デアリマセウガ、現政府ハ財政ノ整理、總テノ政費ヲ緊縮スルト云フコトニ於テ現政府ハ非常ニ努メラレツ、アルノデアリマス、又毎年ノ決算報告ノ上ニ付テ見テモ皆様十分ニ御承知ノコトデアリマセウト思ヒマスガ、唯今審査中ノ十一年度ノ決算ヲ見マスルト云フト、數多ノ官吏ノ中ニハ不心得ノ人ガアツテ、官金若クハ官品ヲ横領シ、若クハ官衙ノ吏員ノ不注意ニ依ツテ國家ニ多大ノ損害ヲ及ボシテ居リマスル、是等ノ件數ハ數十件ニ上ボツテ居ルト云フコトハ會計検査院ノ報告ニ見テモ明カデアリマス、私ガ苟ニ是等ノ國家ニ損害ヲ及ボシタモノト見ルベキモノヲ私見ニ依ツテ推算ヲ致シマスルナラバ、今決算審査中ノ大正十一年度ダケデモ三百萬圓アルト思ツテ居リマス、既往ニ溯ツテハ綿密ニ調査ハ致シマセヌガ、矢張り是ト大同小異ノコトデアラ

ウト考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ政府ガ綱紀ノ肅正ヲ現内閣成立以來、殊ニ高唱セラレ、民間ノ識者モ亦之ニ和シテ、何卒シテヨリ以上ノ綱紀ノ嚴正ナラムコトヲ希望スル此場合ニ於テ、此無賃乗車ハ事甚ダ輕微ニ似タリト雖モ、國民ノ心ニ如何ニ感ゼラレルデアリマセウカ、所謂、思想善導、政費ノ節減、官紀綱紀ノ肅正、斯ウ云フヤウナコトト相照シテ、委員長ハ委員會ニ於キマシテ、定メシ是等ノ點ニ御考慮ヲ爲サレタ上デ、此無賃乗車ヲ御決定ニナッタコトト存ジマスガ、其邊ハ如何様ナ委員會ノ内容デアリマスルカ、幸ニ詳細ニ御示シテ願フコトヲ得マシタナラバ、本員ハ大ニ満足シテ贊成ニ咨カナラヌモノデアリマス

○服部一三君 チョット御質問ノ趣旨ガ能ク分リマセヌガ、之ヲ議決シタラ色々ノ惡思想ガ起ルダラウトカ何トカ云フヤウナコトノヤウデアリマスガ、又是ガ經濟上ニ非常ニ響クト云フコトデ御質問デアリマスガ、チョット餘リ何ンカ長ク御話デアリマシタカラ、チョット要點ヲ擷ミ兼ネマスガ、多分一ツハ經濟上ニモ大變響クデヤナイカ、政府ハ緊縮緊縮ト言ッテ居ル場合デヤナイカト云フヤウナコトガ一ツノ點デアッタカト思ヒマス、ソレナラバ私演壇デモ申シマシタ通り、此議員ダケノ「バス」ノ爲ニ儉約ヲスルトカ、收入ヲ増ストカ云フコトニ響クト云フコトヲ考ヘテ、此整理ヲ初メニシタモノデハナイ、是ガ餘リ濫發デ、遣ラナクテモ宜イ者ニ遣ル弊ガアルカラ、之ヲ整理シタト云フコトデアリマスカラ、之ヲ遣ルカラ國ノ經濟ニ於テ大影響ガアルト云フコトハ私共ハ思ヒマセヌ、之ヲ御答ヘ致シマス

○藤本閑作君 御答ニ對シテ重ネテ質問スルノハ甚ダ恐縮デアリマスガ、唯今ノ御答辯デハ私ハ了解シ得ヌノデアリマス、ソレデ一ツ御尋ネ致シタイト思ッテ居リマスガ、既ニ現行ノ議院法ガ所謂法律デ制定ニナッテ居ル、其議院法ニハ歳費並ニ旅費ヲ受ケルコトガ出來ルト云フ規定ニナッテ居リマス、即チ我々議員ハ現ニ議員ノ職責ヲ盡シマスル上ニ於テ何等不便ハナイモノト考ヘテ居ル、然ルニモ拘ラズ更ニ此無賃乗車ヲサセルト云フコトハドウ云フ御趣旨デアリマスカ、既ニ定マッテ居ル所ノ議院法ニハ、汽車ニ乘レバ汽車賃ヲ

造ル、人力車ニ乘レバ人力車賃ヲ造ル、日當モ造ル、旅行ニ於テハ既ニ相當ノ程度ニハ我々ハ便利ハ既ニ受ケテ居リマス、ソレデアリマスカラシテ無賃乗車ノ必要ハドコニアリマスカ、私ハ分ラヌノデアリマス、之ヲ第一ニ御尋ヲ致シマス

○服部一三君 藤本君ハ今ノ制度デソレデ満足デアルト云フコトデアリマスガ、私共委員會デハ矢張り此案ノ通りニ決メテ……ソレデ今ノ旅費、乗車賃ト云フヤウナモノハ止メテ貫ヒタイト云フコトハ、ソコハ意見ガ違フノデアリマスカラ、ドウモ仕方ガナイ

○藤本閑作君 意見ノ相違ト云フ譯デハアリマスマイト思ヒマス、既ニ在來ノ此議院法ヲ能ク御覽ニナッタラ分ルデアリマセヌカ、第三章第十九條ニ「各議院ノ議長ハ歳費トシテ七千五百圓副議長ハ四千五百圓貴族院ノ被選及勅任議員及衆議院ノ議員ハ三千圓ヲ受ケ別ニ定ムル所ノ規則ニ從ヒ旅費ヲ受ク但シ召集ニ應セサル者ハ」云々、斯ウ云フヤウニ現行法ニ立派ニ、法律ハ我々議員ニ對シテ相當ノ待遇ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、然ルニモ拘ラズ、無賃デ乗車ヲスルコトノ出來得ルヤウナ改正案ヲ……衆議院ノ改正案ヲ本院ノ委員會ニ於テ御審議ニナリマスルニ於テハ、定メシ各種ノ方面カラ十分ニ御調査アルベキ筈デアリマス、私ガ先刻カラ御尋ネスルノハ唯私ノ意見デアルカラト云フヤウナ風ニ委員長ハ仰セラレテ、私ノ承服シ得ルヤウナ御答辯ノナイノハ私ハ甚ダ遺憾ニ思ヒマス、決シテ委員會ノ内容ハ私ハソナコトデハナカッタト信ジテ居リマス、ドウゾ希ハクハ委員長カラ詳細ナ説明ガ戴カレル筈ダト思ヒマスルガ、如何デアリマセウカ

○服部一三君 モウ意見ノ違ヒデアリマスカラ私ハ申上ゲマセヌ、ドウゾ：

○藤本閑作君 アレ程ニ申シマシテモ意見ノ相違ト云フ一點張りデ、私ガ了解シ得ヌノハ甚ダ遺憾デアリマスルガ、先例ニ依リマスレバ委員長カラ御答辯ガナクトモ、場合ニ依レバ他ノ委員カラデモ御説明シテ戴カレルト私ハ記

憶シテ居リマスガ、此場合ニ於テ他ノ委員ノ方々カラデモ私ノ疑問ニ對シテ御説明ヲシテ戴キマシタラバ、私ハ甚ダ満足スル次第デアリマス

○土方寧君 私モ委員ノ一人デアリマス、折角、藤本君カラ委員長ニ限ラズ外ノ委員カラデモ出來ルナラバ説明ヲ願ヒタイ、委員全體ノ意見ヲ代表セヌカ

存ジマセヌガ、私ガ委員會デ皆様ノ御話ヲ承ツタガ、自分ノ考ヘル所ヲ申上

ゲマスガ、是ハ固ヨリ衆議院ノ提案デ、委員會デモ色々政府委員ニ質問ガアリ

マシタ、サウシテマア討論ト云フヤウナコトモ無カッタデアリマス、別ニ

ソナムヅカシイ問題デハナイ、從來、兩院ノ議員ナドモ受ケテ居ッタガ、今度

ノ整理ノ爲ニ剝奪セラレタノデアアル、矢張り從來モアッタモノダカラ貰フ方

ガ宜カラウ、外國ニモ例ガアルカラ、ソレ位ノ待遇ハ受ケテモ宜カラウト云フ

ヤウナ話デアッタ、旅費ト云フモノハ、議員タル以上ハ年々何處へ行クニモ

旅費ヲ貰フ、藤本君ハ東京往復ノ旅費、東京滞在位ノモノデアアルカモ知レス、

所ガ出ス方ハ非常ナ大變ナ優遇デアリマス、ソレ位ハ前ニモ貰ッテ居ルカラ

今ニナッテソレヲ剝奪セヌデモ宜カラウ、ソレモ一理アル、斯ウ云フコトデ

事柄ハ私ハ賛成イタシタ、併ナガラ遠方カラ來ル人ハ大分汽車賃モ要ルノデ

アリマス、ソレハ重複シマスケレドモ遣ルコトニスル、遣ラヌト云フ場合ニ

ハ勅令ヲ改正スレバ宜イ、勅令ノ改正ハ議場ニ諮ラヌデモ宜イノデアリマ

ス、二重ニ汽車賃ヲ與ヘルコトニナル「バス」ヲ與ヘルト云フコトハ……私

ハ立ツタ序デニ申上ゲマスガ、今度ノ鐵道省ノ整理案ハ尤モデアリマス、サ

ウカト云ツテ全體ニ何人ニモ「バス」ヲ與ヘルト云フコトノ必要モナイ、或地

位ニ居ル者ニ限ッテモ宜イデアリマセウ、斷ジテナイト云フコトハナイ、ソ

レデ法律デ決メテ貰ヒタイト云フコト……(聽取シ難シ)兩院議員、樞密顧問

官ト云フヤウナ特殊ノ地位ノ者ニハ遣ッテ宜イ、或特殊ノモノハ法律デ決メ

テ置ケバ鐵道大臣ガ更ッテモ差支ナイ、サウシテ政府委員ハ……(聽取シ難シ)

會期ガ迫ッテ居ルノデ仕方ガナイノデアラウ、斯ウ云フ法案ヲ出スト云フナ

ラバ之ニ賛成スルト云フコトガ、私一己ノ意見デアリマスガ、斯ウ云フコト

ヲ希望トシテ委員會デ述べマシタガ……

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ御發言モナイト認メマスカラ採決ヲ致シマ

ス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセ

ヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部御異存ゴザイマ

セヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセ

ヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
○議長(公爵徳川家達君) 次ノ議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、本日
ハ是ニテ散會イタシマス

午後四時三十一分散會

